V302SH 基本操作編

マナーもいっしょに携帯しましょう。

V302SH 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

V302SH 基本操作編

はじめに

このたびは、「V302SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

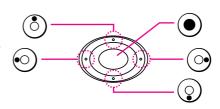
- V302SH をご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V302SH のボーダフォンライブ！に関する説明は付属の Vodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.15-20）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V302SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V302SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

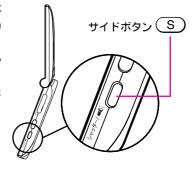
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.15-20）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の見かた

本書では、V302SHを開いた状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

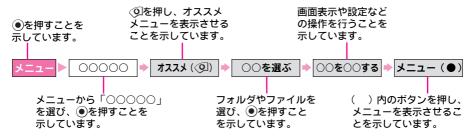
メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。

本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

●使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
- ■ や を押すとき ……………………
- ■ や を押すとき ……………………
- ■ を押すとき ………………

サイドボタン

V302SHを閉じたまま使用するときなどは、本体右側面のサイドボタン（シャッター／ ボタン）を使用します。

本書では、サイドボタンを右のように表記しています。

●サイドボタンには「S」の刻印はありませんが、他のボタンと区別するため「S」と表記しています。

本書の表記

■本文中のマーク

：Vodafone live!編を示しています。

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（◉で始まる操作）は、次のように表記しています。（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBAD1）※
（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■急速充電器（SHCQ01）※

※ オプション品としても取り扱いしております。

主なオプション品

■スイッチ付イヤホンマイク

■シガーライター充電器

付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.15-20）までご連絡ください。

目次

3 マナーモード

4 文字の入力方法

4 文字の入力方法

5 アドレス帳

9 データ管理（データフォルダ）

14 Abridged English Manual

15 付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は	記号は	⚠記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。	しなければならないこと（指示）を表しています。	気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V302SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V302SHに使用する充電器および電池パックは、必ずボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.iii）
- 電池パックをV302SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V302SH専用です。
  それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V302SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

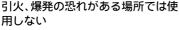
内部に物や水などを入れない

V302SHや充電器の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V302SHや充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。

また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV302SH、充電器を入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V302SHや充電器の発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V302SH　や充電器のキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V302SHや充電器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V302SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

衝撃を与えない

V302SHや充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。

万一、V302SHや充電器を落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V302SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V302SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V302SHを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。
  （2004年11月１日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、スイッチ付イヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持ってV302SHを振り回したり、投げない

本人や他人にあたり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V302SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは

（芯線の露出、断線など）
ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器は、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

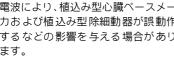
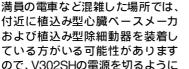
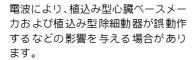
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V302SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V302SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV302SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V302SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V302SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠注意

V302SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV302SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

⚠注意

V302SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

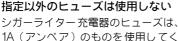
V302SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

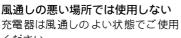
自動車内でご使用のとき

V302SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側、操作ボタン側、サブディスプレイ側、電池パック側）、電池カバー、キャビネット側面カバー飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓、カメラ窓、サブディスプレイ窓	アクリル樹脂
マルチガイドボタン（カーソルキー部分）、サイドボタン、カメラ飾り	ABS樹脂／クロムメッキ
ボーダフォンライブ！ボタン、メールボタン、電源ボタン、開始ボタン、ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン、ファンクションボタン、電池パック、ネジカバー（ディスプレイ側上下）	PC樹脂
ネジカバー（背面側）	シリコンゴム
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（ディスプレイ側、操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ
赤外線ポート、モバイルライトカバー、スモールライト	ABS樹脂

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器は風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

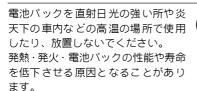
長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V302SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度5℃～35℃の場所で行ってください。
  この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV302SHに登録したデータ（アドレス帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V302SH は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V302SH を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V302SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くでV302SHを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V302SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中はV302SHを絶対にご使用にならないでください。
- V302SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V302SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V302SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- V302SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

- V302SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V302SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V302SHのディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V302SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- **V302SHは防水仕様にはなっていません。**
  水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光があたらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV302SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V302SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - V302SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり、座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たい物の下にならないようにご注意ください。
- V302SHのイヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V302SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ずV302SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

- **この機種【V302SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V302SH】のSARは、0.86W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  - ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  - ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

シンプルモード
初心者向けに機能を絞ったモードで、基本的な機能が簡単に利用できます。

P.2-16

マナーモード
ボタン１つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守録に設定できます。

P.3-3

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換などが利用できます。

P.4-12

アドレス帳
最大500件（１件につき電話番号とE-mailアドレス各３件）まで登録できます。

P.5-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

P.6-2

ポストカードメーカー
静止画に文字などを貼り付けてポストカードやカレンダーが作成できます。

P.6-25

画面表示設定／画面パターン設定
壁紙やマイキャラクタ、画面パターンなどが設定できます。

P.7-2、P.7-5、P.7-6

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。

P.7-9

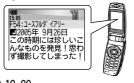
データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.9-3

赤外線通信
赤外線を利用して、他の機器との間でデータのやりとりができます。

P.10-2

ワンショットメール
待受時にV302SHを閉じたまま、簡単な操作でメールを送信できます。

P.12-3

スケジュール
時間や期日の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。

P.12-13

ユースフルダイアリー
文字と画像を組み合わせた便利な日記を、最大400件まで登録できます。

P.12-20

メールテンプレートライブラリ
簡単にメールが作成できるテンプレート集です。オリジナルテンプレートも作成できます。

別冊

ボーダフォンライブ！
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能が利用できます。

別冊

オプションサービス

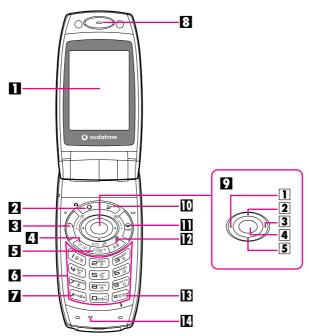
転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.13-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手からのメッセージをお預かりします。

P.13-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。

P.13-6

三者通話サービス
3人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

P.13-7

各部の名称と機能

1

ご利用になる前に

本体

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン

- 短押し：ボーダフォンウェブを利用するときや、画面左下のソフトキーを利用するときに使用します。
- 長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン

入力した電話番号、文字などを削除するときや、各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／aボタン

スケジュールを登録／表示するときや、通話内容／音声を録音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。

文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

6 ダイヤルボタン

- 短押し：電話番号や文字の入力に使用します。
- 長押し：いろいろな機能のショートカットを呼び出すときに使用します。

P.1-4～P.1-6の操作方法は代表的なものを記載しています。モバイルカメラの動作など詳しい操作方法については、各機能を参照してください。

7 ✻ボタン
メール表示中は、次の（日時の新しい）メールを表示するときに使用します。また、文字入力画面では、絵文字リストの表示に使用します。

8 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

9 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン
- 短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- 長押し：ノートパッドメモリの呼び出しに使用します。

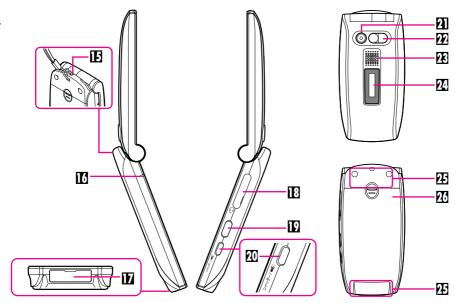
2 ショートカットボタン
- 短押し：ダイヤルボタンを長く（1秒以上）押したときに呼び出せる機能のガイドを表示します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

3 アドレス帳ボタン
- 短押し：アドレス帳に登録した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- 長押し：アドレス帳登録に使用します。

4 ファンクション（F）／誤動作防止ボタン
- 短押し：各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。また、モバイルカメラで撮影するときに使用します。
- 長押し：誤動作防止を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン
- 短押し：かかってきた電話の履歴を表示するときに使用します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

10 メールボタン
- 短押し：メールを利用するときや、画面右下のソフトキーを利用するときに使用します。
- 長押し：Vアプリライブラリを表示するときに使用します。

11 電源／終了ボタン
- 短押し：通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などに使用します。
- 長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

12 文字／マナー（📳）ボタン
- 短押し：文字の種類を変えたり、アドレス帳登録に使用します。
- 長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

13 ＃ボタン
メール表示中は、前の（日時の古い）メールを表示するときに使用します。また、文字入力画面では、記号リストの表示に使用します。

14 マイク（送話口）
お客様の声をここから伝えます。

15 **ストラップ取り付け穴**
市販のストラップを取り付ける穴です。

16 **スモールライト**
充電中、着信中などに点灯／点滅します。

17 **外部機器端子**
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

18 **イヤホンマイク端子**
スイッチ付イヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

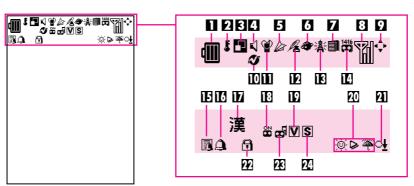
19 **赤外線ポート**
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

20 **サイドボタン**
- 短押し：モバイルカメラで撮影するときに使用します。
- 長押し：サイドキー設定（☞P.12-3）で設定した機能を利用するときに使用します。

21 **モバイルカメラ（レンズカバー）**
ここからの画像を撮影します。

22 **モバイルライト**
電話がかかってくると点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

23 **スピーカー**
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

24 **サブディスプレイ**
着信のお知らせなどが表示されます。

25 **内蔵アンテナ**
この部分にアンテナが内蔵されています。

26 **電池カバー**

注意　内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）
電池残量の目安を表示します。
（スポットライト表示）
スポットライト点灯時は「」と「」が交互に表示されます。

2 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットデータを呼び出したときは点滅して表示されます。

3 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを表示します。

4 （スピーカーホン表示）
スピーカーホンで通話しているときに表示されます。
（スピーカー受話表示）
スピーカー受話で通話しているときに表示されます。
（回線接続表示）
ウェブ通信しているときなどに表示されます。
（ステーションメニュー手動更新表示）
ステーションのメニューを手動で更新しているときにグレーで表示されます。

5 （メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示されます。

6 （ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示されます。

7 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

8 （電波状態表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
（赤外線通信中表示）
赤外線通信中に表示されます。

9 （スクロール表示）
画面の続きがあるときに表示されます。

10 （Vアプリ起動中表示）
Vアプリを起動しているときに表示されます。
（Vアプリ一時停止中表示）
一時停止しているVアプリがあるときに表示されます。

11 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

12 （ロングメール受信表示）
ロングメールなどを受信すると表示されます。

⑬ （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると赤色で表示されます。

⑭ （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

（オフラインモード表示）
オフラインモードに設定したときに表示されます。

⑮ ／（スケジュール表示）
スケジュールが登録されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があるときに表示されます。

⑯ （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

⑰ 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を表示します。

⑱ （留守表示）
簡易留守録が設定されているときに表示されます。

⑲ （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

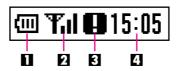
⑳ などに（お天気アイコン表示）
現在いるエリアの天気が表示されます。（別途申し込みが必要です。）

㉑ （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

㉒ （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止が設定されているときに表示されます。

㉓ （録音表示）
簡易留守録の用件が録音されているときに表示されます。

㉔ （サイレント表示）
通常着信時の着信音量が、「**サイレント**」に設定されているときに表示されます。

（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「**ステップ**」に設定されているときに表示されます。

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、画面に表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（☞P.7-2）しているときは、画面のアイコン表示を消すことができます。（マーク表示設定：☞P.7-2）

サブディスプレイ

●それぞれのアイコンの意味は、ディスプレイと同様です。（☞P.1-7～P.1-8）

1 （電池レベル表示）

通常は「」が表示されます。電話や情報着信時、アラーム動作時には、サブディスプレイ全面に「」、「」、「」、「」、「」、「」の各アイコンと、着信や動作を示すメッセージが表示されます。

（スポットライト表示）

スポットライト点灯時は、「」と「」が交互に表示されます。

2 （電波状態表示）

3 （未読あり表示）

不在着信、簡易留守録の用件、メール受信などがあるときに表示されます。

●サイドキー設定の待受時の動作（☞P.12-3）を「**詳細表示**」にしているときは、「」が表示されているときに、Ⓢを長く（1秒以上）押すと、着信の種類に応じたアイコンが表示されます。

（オフラインモード表示）

4 時間表示

現在の時刻が表示されます。ストップウォッチやキッチンタイマーの動作中は、動作を表すアイコンと現在の時間が交互に表示されます。

補足 V302SHを閉じているときにⓈを押すと、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。［サブディスプレイの照明設定（☞P.7-8）を「OFF」にしているときは、点灯しません。］

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- **指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）になる可能性があります。また、V302SHが故障することがあります。**
- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃〜35℃
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が始まるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約115分です。
  - **常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭のテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭のテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックやV302SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できなくなることがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - 極端な高温や低温環境
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V302SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- **V302SHを開いた状態でも充電することができます。**

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約140分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約250分

※ 上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整を「**明るさ4**」(お買い上げ時)にしているときの時間です。

●連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

●連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V302SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、車内、カバンの中など)や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境(充電状態、気温など)によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。

●連続操作時間とは、通話をしないで連続してV302SHを操作し続けたときの利用可能時間です。

●電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

●**使用環境**

■極端な低温/高温の状態で使用/保存されているとき(5℃~35℃の温度範囲でお使いください。)

■V302SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき(充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。)

■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき(なるべく電波状態の良い環境でお使いください。)

●**操作**

■Vアプリを起動しているとき

■ステーションを使用しているとき

■モバイルカメラ撮影を多く使用したとき

■動画を再生したとき

■スポットライトを多く使用したとき

■メール作成などの連続したボタン操作(照明の点灯時間が長くなる)を多くしたとき

■赤外線通信を多く使用したとき

●**設定**

■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき

■壁紙にアニメーションを設定したとき

■スクリーンアニメを設定したとき

■パネルセーブが働かないように設定したとき

■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

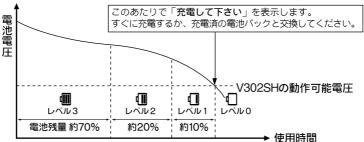
- 照明設定（☞P.7-7）
- サブディスプレイの照明設定（☞P.7-8）
- モバイルライト（☞P.6-17）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.12-31）
- パネルセーブ（☞P.12-28）

電池が切れたら

- 電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
  電池アラーム音が鳴っているときに[PWR]を押すと、電池アラーム音は止まります。電池パックを充電してください。
  （マナーモード設定時には、電池アラーム音は鳴りません。）
  また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約5秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

- 「▯」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。

ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

●下記の電池レベル表示はあくまでも電池残量の目安です。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル1が早めに表示されます。

高温下では、レベル1が遅めに表示されます。

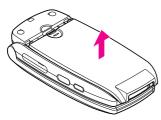
スモールライト／電池レベル表示

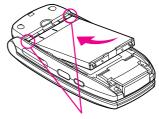
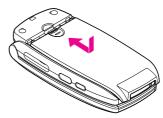
スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

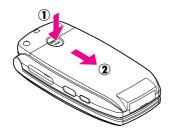
■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃～35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了

■電源が切れているとき

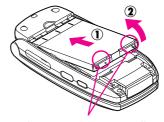
スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

●印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

●電池カバーとキャビネットとのすき間ができないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

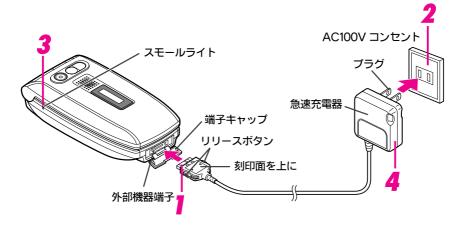
取り外す

- 必ず、V302SHの電源を切ってから行ってください。
- V302SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

- 電池パックのこの部分に指をかけ、矢印①の方向に押し込み、矢印②の方向に持ち上げます。

V302SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

急速充電器を利用して充電する

●必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 **外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを差し込む。**

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 **プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。**

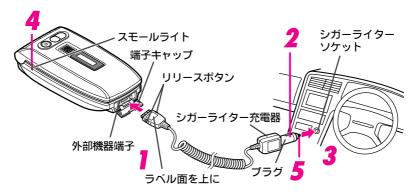
●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-13）

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 **スモールライトが消灯すれば、充電完了。**

●充電時間：約115分

4 **充電が完了したら…**

V302SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●このあと、V302SHの端子キャップを元に戻してください。

急速充電器を携帯するときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

シガーライター充電器を利用して充電する

●必ず、指定のシガーライター充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、シガーライター充電器の接続コネクターを差し込む。

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-13）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

●充電時間：約115分

5 充電が完了したら…

V302SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●このあと、V302SHの端子キャップを元に戻してください。

●このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）

●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。

●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

●自動車を運転するときは、V302SHを絶対にお使いにならないでください。

●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。

●シガーライター充電器を使って充電するときは、V302SHを固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

電源を入れる／切る

1 **V302SHを開く。**

2 **PWRを長く（1秒以上）押す。**

ディスプレイが点灯し､アニメーションのあと、上のような「**待受画面**」が表示されます。

3 **電源を切るときは、PWRを長く（2秒以上）押す。**

アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■ アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉➡時刻設定画面へ（☞P.1-20）

■時刻を設定しないとき：「2NO」選択➡◉➡時刻未設定の待受画面へ

電源を入れたときや、切ったときに画面が一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

- V302SHを閉じたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けられます。
- V302SHを開いたまま操作をしない状態が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.12-28）

誤ってボタンが押されるのを防ぐ（誤動作防止）

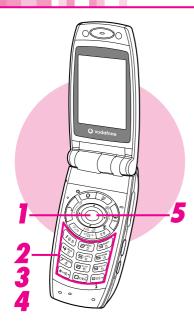
持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。

誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（１秒以上）押す。

「🔒」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-5「**緊急電話発信について**」を参照してください。

誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出られます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- PWRを長く（２秒以上）押しても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（１秒以上）押す。

「🔒」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能

1 「9時刻設定」を選び、●を押す。

2 年（西暦）を入力する。

例：2005年➡2 0 0 5

3 月・日を入力する。

例：９月15日➡0 9 1 5

4 時・分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。

例：午後３時５分➡1 5 0 5

5 ●を押す。

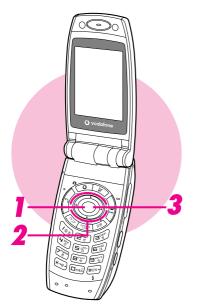
設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソルについて

■ 文字入力時に表示される「■」および、メニューを選択するときの色帯の部分を「**カーソル**」といいます。文字入力時のカーソルは、◎を押すと１文字単位で、◎を押すと１行単位で移動できます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

注意

設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦／日付／時刻を再設定してください。

補足

- 西暦／日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.7-3）
- 通話中も日付／時刻の設定が行えます。

機能の呼び出し方

インデックスメニューから機能を呼び出す

V302SHのいろいろな操作は、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ◉を押す。

インデックスメニューが表示されます。

2 でメニュー項目を選ぶ。

- オススメメニューの表示：
- Vアプリライブラリの表示：

3 ◉を押す。

選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、静止画や動画の撮影が行えます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行えます。
赤外線通信	赤外線通信が行えます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-22）が表示され、各機能の設定や確認を行えます。
電話	アドレス帳の登録／検索や、リダイヤル／着信履歴の確認などを行えます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V302SHに保存したデータを確認できます。
シンプルモード	シンプルモードが利用できます。

■ インデックスメニューで、（オススメ）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が集められています。

インデックスメニュー　　オススメメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、◉を押すと、ファンクションメニューが表示されます。

ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に固有の番号がつけられています。（☞P.15-2）

■大分類を選ぶ

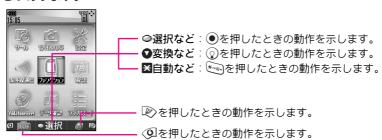
Ⓢを押し、大分類を選んだあと、◉を押す。

選択した項目は色帯付きで表示されます（カーソル）

<大分類>　　<各機能>

■番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

待受画面に戻す

■ 機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面で[PWR]を押すと、待受画面（☞P.1-18）に戻ります。
- 確認画面が表示されたときは、「1YES」を選び◉を押すと待受画面に戻ります。

ソフトキーの使い方

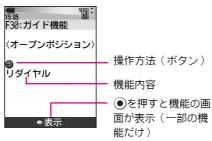
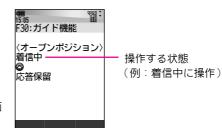
各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

- オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、[文字]を押したときの動作を示します。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能が画面に表示されます。
（右の画面は数字を１ケタ入力したときの例です。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルでは）を押すと、その機能が操作できるようになります。

機能＼入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5〜6	7〜12	13〜24
スピードダイヤル：P.5-14	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ：P.12-30	○	○	○	○	○	×	×
アドレス帳登録：P.5-3	○	○	○	○	○	○	○
アドレス帳検索※1：P.5-12	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓：P.12-29	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信：P.3-12	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※2：P.12-7	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※3：P.12-17	×	×	×	○	×	×	×

※1　アカサタナ検索が利用できます。
※2　設定する時刻を24時間制の４ケタで入力します。（すでに５件のリピートアラームが登録されているときはエラー表示となります。）
※3　表示する月･日を４ケタで入力します。現在の日付を含む、以後１年間のスケジュールを表示できます。

機能の操作方法を確認する

ファンクションメニューから操作できる機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定 1

1 「ガイド機能」を選び、◉を押す。

ガイド機能画面（スポットライト点灯の操作説明）が表示されます。

2 ◎を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、PWRを押す。

■ガイド機能画面の見かた

暗証番号

V302SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。
V302SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「Ӿ」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 「**操作用暗証番号**」はV302SHの操作で変更できます。（☞P.11-2）

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

- 「**交換機用暗証番号**」はV302SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、所定の手続きが必要となります。
  詳しくは、お問い合わせ先（☞P.15-20）までご連絡ください。

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになったときは、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.15-20）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

- 電波状態を確認してください。
- 画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（P.15-8）

2 市外局番からダイヤルする。

- 同一市内へ通話するときでも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号の通知／非通知を設定する

- 電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
  - ■通知する……186
  - ■通知しない…184

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたら

- で、カーソル「＿」を移動したあとクリアを押すと、カーソル位置の番号が消えます。
- クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
- を押したあとは、PWRを押して電話を切り、かけ直してください。

相手が話し中のとき

- PWR を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、PWRを押す。

- V302SHを閉じても、電話は切れます。
  V302SHを閉じても、電話が切れないようにできます。（P.2-3）

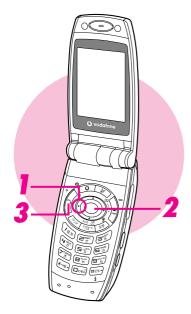
通話中にV302SHを閉じたときの動作を設定する（クローズ終話設定）

■ 通話中にV302SHを閉じたときの動作を設定します。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「1音関連機能」選択➡◉➡「0着信設定」選択➡◉➡「1通常着信」選択➡◉➡「7クローズ終話設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

ON	電話は切れます。	OFF	こちらの声が相手に聞こえなくなります。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

●通話時にマイクをふさいでいると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分（☞P.1-6㉕）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-19、P.2-20）
●累積の通話時間（☞P.2-19）や通話料金（☞P.2-20）の目安を確認することもできます。
●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-21）
●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。
●最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（▢）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。

表示されている電話番号が発信されます。

●同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが、記憶されます。
●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-14）

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登録し、アドレス帳の電話番号の先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登録できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録 国際発信またはセット発信用の番号を登録します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ プリセット登録

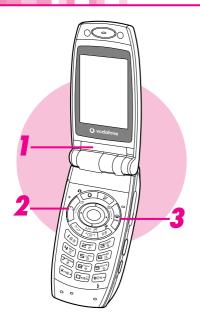
「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択 ➡ ◉ ➡ 番号入力 ➡ ◉

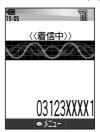
- 登録されている番号を変更する：「**1国際発信登録**」／「**2セット発信登録**」選択 ➡ ◉ ➡ クリア（1秒以上）➡ 番号入力 ➡ ◉

●「**国際発信**」は7桁以内、「**セット発信**」は6桁以内で入力します。

国際発信／セット発信 プリセット登録した番号を付加して電話をかけます。

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索 ▶ アドレス帳を呼び出す ▶ メニュー（◉）

「国際発信」／「セット発信」選択 ➡ ◉

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、「**110**」や「**119**」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

■緊急番号…110、119、118

●V302SH で発信を制限する機能を利用しているとき、緊急電話発信の利用は次のようになります。

機能	緊急電話発信	機能	緊急電話発信
誤動作防止（☞P.1-19）	発信不可	簡易ロック（☞P.11-3）	発信可
オフラインモード（☞P.3-6）	発信不可	ダイヤル禁止（☞P.11-4）	発信可
ダイヤル操作禁止（☞P.11-2）	発信可		

電話を受ける

1 着信中に、V302SHを開く。

相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。アドレス帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。

- 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。

簡易留守録設定中に着信があると

- 応答メッセージが流れたあと、録音が始まります。（☞P.12-5）

2 [通話]を押す。

- 次のボタンを押しても、電話を受けられます。（エニーキーアンサー）
  [0]～[9]、[*]、[#]、[スケジュール/メモ]、[クリア]、[ボーダフォン]、[メール]、[左]、[右]

■ 電話に出られないとき：☞P.2-8～P.2-9

3 通話が終わったら、[PWR]を押す。

- V302SHを閉じても、電話は切れます。
  V302SHを閉じても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

着信時の着信音量を調節する

■ 着信音が鳴っているときに、[下]（小さくする）／[上]（大きくする）を押します。押すたびに着信音量が調節できます。（マナーモード設定中は、調節できません。）

- 上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定（☞P.8-2）に反映されます。

着信音量を一時的に「サイレント」にする（クイックサイレント）

■ 着信中に[文字]を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「**2クイックサイレント**」にしているときは、着信中に[S]を長く（1秒以上）押すと、クイックサイレントが行えます。（V302SHを閉じているときだけ）

- 着信内容と時刻は最新の20件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-14）
- アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信のとき、着信時の動作を約３秒間遅らせられます。（ワンコールサイレント：☞P.2-10）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトやスモールライトの点滅パターンは変更できます。（☞P.8-2）

かけてきた相手にかけ直す

発信者番号を通知してかかってきた電話は、その番号を利用して電話をかけられます。

- 過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-14）として最新の20件まで記憶しています。

1 を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 を押す。

表示されている電話番号が発信されます。

- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-14）

電話に出られないとき

着信を保留にする（応答保留）

相手にアナウンスを流し、電話を保留にします。

1 着信中に、V302SHを開く。

2 [PWR]を押す。

約5秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

●着信音を「**サイレント**」に設定しているときは、応答保留音は鳴りません。

3 電話に出られる状態になったら、[通話]を押す。

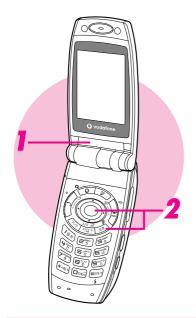
●エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押しても電話に出られます。

V302SHを閉じたまま応答保留／着信拒否する

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「**1応答保留**」または「**3着信拒否**」にしているときは、着信中に(S)を長く（1秒以上）押すと、応答保留／着信拒否が行えます。

●応答保留中に[PWR]を押すかV302SHを閉じると、応答保留中の電話は切れます。［クローズ終話設定（☞P.2-3）を「OFF」にしているときは、電話は切れません。］
●応答保留中に相手が電話を切ると、電話は切れます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守録で応答し、相手のメッセージを録音します。
●この操作を行うと、その着信に限り留守録音します。常に簡易留守録を設定しておくこともできます。（☞P.12-4）

1 着信中に、V302SHを開く。

2 着信音が鳴っている間に、◉ 文字 の順に押す。

応答文が流れたあと、録音が始まります。
■ 録音されたメッセージを聞く：◉ スケジュール/メモ
（☞P.12-5）

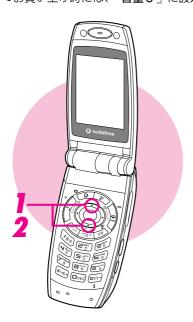
録音ができない（簡易留守録が設定できない）状態（☞P.12-4）のときは、操作できません。

留守番電話サービスについて

■ 留守番電話サービスを開始しておくと、電波の届かない場所にいるときや通話中など、電話に出られないときに、留守番電話センターに転送し、伝言メッセージをお預かりすることができます。（☞P.13-4）
■ 次の操作を行うと、着信中に留守番電話センターに転送できます。
◉ ➡ PWR
●関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合に有効です。
●サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「**5 留守電センター転送**」にしているときは、着信中にⓈを長く（1秒以上）押すと、留守番電話センターに転送できます。（V302SHを閉じているときだけ）

迷惑電話を防止する

アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信時の動作を約３秒間遅らせるかどうかを設定します。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 「6ワンコールサイレント」を選び、●を押す。

2 「1ON」を選び、●を押す。

通話中の操作

受話音量を調節する

レシーバー（受話口）から聞こえる相手の声の大きさを、5段階で調節できます。
●お買い上げ時には、「音量5」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す。

2 ◎（小さくする）または◎（大きくする）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。
- ●約5秒間そのままにしておくか ◉ を押すと、設定されます。
- ●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、スケジュール/メモを長く（1秒以上）押す。

録音が始まります。

2 録音を終わるときは、もう1度スケジュール/メモを押す。

- 電源を切っても録音内容は保存されています。
- 音声メモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。（☞P.12-5、P.12-6）

注意 クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているとき、音声メモ録音中にV302SHを閉じると、電話が切れ、録音も終わります。（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

数字のメモを登録する（ノートパッドメモリ）

通話中に入力した数字を、最大３件まで登録できます。
相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。

- １件につき、最大24ケタまで登録できます。（数字0〜9、＊、＃）
- すでに３件登録されている状態で登録すると、古いものから順に消去されます。
- 登録した番号を、アドレス帳に登録することもできます。

1 通話中に、数字を入力する。

2 [スケジュール/メモ]を押す。

ノートパッドメモリに登録されます。

- 通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登録されます。

ノートパッドメモリの確認　登録したノートパッドメモリを確認します。

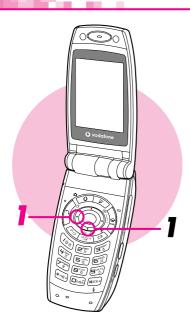
メニュー ▶ 電話

「6ノートパッド」選択➡◉

- 新しいものから順に３件まで表示されます。
- [通話]を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、◎◎（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。
  - 確認終了：[PWR]
  - アドレス帳への登録：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉➡P.5-4〜P.5-5
  - ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 （　）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

- ●リダイヤルがないときは、着信履歴が表示されます。
- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：

着信履歴を確認する

1 を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：

リダイヤル／着信履歴の消去　リダイヤル／着信履歴を消去します。

メニュー ▶ 電話

「4リダイヤル」／「5着信履歴」選択➡●➡（メニュー）➡「一件消去」／「全消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

着信履歴に表示されるもの

着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの（ワンコールサイレントを含む）
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守録で録音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの
公衆電話	公衆電話からかかってきたもの
非通知設定	相手が電話番号を通知してこなかったもの

不在時のお知らせ表示

かかってきた電話に出なかったときは、画面に着信日時と次のような着信お知らせが表示されます。

簡易留守録あり	簡易留守：○件	簡易留守／不在着信あり	簡易留守：○件 不在着信：○件
不在着信あり	不在着信：○件		

- ●を押すたびに着信日時の新しいものから順に表示されます。
  ●を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。
- ●を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
- 確認を終わるときは、●を押します。
- 着信内容を確認しないで、不在時の着信お知らせ表示を消すときは、●を押します。
- 不在時の着信お知らせ表示を消したあとは、着信履歴の操作で不在時の着信内容を確認できます。
- 着信拒否は、着信拒否として記憶されます。
- 簡易留守録については、P.12-4を参照してください。

シンプルモード

シンプルモードを利用すれば、インデックスメニューに基本的な機能（私の電話番号、電話機能、メール、カメラ、機能設定、シンプルモード解除）だけが表示されるようになります。
- それぞれの機能内の操作も、基本的なものだけに限定されます。（☞P.2-17～P.2-18）

シンプルモードを設定／解除する

シンプルモードを設定する

1 ◉を押す。

2 「シンプルモード」を選び、◉を押す。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
- 電源を切っても、シンプルモードは解除されません。

シンプルモードを解除する

1 ◉を押す。

2 「5シンプルモード解除」を選び、◉を押す。

3 「1YES」を選び、◉を押す。

補足

- 次の各機能が設定されているときに、シンプルモードの設定を行うと、それぞれの機能の解除確認画面が表示されます。「1YES」を選び、◉を押すと、各機能が解除され、シンプルモードが設定されます。
  - ■オフラインモード※1（☞P.3-6）
  - ■メモリ使用禁止※1※2（☞P.11-3）
  - ■ダイヤル禁止※1※2（☞P.11-4）
  - ■指定着信許可※1※2（☞P.11-5）
  - ■指定着信拒否※1※2（☞P.11-5）
  - ■シークレットモード※2（☞P.11-6）
  - ■リピートアラーム※1（☞P.12-7）
  - ■自動電源ON/OFF※1（☞P.12-11、P.12-12）
  - ■スケジュール（アラームONのとき）※1（☞P.12-13）
  - ■一時停止中のVアプリ（☞ⓞP.10-6）

  ※1 シンプルモードを解除すると元の設定に戻ります。
  ※2 操作用暗証番号の入力が必要です。
- 着信パターンにデータフォルダ内のファイルが設定されているときは、通常着信は「**パターン1**」、メール着信は「**効果音 メール**」に変更されます。

シンプルモード設定時の操作

メニュー操作

待受画面で◉を押すと、シンプルモードメニューが表示されます。メニューの項目は次のとおりです。

0私の電話番号	V302SHの電話番号が表示されます。（オーナー情報は確認できません。）
1電話機能	アドレス帳の登録や検索、着信音設定、マナーモード、簡易留守、留守番サービスの設定が行えます。（☞下記）
2メール	メールの確認や返信、転送、再送、編集、消去、作成が行えます。（☞P.2-18）
3カメラ	モバイルカメラで撮影したり、撮影したデータの確認が行えます。（☞P.2-18）
4機能設定	ダイヤル操作禁止、簡易ロック、壁紙設定、文字の太さ、簡易電卓、アラーム、時刻設定、即時表示の各機能を設定したり、使用できます。（☞P.2-18）
5シンプルモード解除	シンプルモードの解除が行えます。（☞P.2-16）

各項目のサブメニューは次のとおりです。

■1電話機能

1アドレス帳登録			アドレス帳の登録が行えます。（☞P.5-3） 名前、ヨミ、電話番号１～３、メールアドレス１～３が登録できます。
2アドレス帳検索			アカサタナ検索でアドレス帳の呼び出しが行えます。（☞P.5-13） アカサタナ検索以外の検索方法は利用できません。
3着信音設定	1通常着信	1着信パターン	電話がかかってきたときの着信パターンを設定できます。（☞P.8-3）
		2着信音量	電話がかかってきたときの着信音量を設定できます。（☞P.8-2）
	2メール着信	1着信パターン	メール着信時の着信パターンを設定できます。（☞P.8-3）
		2着信音量	メール着信時の着信音量を設定できます。（☞P.8-2）
4マナーモード			マナーモードの設定／解除が行えます。（☞P.3-3）
5簡易留守	1簡易留守設定		簡易留守録の設定／解除が行えます。（☞P.12-4）
	2録音再生		録音されたメッセージが再生されます。（☞P.12-5）
6留守番サービス	1設定		留守番電話サービスの設定が行えます。（☞P.13-4）
	2解除		留守番電話サービスの解除が行えます。（☞P.13-4）
	3留守録再生		伝言メッセージが再生できます。（☞P.13-5）

■2メール

1メールボックス	1受信メール	受信メールが確認できます。（☞P.4-2）
	2送信メール	送信メールが確認できます。（☞P.4-2）
2メール作成		スカイメールを送信できます。（☞P.3-3）

●シンプルモード設定時は、メール設定での設定は無効になります。

■3カメラ

1写真撮影	写メールモードまたは壁紙モードで、静止画を撮影することができます。（☞P.6-7） モードを切り替えるときは、（**サイズ**）を押します。
2写真を見る	データフォルダに登録されている静止画を見ることができます。（☞P.9-6）

●撮影サイズは横120×縦160ドット（写メールモード）または横240×縦320ドット（壁紙モード）です。また、カメラ設定など、メニュー操作は行えません。

■4機能設定

1ダイヤル操作禁止	操作用暗証番号を入力しないと電話がかけられないように設定ができます。（☞P.11-2）
2簡易ロック	電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作禁止の設定／解除が行えます。（☞P.11-3）
3壁紙設定	壁紙の設定／解除が行えます。（☞P.7-2）
4文字の太さ	画面に表示される文字の太さの設定が行えます。（☞P.7-6）
5簡易電卓	簡易電卓が使用できます。（☞P.12-29）
6アラーム	次の操作でアラームの設定／解除が行えます。 「1ON」選択➡◉➡時刻入力➡◉➡「1ON／2OFF」選択（スヌーズ設定）➡◉➡「1毎日／2平日（月～金）」選択（曜日設定）➡◉➡（**完了**） ■アラーム設定の解除：「2OFF」選択➡◉
7時刻設定	日付／時間の設定が行えます。（☞P.1-20）
8即時表示	通話後の、通話時間／通話料金表示の設定／解除が行えます。（☞P.2-19、P.2-20）

メニュー以外の操作

シンプルモード設定時、待受画面からはシンプルモードメニュー以外に、次の操作が行えます。

◉	リダイヤル（☞P.2-4）
◉	アドレス帳検索（アカサタナ検索）（☞P.5-13）
◉	着信履歴（☞P.2-7）
文字（長押し）	マナーモード（☞P.3-3）
◉文字	簡易留守録の設定／解除（☞P.12-4）

●上記以外のボタンを押しても、電話の発信以外の機能は動作しません。
●シンプルモード設定中は、ダイヤルボタンでのショートカットやクイックオペレーション（☞P.1-24）を使用することはできません。

通話時間表示

直前（前回）の通話時間および累積通話時間の目安を確認します。
●電話をかけたときと電話がかかってきたときの両方を表示します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能

1 「3通話時間」を選び、●を押す。

■ 累積通話時間を確認する：「2累積通話時間」選択➡●

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話時間消去	累積の通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 累積通話時間

●➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

通話時間の自動表示	通話後、自動的に通話時間の目安を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 即時表示

「1ON」／「2OFF」選択➡●

●通話料金も自動的に表示されます。

●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。
（応答保留中は計算されます。）

通話料金表示

直前（前回）の通話料金および累積通話料金の目安を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能

1 「1通話料金」を選び、●を押す。

■ 累積通話料金を確認する：「0累積通話料金」選択➡●

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話料金消去 累積の通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 累積通話料金

●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

通話料金の自動表示 通話後、自動的に通話料金の目安を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 即時表示

「1ON」／「2OFF」選択➡●

- 通話中転送を行ったときは、通話料金は表示されません。
- 通話時間も自動的に表示されます。

補足

- 電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積通話料金の記憶は消えません。
- 直前の通話が着信通話のときなどは、「-------円」と表示されます。
- オプションサービスの三者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断されたときなど（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

電話番号とプロフィールの確認

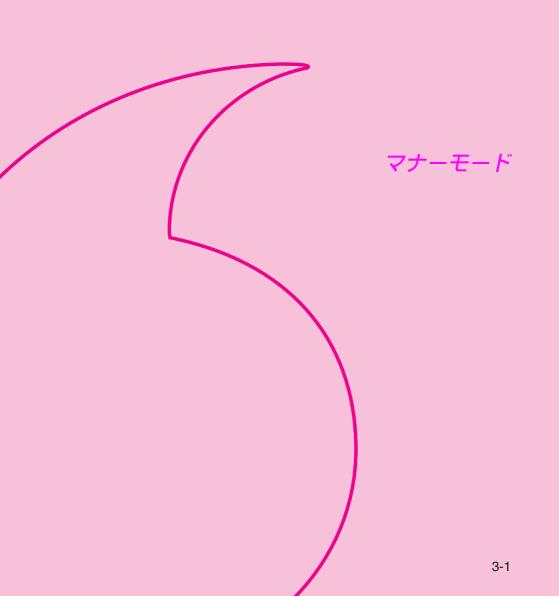
お客様ご自身のV302SHの電話番号を確認します。
- V302SHにオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォト設定が登録できます。
- オーナー情報を利用して、バーコードを作成できます。（☞P.12-27）
- V302SHの電話番号の変更や消去はできません。

メニュー ▶ ファンクション

1 「ご自分の電話番号」を選び、◉を押す。

■ オーナー情報（プロフィール）の確認：
（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力

- オーナー情報画面の見かたは、アドレス帳と同様です。（☞P.5-12）

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

オーナー情報の登録／編集

オーナー情報を登録／編集します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ ご自分の電話番号 ➡ 詳細（）

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「修正」選択➡◉➡P.5-15「アドレス帳を修正する」操作４～６

■ オーナー情報の消去：◉➡「消去」選択➡◉➡「YES」選択➡◉

■ オーナー情報のコピー：◎（項目選択）➡◉➡「コピー」選択➡◉➡P.4-17「コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作５以降

- フォト設定の画像はコピーできません。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守録を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナー設定変更の設定による）

■ **バイブ設定**：☞P.8-3
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.8-2、P.12-2
「**サイレント**」にすると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ動作中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-5
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.8-2
メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-6
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

■ **簡易留守録**：☞P.12-4
電話に出られないときに、相手の用件をV302SHに録音できます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

●ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除できます。

マナーモードを設定する

1 **文字を長く（１秒以上）押す。**

「：**マナーモード**」が点灯します。

また、マナー設定変更（P.3-4）の設定に応じて次のアイコンが表示されます。

アイコン	表示	アイコン	表示
ON	留守表示	V	バイブレータ
S	サイレント		ステップ

マナーモードを解除する

1 **マナーモードが設定されている待受中に、文字を長く（１秒以上）押す。**

「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音／エラー音／パワー ON／パワー OFF時の効果音や警告音が鳴らなくなります。ただし、割込通話中や切替通話中の警告音は鳴ります。
■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音やセルフタイマー音は鳴ります。
■ 簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。
■ 簡易留守録の録音中は、相手の声がレシーバー（受話口）から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時の設定は、次のとおりです。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

簡易留守録

簡易留守録のON／OFFを設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定2➡マナー設定変更➡簡易留守録

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

着信音量

着信音量を設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定2➡マナー設定変更➡着信音量

「1通常着信」～「6配信確認」選択➡◉➡「1サイレント」／「2ステップ」／「3音量１」選択➡◉

●「**サイレント**」にすると、スピーカーから音は鳴らなくなりますが、イヤホンからは「**音量１**」で鳴ります。

バイブレータ

着信を振動でお知らせするかどうかを設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定2➡マナー設定変更➡バイブレータ

「1通常着信」～「6配信確認」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定すると

■ 着信設定の着信音量（☞P.8-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.12-15）を「**サイレント**」に設定していると、音量は「**サイレント**」になります。また「**音量１**」～「**音量５**」に設定していると、設定されている音量までの「**ステップ**」になります。（「**音量３**」に設定しているとき：「**音量１**」→「**音量２**」→「**音量３**」）

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定すると

■ 着信設定のバイブ設定（☞P.8-3）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.12-15）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプ設定

着信時のランプの動作を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ ランプ設定

「1通常動作」～「3OFF」選択➡◉

●変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.8-2）などで設定されている内容に従います。
スモールライト	スモールライトが点滅します。
OFF	すべて点滅しません。

マナートークモード

マナートークモードのON／OFFを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ マナートークモード

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●「ON」にすると、マイクの感度が上がり、通話中に小さな声で話しても伝わるようになります。（「」点滅）

マナートークモードを設定していなくても、通話中に文字を長く（１秒以上）押すと、マナートークモードの設定ができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。

サウンド再生音量

サウンド再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ サウンド再生音量

音量選択➡◉

Vアプリ再生音量

Vアプリ再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ Vアプリ再生音量

「1サイレント」／「2音量１」選択➡◉

Vアプリバイブレータ

Vアプリバイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ Vアプリバイブレータ

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。（オフラインモード）

- オフラインモードを「ON」にすると、電話の発着信、ボーダフォンライブ！など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ オフラインモード

1 「1ON」を選び、◉を押す。

「(アイコン)」が点灯します。

オフラインモードを解除する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ オフラインモード

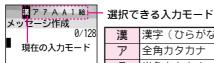
1 「2OFF」を選び、◉を押す。

「(アイコン)」が消え、オフラインモードが解除されます。

注意

オフラインモード設定中の「110 」などの緊急電話発信については、P.2-5「**緊急電話発信について**」を参照してください。

補足

- ネットワーク接続型のVアプリを一時停止しているとき（☞ P.10-6）にオフラインモードを設定しようとすると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、◉を押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。（オフラインモードを「OFF」にするまで、ネットワークには接続できません。）
- オフラインモード設定中、V302SHを閉じたり、パネルセーブが動作したときは、スモールライトが点滅します。

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。また文字入力には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.4-10）があります。

●文字入力については、一部（P.4-10「ポケベル方式で入力する」）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。

4

文字の入力方法

文字入力モード

文字入力モードは、文字入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→A→1→絵→漢・・・

●入力モード切替中は、[◎]を押しても切り替わります。

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大／小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小／大文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大／小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小／大文字）	区	区点コード

大文字と小文字を切り替える

■ かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.4-10）では全角入力モード、半角入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

漢アｱＡA 1絵 漢アｱａA 1絵

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードを切り替える

■ [0]を押すと次の順に切り替わります。

絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…

●絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

●変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。

●アドレス帳のヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：全角カタカナ入力モードで 1@あ を3回押すと、「ウ」が表示されます。

●文字入力中に を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに を押すと、「あ」になります。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1～6／区点コード
1@あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@．／＿－1 □（スペース）	1	1
2ABCか	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
3DEFさ	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
4GHIた	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
5JKLな	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
6MNOは	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
7PQRSま	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
8TUVや	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
9WXYZら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
0わをん	わをんー、。 ↲（改行）	ワヲンー、。 ↲（改行）	，．0↲（改行）	0	0
*゛゜絵	゛゜／履歴／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※1	゛゜-※2	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※3	*-P（ポーズ）※4	―――
#記号	履歴／記号入力（全角）※5／絵文字入力（全角）			#	―――
	変換（前候補）	カーソル上移動			
	変換（後候補）	カーソル下移動↲（改行）			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
文字	文字入力モードの切り替え				
スケジュール／メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換+大文字／小文字入力モードの切り替え	―――	―――
クリア 短押し	1文字消去、変換中止	1文字消去			入力済コード消去／1文字消去
クリア 長押し	全文字消去				
	最大64文字まで復元※6				
	決定				
	音訓変換	―――			絵文字1～6／区点コードの切り替え
	カナ英数変換	―――			絵文字1～6のリスト表示※7

※1　変換中の文字があるときは入力できません。
※2　「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4　「－」や「P（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ入力できます。
※5　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※6　クリア（短押し）で消去した文字は、直後に を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。
※7　リスト表示は、区点コード入力モードでは利用できません。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力するときを例に説明します。
●カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。
漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3]を３回押す。
ひらがなを１文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 [○]を押す。
●同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず[○]を押します。

3 [3]を３回押したあと、[*]を押す。

4 [2]を２回押す。
●ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作６へ進みます。

5 （変換）を押したあと、で文字を選ぶ。

- 他の変換候補画面：（次へ）／（前へ）
- 変換の中止：
- 文字の区切りを変えて変換する：下記

6 を押す。

学習機能について

■ 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

近似予測変換と連携予測変換について

■ 漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを１～５文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（P.4-14）

ユーザー辞書について

■ よく使う単語はユーザー辞書に登録しておくと便利です。（P.4-15）
- ユーザー辞書は、見出し語を付けて単語登録することで、変換候補に表示できるようになります。

■目的の漢字に変換されないとき

上記操作５のあと、を押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、で変換の対象となる文字の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

文字を変換したあと、を押す代わりにを押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

にしやまだいすけ → 西山大輔 → 西山大輔

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、スケジュール/メモを押す。

- 小文字にできない文字では、スケジュール/メモを押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、*゛゜絵を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。また、「**は行**」は１回押すとだく点が付き、２回押すと半だく点が付き、３回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、*゛゜絵を押しても変わりません。

補足 半角カタカナ入力モードのとき

- *゛゜絵を１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、クリアを押します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードでスケジュール/メモを押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
- 同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎でカーソルを移動させてから入力してください。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

1 記号変換が可能なモードで、[#記号]または[*絵]を押す。

これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

●お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞下記）、履歴リストは「--」と表示されます。

2 ◎で記号／絵文字を選び、●を押す。

●1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号／絵文字の入力：[#記号]（押すたびに履歴リスト→記号リスト1〜3、絵文字リスト6〜1の順に切替）

- ■逆順でリストを切り替える：[*絵]
- ■[メール]を押しても、リストを切り替えることができます。
- ■[◎]を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[✎]（戻る）を押す。

記号／絵文字履歴を消去する

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

[✎]（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡●➡「5絵／記号履歴リセット」選択➡●➡「1実行」選択➡●

■文字入力画面に戻る：上記操作のあと[クリア]➡[クリア]

■ 絵文字コード入力モードでは、記号／絵文字履歴は消去できません。

絵文字コード入力モードでの操作

■ 絵文字をコードで入力するときは、次の操作を行います。

絵文字コード（2ケタ：☞[O]P.17-8〜P.17-10）入力

■絵文字コードを修正する：2ケタ目を押す前に[クリア]

■ 絵文字をリストから入力するときは、次の操作を行います。

[✎]（リスト）➡絵文字選択➡●

●絵文字リストは、[メール]を押すたびに絵文字リスト1〜6→履歴リストの順に切り替わります。

●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
●全角のモードで操作したときは全角の記号、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し[◎]（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で、(メニュー)を押す。

2「日顔文字」を選び、◉を押す。

3 顔文字を選び、◉を押す。

● 2ケタの数字(01～50)を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

注意

絵文字1～6入力モードでは、顔文字は入力できません。

補足

- 漢字(ひらがな)入力モードで、「**かお**」と入力し◎(**変換**)を押すと、上記の操作で入力できる(表示される)顔文字以外の顔文字も入力できます。
- 漢字(ひらがな)入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し◎(**変換**)を押しても、顔文字が入力できます。

スペースを入力する

1 文字入力画面で、◎を押す。

●英数字入力モードでは、を7回押してスペースを入力することもできます。

上田

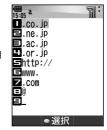
上田 ▮

改行する

メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。

1 文末で、◎を押す。

●文の途中で改行するときは、改行する位置でを数回押して「↵」を表示させます。漢字(ひらがな)入力モードでは、このあと◉を押します。

●を押す回数は入力モードによって異なります。(☞P.4-3)

連絡先です。▮

連絡先です。↵
▮

E-mailアドレス/URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、を押す。

2 文字を選び、◉を押す。

●全角/半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

アドレス帳のデータを入力する

文字入力中にアドレス帳を呼び出し、登録している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入できます。

●利用できる項目は、「**名前**」、「**電話番号１～３**」、「**E-mailアドレス１～３**」、「**パーソナルデータ**」です。

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **（TEL）を押す。**

3 **利用する相手のアドレス帳を呼び出す。**

アドレス帳検索方法：P.5-13

■（TEL）を押す必要はありません。

4 **で項目を選び、を押す。**

選んだ項目の内容が記憶されます。

5 **で文字列を挿入する位置を選ぶ。**

6 **を押す。**

記憶されていた文字列が挿入されます。

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）→「各種情報入力」選択→→「オーナー情報入力」選択→→操作用暗証番号（４ケタ）入力

●呼び出したオーナー情報内の電話番号やE-mailアドレスを利用するときは、上記操作４～６と同様に操作します。

区点コードで入力する

目的の文字が変換候補に表示されないときや、読み方のわからない文字を入力するときは、区点コードで文字を入力できます。

1 **区点コード入力モードで、区点コード（４ケタ：P.15-9～P.15-12）を入力する。**

ポケベル方式で入力する

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「9入力／変換設定」を選び、◉を押す。**

3 **「1入力方式」を選び、◉を押す。**

4 **「2ポケベル」を選び、◉を押す。**

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「**1かな**」選択➡◉

文字の入力方法

5 **ポケベルコード（2ケタ：☞P.4-11）を入力する。**

☞P.4-11

●ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式で文字入力モードを切り替える

■ ポケベル入力方式では、文字入力画面で（文字）を押すたびに、次のように切り替わります。

全角大文字入力モード（「P」反転）→半角大文字入力モード（「P」反転）→絵文字コード１～６（「絵」反転）／区点コード入力モード（「区」反転）

●絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、（0）を押すと切り替わります。

■ 全角入力モード、半角入力モードで（スケジュール／メモ）を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

補足

●ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。

●だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.4-11）を参照してください。

ポケベルコード一覧

●空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
●■部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				､	｡					

※1 [7PQRSま][0わをん]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。）
※2 [8TUVや][0わをん]の順に押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。
●「♥」、「☎」は半角2文字分となります。

いろいろな変換機能

音訓変換を利用する

通常変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ変換します。

1 **漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。**

2 **（音訓）を押す。**

3 **漢字を選び、◉を押す。**

１文字変換を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに先頭の１文字を入力するだけで、漢字に変換できます。（１文字変換）

例：以前に「鈴木」を変換したとき

- １文字変換で利用されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.4-15）と共用しています。（１文字変換の内容は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）そのため、ユーザー辞書の登録内容や件数によっては、１文字変換の内容が記憶できないことがあります。
- １文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大20件です。記憶可能な件数を超えると、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 ひらがなを入力し、（カナ英数）を押す。

●「AM」と入れるときは、の順に押したあと、（**カナ英数**）を押します。

2 で文字を選び、を押す。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	―	―	―	―
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6　■ま行…7
■や行…8　■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換できます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

●ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換できません。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	（び）（み）（ょ）（う）（**変換**）
ワンタッチ変換	（ば）（ま）（や）（あ）（**ワンタッチ変換**）

1 ひらがなを入力し、を押す。

カーソルが緑色に変わります。

●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）でを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えられます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■ 通常変換に戻す：（通常変換）

2 で文字を選び、を押す。

ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「**あ**」を入力すると「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00〜10:59	11:00〜16:59	17:00〜22:59	23:00〜4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ〜 後でね いただきま〜す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ⋮

●表示される言葉は、時間帯ごとであらかじめ登録されています。
●時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

4 文字の入力方法

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換したときは、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の文字変換関連機能

変換方法の設定　「**近似予測変換**」および「**連携予測変換**」（☞P.4-5）を利用できないようにします。

お買い上げ時 ON（利用する）

文字入力画面で（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡◉➡「2近似予測」／「3連携予測」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

変換履歴の消去　これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

文字入力画面で（メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡◉➡「4学習辞書リセット」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

●ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

辞書の登録／追加

よく使う言葉をユーザー辞書に登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登録できます。
登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示されます。
●同じ見出し語は５件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録　ユーザー辞書に新しい単語を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録

単語入力➡◉➡見出し語入力➡◉

● 単語は最大全角15文字（半角30文字）まで、見出し語はひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集　登録したユーザー辞書を修正／削除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 辞書編集

ユーザー辞書を修正する

単語選択➡◉➡単語修正➡◉➡見出し語修正➡◉➡「1上書登録」／「2新規登録」選択➡◉

ユーザー辞書を１件ずつ消去する

消去する単語選択➡✎（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ユーザー辞書をすべて消去する

✎（メニュー）➡「3全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ダウンロードした辞書を追加する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を２件使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が文字の変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ⓞP.8-2）でご案内しています。

ダウンロード辞書の設定　ダウンロードした辞書ファイルを使用します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

番号選択➡◉➡辞書ファイル選択➡◉

■ ダウンロード辞書設定済の番号への登録：番号選択➡◉➡✎（メニュー）➡「1変更」選択➡◉➡辞書ファイル選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

辞書ライブラリから辞書ファイルを設定する

■ 次の操作を行います。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「4表示／設定２」選択➡◉➡「3ユーザー辞書」選択➡◉➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡「3辞書ライブラリ」選択➡◉➡辞書ファイル選択➡（メニュー）➡「1ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡番号選択➡◉

■辞書ファイル設定済の番号への登録時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

ダウンロード辞書の解除　ダウンロード辞書の使用を解除します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ ユーザー辞書 ▶ ダウンロード辞書

使用を解除する番号選択➡◉➡（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

文字の編集

指定した文字を削除する

1 **で削除する文字を選び、クリアを押す。**

カーソル上の１文字が消えます。

- クリアで消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元できます。（を押して復元途中に、以外のボタンを押すと、それ以上の復元はできません。）

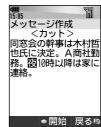
木の下
↓ クリア
木下

クリアを長く（１秒以上）押すと、すべての文字が消えます。このときはを押しても、消去した文字は復元できません。

入力した文字を修正する

1 **クリアで不要な文字を削除する。**

2 **正しい文字を入力する。**

美紀子
↓ クリア
美子
↓
美樹子

コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、最大全角約3000文字（半角約6000文字）までコピー（複写）／カット（切り取り）して、他の場所にペースト（貼り付け）します。

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「1コピー」または「2カット」を選び、◉を押す。**

3 **コピー／カットする文字列の最初の文字を選び、◉を押す。**

文字列の開始位置が指定されます。（画面下部中央に「終了」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：クリア

カット例

4 **コピー／カットする文字列の最後の文字を選び、◉を押す。**

●カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 **ペースト先の画面を表示し、（メニュー）を押す。**

6 **「3ペースト」を選び、◉を押す。**

7 **ペーストする位置を選び、◉を押す。**

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

カーソルの位置を基準にして、それより前または後の文字を、まとめて消去します。

1 **（メニュー）を押す。**

2 **「6カーソル後消去」または「7カーソル前消去」を選び、◉を押す。**

3 **◉を押す。**

テキストメモ

よく使う文章をテキストメモとして登録しておくと、メールの本文入力などで利用できます。

- 最大20件のテキストメモを登録できます。
- 1件のテキストメモに登録できる文字数は、最大全角約64文字（半角約128文字）です。
- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登録されています。これらの記号絵文字を編集した内容を登録することもできます。
- テキストメモを最大件数まで登録すると、新規作成できません。不要なテキストメモを消去してから操作してください。
- テキストメモを利用して、バーコードを作成できます。（☞P.12-27）

メニュー ▶ データ確認

1 「7テキストメモ」を選び、◉を押す。

あらかじめ登録されている記号絵文字のタイトルや、登録した文章の最初の部分が表示されます。

■ テキストメモの確認：テキストメモ選択➡◉

2 登録する番号を選び、◉を押す。

■ 登録済の番号選択時：✐（メニュー）➡「2編集」選択➡◉

3 文章を入力し、◉を押す。

テキストメモに登録されます。

- 他のテキストメモを登録するときは、操作2〜3をくり返します。

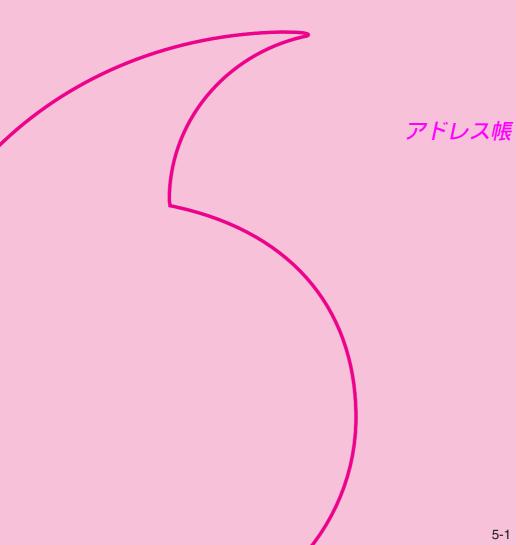
メールやアドレス帳などの文字入力画面から登録する

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

✐（メニュー）➡「4テキストメモ登録」選択➡◉➡登録する最初の文字選択➡◉➡登録する最後の文字選択➡◉➡登録する番号選択➡◉

テキストメモの編集

テキストメモを修正／消去します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ テキストメモ

テキストメモを修正する

テキストメモ選択➡✐（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡内容修正➡◉

テキストメモを1件ずつ消去する

テキストメモ選択➡✐（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- テキストメモ01〜10を選んだときは、お買い上げ時の状態に戻ります。

アドレス帳

アドレス帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどをアドレス帳に登録しておけば、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信することができます。
また、アドレス帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。

■アドレス帳から電話をかける（☞P.5-11）

■アドレス帳からメールを送信する（☞ P.3-3）

■電話などの着信があると

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- アドレス帳を誤って消去しないように、また他人が使用できないように設定することができます。（メモリ使用禁止：☞P.11-3）
- 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でアドレス帳のやりとりができます。（☞P.10-2）

アドレス帳登録

アドレス帳に登録できる項目

- アドレス帳には、000～499番まで最大500件登録できます。
- アドレス帳を利用して、バーコードを作成できます。（☞P.12-27）

項目		内容
:名前		最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登録できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角10文字（だく点、半だく点含む）まで入力できます。
:電話番号		アドレス帳１件につき、最大３件の電話番号を登録できます。
:E-mailアドレス		アドレス帳１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登録できます。それぞれ最大半角60文字まで入力できます。
:グループ		アドレス帳を、最大10種類のグループ（グループ０～グループ９）に分けて管理できます。グループ名を登録／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登録した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないアドレス帳を、シークレットデータとして登録できます。
:フォト設定		画像をアドレス帳に登録できます。登録した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたときに、登録した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登録した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登録している画像を表示するかどうかを設定します。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダに振り分けます。

アドレス帳編集中に着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。編集を継続するときは、通話終了後に次の操作を行います。

◉➡「❶YES」選択➡◉➡アドレス帳入力画面へ

アドレス帳の基本的な登録方法

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳登録

アドレス帳入力画面

1 **相手の名前を入力する。**

2 **◉を押す。**

「 :」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力されます。

- ワンタッチ変換、コピー／貼り付けなどで入力したときや、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「 :」選択➡◉➡ヨミ入力➡◉

■ 登録の中止：（取消）➡「1YES」選択➡◉

3 **「 :」を選び、◉を押す。**

4 **電話番号を入力する。**

- 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

■ 電話番号の修正：◎でカーソルを間違った数字に移動➡クリアで数字を消去➡正しい数字を入力［クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消えます。］

■ 電話番号の区切り（「-」）の入力：（2回押す）

▪「-」も電話番号の1ケタとしてカウントされます。

■ ポーズ（「P」）とプッシュトーンの入力：（3回押す）➡ダイヤルボタンで数字などを入力

▪「P」ひとつにつき、約1秒のポーズが入力されます。ポーズ以降に入力した数字などは、プッシュトーンとして送信できます。（☞P.12-2）

5 **◉を押す。**

6 **アイコンを選び、◉を押す。**

■ 複数の電話番号の登録：「 :<未登録>」選択➡◉➡操作4～6をくり返す

7 **「 :」を選び、◉を押す。**

8 **E-mailアドレスを入力する。**

9 **◉を押す。**

10 **アイコンを選び、◉を押す。**

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「 :<未登録>」選択➡◉➡操作8～10をくり返す

■ グループの設定：「 :」選択➡◉➡グループ選択➡◉

■ パーソナルデータの入力：「 :」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉

■ フォトの設定：☞P.5-6

■ シークレットの設定：☞P.5-7

11 （登録）を押す。

メモリ番号（１件ごとのアドレス帳に付けられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

12 メモリ番号（３ケタ：000～499）を入力する。

１件分のアドレス帳が登録されます。

- スイッチ付イヤホンマイクを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.12-32）
- スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.5-14）

空いているメモリ番号に自動登録する

- を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。
- 百の位、十の位の数字を押したあと を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。
  - **百の位だけを指定する（数字を１ケタ入力後 ➡ ）**
    と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登録されます。
  - **十の位までを指定する（数字を２ケタ入力後 ➡ ）**
    と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
メモリNoXXXに上書しますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「1YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登録するときは、「2NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。 空いているメモリ番号に登録するときは、上記を参照してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きするか、不要なアドレス帳を消去してください。（☞P.5-15）
シークレットデータが登録されています	シークレットデータとして登録されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモードに設定すると、書き換えられます。（☞P.11-6）

5 アドレス帳

アドレス帳に画像を登録する（フォト）

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときやメールが送られてきたとき、登録した画像（静止画／アニメーション）を表示することができます。

フォトを設定する

1 アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「📷:」を選び、◉を押す。

2 ***データフォルダの画像を登録する***

1「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 データフォルダ（☞P.9-6）から画像を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

●画像のサイズによっては、選択できないことがあります。

画像を撮影して登録する

1「2モバイルカメラ起動」を選び、◉を押す。

2「1写メールモード」または「2壁紙モード」を選び、◉を押す。

3 画像を画面に表示する。

4 ◉を押す。

静止画が撮影されます。

5 ◉を押す。

静止画がデータフォルダに登録され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

着信時に画像を表示する

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「オプション設定」を選び、◉を押す。

2「3ピクチャーコール／メール」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信時に画像を表示しない：「2OFF」選択➡◉

4 ☜（完了）を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

データフォルダ内の画像を登録しているとき、元の画像を消去すると、ピクチャーコール／メールは「OFF」になります。

シークレットデータに設定する

1 **アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「🔑:」を選び、◉を押す。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

●登録後は、シークレットモードにしないと、シークレットデータは確認できません。（☞P.11-6）

シークレットデータを解除する

■シークレットモード（☞P.11-6）にしたあと、次の操作を行います。

アドレス帳呼び出し（☞P.5-11）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡アドレス帳登録（☞P.5-15操作6〜8）

注意 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

シークレットモードにしていないときは、シークレットデータの相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットデータとして登録する前のリダイヤルや着信履歴の名前は、表示されます。

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

メニュー ▶ 電話

1「4リダイヤル」または「5着信履歴」を選び、◉を押す。

2 電話番号を選び、（メニュー）を押す。

3「アドレス帳登録」を選び、◉を押す。

4 *新しいアドレス帳に登録する*

1「1新規登録」を選び、◉を押す。

2 名前を入力し、◉を押す。

自動的に電話番号が入力され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

登録済のアドレス帳に追加登録する

1「2追加登録」を選び、◉を押す。

2 追加登録するアドレス帳を選ぶ。（☞P.5-11操作２）

- ◎（TEL）を押す必要はありません。
- すでに３件の電話番号を登録しているときは、追加登録できません。

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）が表示されます。他の項目を入力してください。

注意

着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、アドレス帳に登録できません。

補足

受信メール（☞ P.4-7）やノートパッドメモリ（☞P.2-13）からも追加登録できます。

アドレス帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１

1「1メモリ確認」を選び、◉を押す。

アドレス帳に登録されている件数が表示されます。

■ 確認終了：PWR

アドレス帳登録時のオプション設定

オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール（☞P.5-6）、メールフォルダの設定ができます。

- 1件のアドレス帳に複数の電話番号／E-mailアドレスが登録されているときは、オプション設定の一括設定／個別設定が行えます。

一括設定	1件のアドレス帳内の複数の電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を一括で設定します。すでに個別設定が行われているときは、あとで設定した一括設定が優先されます。
個別設定	1件のアドレス帳内のそれぞれの電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を個別に設定します。すでに一括設定が行われているときは、あとで設定した個別設定が優先されます。

5 アドレス帳

オプション設定の基本操作

1 アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「オプション設定」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面が表示されます。

2 項目を選び、◉を押す。

オプション設定の画面

3 *一括設定する*

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡◎（完了）

各設定を解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

■ 設定終了：◎（完了）

4 各オプションの操作を行う。（☞P.5-10）

設定完了後、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコール、メールフォルダを設定しても、設定は無効となります。ボーダフォン携帯電話以外の相手先にメールコール、メールフォルダを設定するときは、E-mailアドレスに対して行ってください。

オプションを設定する

オプション設定の各操作は、オプション設定の画面（☞P.5-9）から行います。

指定着信音／メールコール	登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたときの着信パターンなどを設定します。

着信パターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「1着信パターン」選択➡◉➡着信パターン選択（☞P.8-3操作1～3）➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

バイブレータを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「2バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」／「3SMAF連動」選択➡◉➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

バイブパターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「3バイブパターン」選択➡◉➡バイブパターン選択➡◉➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

ランプを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「4ランプ設定」選択➡◉➡ランプ設定（☞P.8-4操作1～3）➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

着信呼出時間を設定する（メールコールだけ）

「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「5着信呼出時間」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

- 着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、元のファイルを消去すると、着信パターンは「**パターン１**」（指定着信音）／「**効果音 メール**」（メールコール）に変更されます。
- シークレットデータの場合、シークレットモードに設定していないときは、指定着信音／メールコールは動作しません。

メールフォルダ	登録した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

「4メールフォルダ」選択➡◉➡「1受信メール自動振分け」／「2送信メール自動振分け」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡メールフォルダ選択➡◉➡（完了）➡（完了）➡［個別設定時：（完了）］

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

お買い上げ時の状態でのアドレス帳の利用方法（メモリNo検索）を説明します。
●シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.11-6）
●他の検索方法を利用することもできます。（☞P.5-12）

1 **◎（TEL）を押す。**

2 **◎（検索）を押すか、メモリ番号を入力する。**

●◎（検索）を押したときは、メモリ番号の若い順にアドレス帳のリストが表示されます。
●メモリ番号を入力したときは、入力したメモリ番号を含むアドレス帳のリストが表示されます。
■ 他のアドレス帳の利用：◎（アドレス帳選択）

3 **◉を押す。**

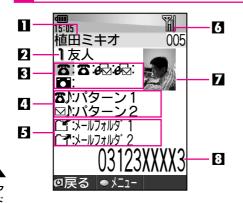
アドレス帳の内容が表示されます。
■ 複数の電話番号登録時：◎（電話番号選択）

4 **⌒を押す。**

発信されます。

注意 メモリ使用禁止（☞P.11-3）を「ON」にしているときは、アドレス帳は利用できません。

5 アドレス帳

ディスプレイ

1 相手の名前
2 グループ名
3 登録データ
 ■電話番号（☎:電話／☎:自宅／▯:携帯電話／☎:会社）
 ■E-mailアドレス（✉:インターネット／✉:携帯電話）
 ■パーソナルデータ（👤:）
 ■フォト設定（📷:）
4 着信音またはメールコールに設定している着信音色
 ☎♪:指定着信音／✉♪:メールコール
5 自動振り分けに設定しているメールフォルダ名
 :受信メールフォルダ／
 :送信メールフォルダ
6 メモリ番号
7 フォト設定に登録済の画像
8 電話番号またはE-mailアドレス

補足
- 登録データを⊙で選択すると、登録内容が表示されます。（電話番号／E-mailアドレスは8に、パーソナルデータ、フォトは別画面に表示されます。）
- 「👤:」（パーソナルデータ）または「📷:」（フォト設定）を選んだときは、⊙（戻る）を押すと、アドレス帳リストに戻ります

アドレス帳の検索方法を切り替える

アドレス帳の検索方法

メモリNo検索	指定したメモリ番号のアドレス帳を表示します。
アカサタナ検索	指定した「ヨミ」の行のアドレス帳を表示します。
グループ検索	指定したグループ内のアドレス帳を表示します。
読み検索	入力した「ヨミ」で始まるアドレス帳を表示します。

- お買い上げ時には、「**メモリNo検索**」に設定されています。

検索方法を切り替える

1 **◎（TEL）を押す。**
前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 **（メニュー）を押す。**

3 **検索方法を選び、◉を押す。**
選んだ検索方法の画面が表示されます。
●このあと各検索方法でアドレス帳を呼び出すことができます。（☞下記）

各検索方法を利用する

●下記の操作は待受画面からの操作です。検索方法を切り替えた直後（上記操作３のあと）に操作するときは、◎（TEL）を押す必要はありません。

メモリNo検索 メモリ番号を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**メモリNo検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡３ケタのメモリ番号（000～499）入力➡アドレス帳選択➡◉

発信：上記操作のあと

アカサタナ検索 「ヨミ」の行を指定してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**アカサタナ検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡ヨミの行指定➡アドレス帳選択➡◉

発信：上記操作のあと

●ヨミの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	ハ行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

■英字、数字、記号または「ヨミ」が入力されていないアドレス帳のときは、「**その他**」になります。

グループ検索 グループを選択してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**グループ検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡グループ選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

発信：上記操作のあと

読み検索 「:」に登録した「ヨミ」を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**読み検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡ヨミ（最大半角10文字まで）入力➡◉➡アドレス帳選択➡◉

発信：上記操作のあと

スピードダイヤルで電話をかける

メモリ番号000~099に登録したアドレス帳は、簡単な操作で発信できます。

●シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。(☞P.11-6)
通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

1 *メモリ番号000~009に登録した相手にかける*

❶アドレス帳のメモリ番号の下1ケタの数字(0~9)を押す。

メモリ番号010~099に登録した相手にかける

❶アドレス帳のメモリ番号の下2ケタの数字(10~99)を押す。

2 **を押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、発信されます。

●メモリ番号000~099のアドレス帳に登録されていないときは、電話番号未登録の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

●複数の電話番号が登録されているときは、1番目に登録されている電話番号が発信されます。

注意 メモリ使用禁止(☞P.11-3)を「ON」にしているときは、スピードダイヤルは使用できません。

アドレス帳リストに画像を表示する

アドレス帳のフォト設定に登録されている画像を、アドレス帳リストの画面に表示します。

アドレス帳リスト表示
(メモリNo検索時)

フォト付アドレス帳リスト
表示(メモリNo検索時)

1 **(TEL)(検索)の順に押す。**

2 **(メニュー)を押す。**

3 **「フォト付表示」を選び、◉を押す。**

フォト設定に登録されている画像が表示されます。

■ リスト表示に設定:フォト付表示時に(**メニュー**)➡「**リスト表示**」選択➡◉

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 ◎（TEL）を押したあと、修正するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「修正」を選び、◉を押す。

アドレス帳入力画面が表示されます。

4 修正する項目を選び、◉を押す。

選んだ項目が修正できるようになります。

- このあと、アドレス帳の登録時と同様の操作で修正を行います。（☞P.5-4）
- 名前を修正したとき、「ヨミ」は自動的に修正されません。「ヨミ」も修正してください。

5 修正が終われば、◉を押す。

アドレス帳入力画面に戻ります。

- 続けて他の項目を修正するときは、操作4～5をくり返します。

■ 操作の中止：（取消）➡「1YES」選択➡◉

6 （登録）を押す。

7 ◉を押す。

8 「1YES」を選び、◉を押す。

変更した内容が元のメモリ番号に登録されます。

■ 別のメモリ番号で登録：「2NO」選択➡◉➡メモリ番号入力／

アドレス帳を消去する

1 ◎（TEL）を押したあと、消去するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「消去」を選び、◉を押す。

4 「1YES」を選び、◉を押す。

指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳を消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、ボイスファイル、画像は消去されません。

グループ設定

アドレス帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音（通常着信／メール着信）などを設定できます。

- 指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-10）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ名変更

1 グループ名を選び、◉を押す。

2 グループ名を入力する。

- 最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

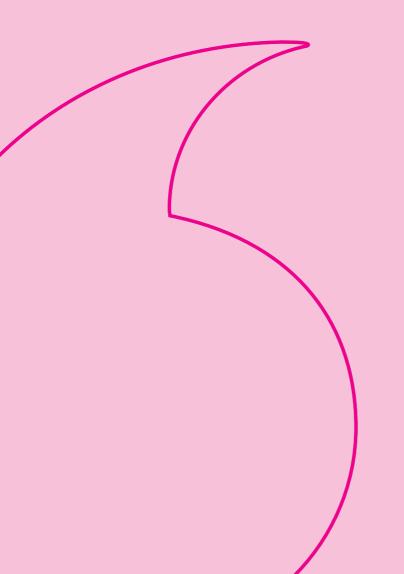
3 ◉を押す。

- 別のグループ名を変更するときは、操作１～３をくり返します。

4 操作を終わるときは、PWRを押す。

グループ着信音を設定する

- お買い上げ時には、すべてのグループが「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ着信

1 グループ名を選び、◉を押す。

2 「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。

3 「1着信設定」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉

5 「2着信パターン」～「6着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。

- 「6着信呼出時間」は、メール着信のときだけ設定できます。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3
■ バイブレータ／ランプの設定方法や注意点：☞P.8-3～P.8-4
■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.8-5

6 設定を終わるときは、PWRを押す。

グループ着信音を「OFF」にしているときは、通常着信音の設定に従います。

カメラ機能

カメラについて

V302SHは有効画素数31万画素のモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。詳しくは、下記のページなどを参照してください。

●静止画（☞P.6-5）　●動画（☞P.6-13）
●カメラ機能で使用するボタン（☞P.6-4）
●各種撮影方法（☞P.6-16）

カメラをご利用になる前に

各カメラモードでの、静止画や動画の保存形式／登録場所は、次のとおりです。

モード	保存形式	登録場所
写メールモード	JPEGハイカラー（.jpg）、PNGノーマル／ソフト256色（.png）	データフォルダ（ピクチャー：☞P.9-3）
壁紙モード	JPEG（.jpg）	
デジタルカメラモード	JPEG（.jpg）	デジタルカメラフォルダ（☞P.9-2）
アクションスナップモード	MPEG-4（.ASF）	アクションスナップフォルダ（☞P.9-2）

カメラ利用時のご注意

●撮影前に、レンズカバー（☞P.1-6）が汚れていないかご確認ください。レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
●手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V302SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-9）で撮影してください。
●カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
●V302SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登録したときは、画質が劣化することがあります。
●カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音

■ カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音が鳴ります。
●マナーモードの設定にかかわらず、撮影時の音（シャッター音やセルフタイマー音）は鳴ります。音量も変更できません。
●静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中、画像を撮影する前に約５分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

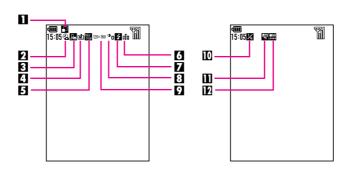
静止画撮影直後／動画撮影中に着信があると

■ 撮影した静止画は一時的に記憶（保護）されています。撮影後の画面に戻るときは、通話終了後に、次の操作を行います。

◉➡「1YES」選択➡◉

■ 撮影中の動画は保護されません。

デジタルカメラモード撮影時のご注意

■ デジタルカメラモードで撮影した静止画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の静止画となります。デジタルカメラモードで撮影するときは、V302SHを右図のように横向きに持って撮影することをおすすめします。

カメラのちらつきについて

■ 蛍光灯の下で撮影すると、画面の表示がちらつく（しま模様が出る）ことがあります。このときは、「**ちらつき防止**」（☞P.6-17）で設定を変更してください。

6

カメラ機能

ディスプレイ

静止画や動画の撮影時には、撮影内容を表すアイコンが画面に表示されます。

●ここでは、カメラモードにかかわらず、静止画や動画の撮影時に表示されるすべてのアイコンを説明しています。詳しくは、各表示のページを参照してください。

1 画像表示（☞P.6-16）

：等倍／：２倍

2 セルフタイマー ON表示（☞P.6-9）

3 モード表示（☞P.6-20）

：写メールモード／：壁紙モード／：デジタルカメラモード／

：アクションスナップモード

4 保存形式表示（☞P.6-19）

：JPEGハイカラー／：PNGノーマル256色／：PNGソフト256色

5 画質表示（☞P.6-18）

：ノーマル／：ファイン

6 登録可能件数表示（☞P.6-6、P.6-13）
- 100件以上撮影（登録）可能なときは、「100」が表示されます。
- 5件以下になると、背景が赤く表示されます。

7 モバイルライトON表示（☞P.6-17）

8 明るさ表示（☞P.6-18）

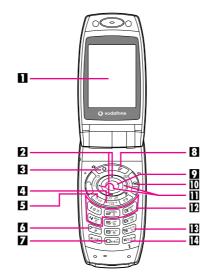
暗い ◀標準▶ 明るい

9 撮影サイズ表示（☞P.6-18）／マイク表示（☞P.6-19）

10 連写枚数表示

1/4～4/4：「**撮影済または表示中の枚数**」／「**連写枚数**」を表します。

：分割画像を確認中に表示されます。

11 連写モード表示

：4枚連写ON／：9枚連写ON／：25枚高速連写ON

12 連写スピード表示

：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル

カメラ機能で使用するボタン

- 利用できるボタン操作は、画面に表示できます。（☞P.6-20）

1 ファインダー

2 明るさ調整（☞P.6-18）

（明るくなる）／（暗くなる）

3 カメラ起動

待受画面で長く（1秒以上）押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「**写メールモード**」）

4 表示切替（☞P.6-16）

5 撮影のやり直し

6 瞬間ズーム（等倍）

7 撮影サイズ切替（☞P.6-18）
写メールモードで撮影前、押すたびに「120×128」⇔「120×160」が切り替わります。
8 メニュー表示
9 シャッター
10 カメラ終了
11 ズーム
◉（ズームダウン）、◉（ズームアップ）
12 カメラモード切替（☞P.6-20）
カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

1	写メールモード（☞下記）	3	デジタルカメラモード（☞下記）
2	壁紙モード（☞下記）	4	アクションスナップモード（☞P.6-13）

待受画面で1〜4を長く（1秒以上）押すと、上記の各モードでカメラが起動します。
13 瞬間ズーム（最大）
14 モバイルライト（☞P.6-17）
押すたびに、「ON」⇔「OFF」が切り替わります。

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登録が可能
連写、装飾なども可能

メール添付や壁紙登録など、V302SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

壁紙モード
V302SHの画面に合ったサイズで撮影可能
撮影した静止画を分割してメールに添付することが可能

こんなときに

V302SHの壁紙に利用する静止画をよりきれいに撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横640×縦480ドットの大きな静止画が撮影可能

こんなときに

パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	壁紙モード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横240×縦320ドット（QVGA）	横640×縦480ドット（VGA）※1
画質	—	ノーマル／ファイン	
ズーム	2倍／4倍	2倍	—
ロングメール添付	写メールサイズ	壁紙サイズ／写メールサイズ／分割	サムネイルのみ
ファイル形式	JPEGファイル／PNGファイル	JPEGファイル	
登録可能数(目安)	約1600ファイル※2	約530ファイル※2	約200ファイル※2

※1　実際のサイズの静止画とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。

※2　お買い上げ時の状態で撮影し、V302SHに登録したときの画像数です。

- V302SHのデータフォルダのメモリは、Vアプリライブラリやアクションスナップフォルダなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-22を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード／壁紙モード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年09月15日午後12時34分に撮影→「05-09-15_12-34」）
デジタルカメラモード	「VFSH0001」、「VFSH0002」…の順に、ファイル名が付きます。

- 写メールモード／壁紙モードのファイル名は、変更できます。（☞P.9-23）

デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V302SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V302SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

1 「1写メールモード」、「2壁紙モード」、「3デジタルカメラモード」のいずれかを選び、◉を押す。

2 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-16

3 Sまたは◉を押す。

シャッター音が鳴ったあと、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：クリア➡「1YES」選択➡◉
- 画像編集：☞P.9-12～P.9-19
- メール添付：◎（写メール）➡◎P.3-3操作２以降

4 静止画を登録するときは、◉を押す。

撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

登録していない画像があるとき

終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登録せずに、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

- 以下の操作は、上記操作３の静止画撮影直後の状態で行います。

アドレス帳登録	写メールモードまたは壁紙モードで撮影した静止画をアドレス帳に登録します。

✉（メニュー）➡「アドレス帳登録」選択➡◉➡P.5-8操作４

サムネイル登録	デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）だけを、データフォルダのピクチャーフォルダに登録します。

✉（メニュー）➡「サムネイル登録」選択➡◉

サムネイル90度回転	デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）を回転し、画像の向きを変えて登録できます。

✉（メニュー）➡「サムネイル90度回転」選択➡◉

- さらに回転するときは、✉（回転）を押します。
  - 回転後のサムネイル登録：◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

●デジタルカメラモードでは、「**特殊撮影設定**」の項目はありません。

表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
モバイルライト設定		モバイルライトを利用して撮影します。（☞P.6-17）
撮影サイズ設定※1		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-18）
画質設定※2		画質を設定します。（☞P.6-18）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-9）
	連写設定※3	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-11）
	フレーム設定※3	画像にフレームを付けて撮影します。（☞P.6-10）
	エフェクト撮影※3	画面の装飾効果を確認しながら静止画を撮影します。（☞P.6-11）
	ソフトフォーカス※1	メール添付しやすい静止画にするかどうかを設定します。（☞P.6-18）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-16）
	保存形式変更※1	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.6-19）
	登録先※3	静止画を登録するフォルダを設定します。（☞P.6-20）
	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-20）
	ちらつき防止	蛍光灯下での撮影で、しま模様が出るときに設定を変更します。（☞P.6-17）
データ消去		V302SH内の静止画を消去します。（☞P.6-22）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面表示します。（☞P.6-20）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-18）
カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-20）

※1　写メールモードで、利用できます。
※2　壁紙モード／デジタルカメラモードで利用できます。
※3　写メールモード／壁紙モードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

撮影直後（登録前）に（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード／壁紙モード

表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
保存形式変更※1	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.6-19）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.9-12～P.9-19）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.6-18）
登録先	静止画を登録するフォルダを設定します。（☞P.6-20）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-22）
アドレス帳登録	撮影した静止画をアドレス帳に登録します。（☞P.6-7）
データ消去	V302SH内の静止画を消去します。（☞P.6-22）

※1　写メールモードで利用できます。
※2　壁紙モードで利用できます。

■デジタルカメラモード

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
2サムネイル登録	サムネイルだけを登録します。（☞P.6-7）
3サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-7）
4画質設定	画質を設定します。（☞P.6-18）
5サムネイルメール添付	サムネイルをメールに添付します。（☞P.6-24）
6データ消去	V302SH内の静止画を消去します。（☞P.6-22）

セルフタイマーで撮影する

静止画や動画の撮影に、セルフタイマーを利用できます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

●以下の操作は、P.6-7操作２の静止画撮影前、またはP.6-14操作１の動画撮影前の状態で行います。
●お買い上げ時には、「**タイマー OFF**」に設定されています。

1 （メニュー）を押す。

●デジタルカメラモード／アクションスナップモードは、このあと操作３へ進みます。

2 「4特殊撮影設定」を選び、◉を押す。

3 「タイマー設定」を選び、◉を押す。

■ タイマー動作までの時間変更（お買い上げ時「**10秒**」）:「**2時間設定**」選択➡◉➡時間選択➡◉

4 「1タイマー ON」を選び、◉を押す。

「」が表示され、タイマーが設定されます。

■ セルフタイマーの解除 :「**1タイマー OFF**」選択➡◉（操作完了）

5 画像を画面に表示し、◉を押す。

タイマー音が鳴り、タイマーが動作します。

●設定した時間後、静止画を撮影したときは撮影後の画像が表示され、動画を撮影したときは録画が始まります。
●タイマー動作中◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■ 撮影のやり直し：タイマー動作中に（**取消**）

▪タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

6 ***静止画を登録する***

1 静止画を登録するときは、◉を押す。

タイマーは解除され、通常の静止画撮影画面に戻ります。

動画を登録する

1 撮影を終了するときは、◉を押す。

2 動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。

タイマーは解除され、通常の動画撮影画面に戻ります。

7 カメラを終了するときは、[PWR]を押す。

- タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、カメラは終了します。このとき、タイマーは解除されます。
- タイマー動作中は、次の操作はできません。
  - ■明るさの調整、モバイルライトの点灯、撮影モードの変更、撮影サイズの切替

静止画にフレームを付けて撮影する

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も、フレームとして利用できます。
- 以下の操作は、P.6-7操作２の静止画撮影前の状態で行います。

1 [メニューキー]（メニュー）を押す。

2 「[4]特殊撮影設定」を選び、[●]を押す。

3 「[3]フレーム設定」を選び、[●]を押す。

4 *あらかじめ登録されているフレームを利用する*

1 「[1]固定フレーム」を選び、[●]を押す。

2 フレームを選び、[●]を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：[○]（前へ）／[メニューキー]（次へ）

3 [●]を押す。

オリジナルフレームを利用する

1 「[2]オリジナル」を選び、[●]を押す。

- フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレームを選び、[●]を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：[○]（戻る）➡操作1からやり直す

3 [●]を押す。

- 壁紙モードで、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除する

1 「[3]OFF」を選び、[●]を押す。

5 静止画を撮影する。

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作３以降

連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

画面の装飾効果を確認しながら静止画を撮影する

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

●フレーム撮影（☞P.6-10）とは併用できません。
●ソフトフォーカス（☞P.6-18）を「ON」にしていても、エフェクト撮影で撮影した静止画に効果はありません。
●以下の操作は、P.6-7操作２の静止画撮影前の状態で行います。

1 （メニュー）を押す。

2 「4特殊撮影設定」を選び、◉を押す。

3 「4エフェクト撮影」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。

■ エフェクト撮影の解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

5 装飾の種類を選び、◉を押す。

■ 装飾の種類変更：（前へ）／（次へ）

6 ◉を押す。

7 静止画を撮影する。

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作３以降

静止画を連続して撮影する

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。
●連写モードでは、１枚目のシャッター（◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
●連写モードの種類と利用できる撮影モードは、次のとおりです。

連写モード	概　　要	写メールモード※	壁紙モード
４枚連写	４枚の静止画を連続して撮影し、４枚の静止画と分割画像を作成します。	○	○
９枚連写	９枚の静止画を連続して撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。	○	○
25枚高速連写	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×

※ 保存形式を、JPEG形式にしておいてください。（☞P.6-19）
●４枚連写／９枚連写では、設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
●以下の操作は、P.6-7操作２の静止画撮影前の状態で行います。

1 （メニュー）を押す。

2「4特殊撮影設定」を選び、◉を押す。

3「2連写設定」を選び、◉を押す。

■ 連写スピードを変更する（お買い上げ時「**普通**」）：「**連写スピード設定**」選択➡◉➡スピード選択➡◉

4「1 4枚連写ON」、「2 9枚連写ON」、「3 25枚連写ON」（写メールモード）のいずれかを選び、◉を押す。

■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡◉（操作完了）

5 画像を画面に表示し、Ⓢまたは◉を押す。

設定したスピードで連写撮影されます。

●手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）は、残りの回数分操作5をくり返してください。

■ 連写の中止：連写撮影中に✉（**停止**）

▪連写スピードを「**速い**」にしているときや、25枚連写撮影では、操作できません。

▪中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあと◉

■ 連写の取消（マニュアル時）：◎（**取消**）➡「1YES」選択➡◉（途中まで撮影した画像は消去されます。）

6 カメラ機能

6 連写が終われば、分割画像が表示される。

■ 連写画像内の静止画の確認：⊙

■ 連写画像内の静止画を1枚ずつ登録：⊙（画像選択：分割画像も可能）➡✉（**メニュー**）➡「2**表示画像のみ登録**」選択➡◉

■ 連写画像内の静止画のメール送信：⊙➡✉（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」選択➡◉

（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

4枚連写の分割画像

7 画像を登録するときは、◉を押す。

分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録され、連写モードのままで、元のカメラモードに戻ります。

8 カメラを終了するときは、☎を押す。

注意
●暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
●モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
表示画像のみ登録	撮影した静止画を選んで登録します。（☞上記）
画質設定※	ノーマルまたはファインに設定します。（☞P.6-18）
表示画像のみ添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞上記）
データ消去	V302SH内の静止画を消去します。（☞P.6-22）

※ 壁紙モードで利用できます。

動画の撮影

動画撮影モード

アクションスナップモード

撮影後V302SHだけで
再生が可能
音声録音、ズーム撮影
セルフタイマー撮影も可能

いろいろな記録用として、
手軽に動画を撮影するとき

動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、明るい状態で撮影することをおすすめします。

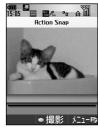
●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

■アクションスナップモード

撮影サイズ	横120×縦88ドット
最長録画時間（１回あたり）	60秒（画質：ノーマル）、40秒（画質：ファイン）
画質	ノーマル／ファイン
ズーム	４倍
ロングメール添付	不可
ファイル形式	MPEG形式［撮影（登録）日時のファイル名が付きます。］
登録可能数（目安）	９ファイル※

※ お買い上げ時の状態（マイク設定、画質）で60秒間撮影し、V302SHに登録したときの画像数です。

●アクションスナップフォルダのメモリは、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる動画数は少なくなります。
●メモリの使用状況を確認するときは、P.6-22を参照してください。

動画を撮影する

メニュー ▶ **モバイルカメラ** ➡ **アクションスナップモード**

1 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-16

2 ⓢまたは◉を押す。

撮影開始音が鳴ったあと、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）

● マイク設定を「ON」にしているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に録音してください。

撮影前にメモリが不足しているとき

空き容量不足の確認メッセージが表示され、撮影前の状態に戻ります。不要な画像を消去（☞P.6-22）すると、撮影できます。

3 撮影を終了するときは、ⓢまたは◉を押す。

撮影終了音が鳴ったあと、動画の撮影が終わります。

● 撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

- 撮影した動画の再生：「2プレビュー」選択➡◉
- 撮影のやり直し：「3取消」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

登録していない動画があるとき

終了するかどうかの確認画面が表示されます。

● 「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した動画を登録せずに、待受画面に戻ります。

● 「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に［メニュー］（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

1表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
2モバイルライト設定		モバイルライトを利用して撮影します。（☞P.6-17）
3画質設定		画質を設定します。（☞P.6-18）
4タイマー設定		セルフタイマーを設定します。（☞P.6-9）
5マイク設定		音声録音を設定します。（☞P.6-19）
6オプション設定	1登録先	動画を登録するフォルダを設定します。（☞P.6-20）
	2オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-20）
	3ちらつき防止	蛍光灯下での撮影で、しま模様が出るときに設定を変更します。（☞P.6-17）
7データ消去		V302SH内の動画を消去します。（☞P.6-22）
8キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。（☞P.6-20）
9明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-18）
◆カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-20）

撮影直後（動画登録前）

撮影直後（登録前）にはメニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

1登録	撮影した動画を登録します。（☞P.6-14）
2プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.6-14）
3取消	撮影をやり直します。（☞P.6-14）
4登録先	動画を登録するフォルダを設定します。（☞P.6-20）

各種撮影方法

撮影時の状態に合わせて撮影方法を変更できます。
●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
●以下の操作は、P.6-7操作２の静止画撮影前、またはP.6-14操作１の動画撮影前の状態で行います。設定後、撮影画面へ戻り、P.6-7操作３、P.6-14操作２以降を行ってください。

表示切替

撮影時の画面表示を大きくしたり、アイコンの表示を消します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 写メールモード：等倍、アクションスナップモード：２倍

（メニュー）➡「■表示切替」選択➡◉

●カメラモードを切り替えたり、モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定

撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 パターン１

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「■シャッター音設定」選択➡◉➡パターン選択➡◉

●シャッター音設定は、静止画撮影モード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべての静止画撮影モードに反映されます。

■ シャッター音確認：パターン選択時に（**再生**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）

注意
●シャッター音の音量は変更できません。
●連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

6 カメラ機能

モバイルライト

撮影時にモバイルライトを点灯するどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時OFF

（メニュー）→「2モバイルライト設定」選択→◉→「1ON」／「2OFF」選択→◉

- 点灯時間を変更する（お買い上げ時「1分」）：（メニュー）→「2モバイルライト設定」選択→◉→「**点灯時間設定**」選択→◉→点灯時間選択→◉
  - ■撮影画面に戻る：上記操作のあと「◆**戻る**」選択→◉→（**戻る**）

●モバイルライトの点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

●モバイルライトの「**点灯時間設定**」は、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

ちらつき防止

蛍光灯下での撮影でしま模様が出るときに設定を変更します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時モード2：60Hz

（メニュー）→「オプション設定」選択→◉→「ちらつき防止」選択→◉→「1モード1：50Hz」／「2モード2：60Hz」選択→◉

●ちらつき防止は、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

薄暗い場所や極端に明るい場所で撮影するときなどは、しま模様が完全に消えないことがあります。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。
- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、P.6-7操作2の静止画撮影前、またはP.6-14操作1の動画撮影前の状態で行います。設定後、撮影画面へ戻り、P.6-7操作3、P.6-14操作2以降を行ってください。

明るさ設定

静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 0（標準）

（メニュー）➡「明るさ設定」選択➡◉➡明るさ選択➡◉
- モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

ソフトフォーカス

写メールモードで撮影するとき、ロングメール添付に便利な圧縮しやすい静止画にするかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 OFF

（メニュー）➡「4特殊撮影設定」選択➡◉➡「5ソフトフォーカス」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

撮影画面に戻る：上記操作のあと（戻る）➡（戻る）

撮影サイズ設定

写メールモードで撮影するときの静止画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 120×160

（メニュー）➡「3撮影サイズ設定」選択➡◉➡サイズ選択➡◉

画質設定

撮影前に画質を設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ノーマル

（メニュー）➡「3画質設定」選択➡◉➡画質選択➡◉

「ノーマル」より「ファイン」の方が画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。

保存形式変更

写メールモードで撮影するとき、静止画の保存形式（色数）を変更できます。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 JPEG（ハイカラー）

撮影前に保存形式を変更する

（メニュー）➡「5オプション設定」選択➡●➡「2保存形式変更」選択➡●➡形式（色数）選択➡●

撮影後（登録前）に保存形式を変更する

（メニュー）➡「2保存形式変更」選択➡●➡形式（色数）選択➡●

- 「PNGソフト256色」は誤差拡散処理を行うため、「PNGノーマル256色」に比べてなめらかな画像となります。
- データフォルダに登録したあとで、保存形式を変換することもできます。（☞P.9-19）

注意 PNG形式にしているとき、連写撮影（☞P.6-11）はできません。また、PNG形式で撮影すると、確認メッセージが表示され登録できないことがあります。このときは、JPEG形式に変更してください。

マイク設定

動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ON

（メニュー）➡「5マイク設定」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

注意 「ON」にするとファイル容量が大きくなるため、録画可能時間は減ります。

その他の設定

画像の登録先を変更するなど、撮影方法や画像に関する設定以外にも、いろいろな機能が利用できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、P.6-7操作2の静止画撮影前、またはP.6-14操作1の動画撮影前の状態で行います。設定後、撮影画面へ戻り、P.6-7操作3、P.6-14操作2以降を行ってください。

カメラモード選択

モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

（メニュー）➡「カメラモード選択」選択➡◉➡カメラモード選択➡◉

- カメラモードを変更すると、以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動するようになります。

登録先設定

静止画や動画を登録するフォルダを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 フォルダ0

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「登録先」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉

オートリセット設定

モバイルカメラを終了したときに、撮影方法／画像に関する設定などをお買い上げ時の状態に戻すかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 OFF（リセットしない）

（メニュー）➡「オプション設定」選択➡◉➡「オートリセット設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

■ 撮影画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）➡（**戻る**）

- オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

「**ちらつき防止**」および「**シャッター音設定**」は、お買い上げ時の状態には戻りません。

キー操作ガイド

現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

（メニュー）➡「キー操作ガイド」選択➡◉

- を押すと、隠れている操作内容を表示できます。

■ 撮影画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）➡（**戻る**）

撮影した画像の確認

静止画の確認

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ モバイルカメラ

1 「写メール／壁紙データ」または「デジタルカメラデータ」を選び、◉を押す。

■ デジタルカメラデータ選択時：フォルダ選択➡◉

写メールデータ

2 静止画を選び、◉を押す。

静止画が表示されます。

■ 別の静止画の確認：クリア

静止画表示中に（**メニュー**）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。（☞P.9-10～P.9-22）

デジタルカメラデータの静止画

■ 画面のサイズに合わせて縮小された「**サムネイル表示**」で表示されます。原寸で表示するときは、次の操作を行います。

（**メニュー**）➡「5実画像表示」選択➡◉

- ◎を押すと、上下左右にスクロールできます。
- ◉を押すと、時計まわりに90度ずつ静止画が回転します。

連写画像を確認する

■ 以下の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉

■ 連写画像を選んだ状態または表示している状態で次の操作を行うと、表示間隔を短くできます。

（**メニュー**）➡「早送り表示」選択➡◉

動画の確認

メニュー ▶ データ確認 ➡ アクションスナップフォルダ

1 動画を選び、◉を押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

■ 別の動画の確認：上記操作のあと（**戻る**）

■ 再生音量の調節：（上げる）／（下げる）

■ 停止後の再生：（**再生**）

メモリ使用状況を確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「◻メモリ使用状況」を選び、◉を押す。
各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登録時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登録できます。

1 ✉（メニュー）を押す。
2 「データ消去」を選び、◉を押す。
3 フォルダを選び、◉を押す。
4 消去する画像を選び、◉を押す。
5 「1YES」を選び、◉を押す。

6 カメラ機能

静止画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接ロングメールに添付して送信します。

- 連写画像を添付するときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。
- 撮影した静止画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.9-7）

1 写メールモードで静止画を撮影する。
■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作１～３

2 撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。
静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ ◎ P.6-3）

簡単メール宛先が登録されているとき

- 登録されている相手先の一覧が表示されます。送信する相手を選び、◉を押すと、ロングメールの作成画面が表示されます。（☞ ◎ P.3-3）
- 簡単メール宛先の登録方法：☞ ◎ P.3-12

簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき

「◻<宛先入力>」を選び、◉を押します。

3 **宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞[◎]P.3-3操作２以降）**

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

壁紙モードで撮影した静止画を添付する

写メールサイズ／壁紙サイズで添付する

1 **壁紙モードで静止画を撮影する。**

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作１～３

2 **撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。**

3 **「❶写メールサイズで添付」または「❷壁紙サイズで添付」を選び、◉を押す。**

静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞[◎]P.6-3）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-22

4 **宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞[◎]P.3-3操作２以降）**

画像を４分割して添付する

●画像分割メールを送信すると、４通分のロングメール料金がかかります。

1 **壁紙モードで静止画を撮影する。**

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作１～３

2 **撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。**

3 **「❸画像分割メール添付」を選び、◉を押す。**

静止画が登録されたあと、メールの宛先選択画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞[◎]P.6-3）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-22

4 **宛先を選択または入力する。（☞ P.3-4操作３～４）**

分割された画像を添付した４通のメールが、送信トレイに保存されます。

●送信トレイに保存された４通のメールには、それぞれ「**件名**」に「**画像分割メール左上**」、「**画像分割メール右上**」、「**画像分割メール左下**」、「**画像分割メール右下**」が自動的に入力されています。

5 ***送信トレイに保存したロングメールを送信する***

1「1YES」を選び、◉を押す。

●このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞ P.4-19）

送信トレイへの保存だけを行う

1「2NO」を選び、◉を押す。

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルを添付する

1 **デジタルカメラモードで静止画を撮影する。**

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-7操作１～３

2 **撮影直後（登録前）の状態で、（メニュー）を押す。**

3 **「5サムネイルメール添付」を選び、◉を押す。**

静止画が登録されたあと、ロングメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●デジタルカメラフォルダに登録せず、送信するように設定できます。（☞ P.6-3）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-22

4 **宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞ P.3-3操作２以降）**

モバイルカメラ撮影後、直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カタカナ44文字、半角英数46文字）となります。また添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルの追加はできません。

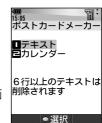
送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登録されます。（登録後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

メニュー ▶ データ確認 ➡ デジタルカメラフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。

- 静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作３へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4 「1テキスト」を選び、◉を押す。

5 文字を入力し、◉を押す。

- 最大全角90文字（全角18文字×５行）まで、入力できます。
- 動く絵文字を利用しても、ポストカードメーカーで作成した画像では動きません。

6 文字色の種類を選び、◉を押す。

■ 文字を縁取らない：「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

7 文字サイズを選び、◉を押す。

テキスト貼付位置が枠で表示されます。

8 ◎で貼付位置を選び、◉を押す。

画像確認画面が表示されます。

9 ◉を押す。

ポストカードを登録すると、サムネイル（☞P.6-6）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

カレンダーを作成する

メニュー ▶ データ確認 ➡ デジタルカメラフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。

- 静止画を選び、（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作3へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 （メニュー）を押す。

3 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4 「2カレンダー」を選び、◉を押す。

5 「1 1ヶ月（小）」または「2 2ヶ月」を選び、◉を押す。

現在月が表示されます。

6 カレンダーの表示月を入力し、◉を押す。

カレンダー表示位置が枠で表示されます。

7 で貼付位置を選び、◉を押す。

画像確認画面が表示されます。

8 ◉を押す。

- カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の「**曜日色設定**」（☞P.7-3）の内容が反映されます。
- カレンダーを登録すると、サムネイル（☞P.6-6）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登録されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。

- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できないことがあります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ 壁紙設定

1 「1ON」を選び、●を押す。

■ 壁紙を解除する：「2OFF」選択➡●（操作完了）

2 ***内蔵画像を利用する***

1「1アニメBlocks」～「6イラストDisney２」のいずれかを選び、●を押す。

2 ●を押す。

オリジナル画像を利用する

1「7オリジナル」を選び、●を押す。

■ オリジナル画像設定時：✉（変更）

- すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）

2 データフォルダ（☞P.9-6）から画像を選び、●を押す。

■ 画像サイズの変更：✉（メニュー）➡「1拡大縮小」選択➡●➡◎（拡大／縮小）

■ 分割画像の設定：✉（メニュー）➡「2分割画像作成」選択➡●➡「2」～「4」選択➡●➡データフォルダから画像選択➡●➡●➡✉（完了）

3 ●を押す。

待受画面のアイコン表示

■ 壁紙を設定しているときの待受画面のアイコン（電波状態表示や電池残量表示）は、次の操作で消すことができます。

●➡ファンクション➡表示／設定２➡画面表示設定➡「5マーク表示設定」選択➡●➡「2OFF」選択➡●

■「マーク表示設定」を「OFF」にしている場合、待受画面で⏻を押すと、アイコンが表示されます。（約５秒間）

- 壁紙を設定していないときや待受画面以外では、マーク表示設定にかかわらずアイコンが表示されます。

- ボーダフォンライブ！やデータフォルダから、画像を壁紙に設定することもできます。
- Vアプリ待受を設定しているときは、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
- カレンダー（☞下記）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」にすると、壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。
- アニメーション中は、カレンダー（☞下記）を「**1ヶ月表示（大）**」～「**6ヶ月表示**」にしていても、カレンダーは表示されません。
  また、時計を「**時計大**」にしていても、「**時計小**」で表示されます。

時計／カレンダー表示設定

待受画面に表示される時計／カレンダーの表示形式を設定します。

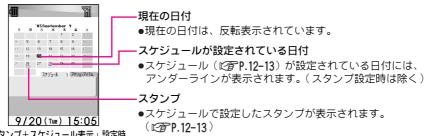
時計の表示形式を設定する

- お買い上げ時には、「**時計大**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1 「1時計大」または「2時計小」を選び、●を押す。

■ 時計の非表示：「4OFF」選択➡●

「4OFF」を選ぶと、カレンダー（☞下記）も表示されなくなります。

カレンダーの表示形式を設定する

1ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月表示の7種類から選べます。

- 「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、1ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登録したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ+スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容もあわせて表示できます。
- 「**1ヶ月表示（小）**」、「**2ヶ月表示**」は、表示位置を変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1 「3カレンダー」を選び、●を押す。

■ カレンダーの非表示：「4OFF」選択➡●

▪「4OFF」を選ぶと、時計（☞上記）も表示されなくなります。

2 「1スタンプ表示（大）」～「76ヶ月表示」のいずれかを選び、●を押す。

■ 「**4 1ヶ月表示（小）**」、「**5 2ヶ月表示**」選択時：表示位置指定➡●

■ カレンダー曜日色の設定：「**8 曜日色設定**」選択➡●➡曜日選択➡●➡色選択➡●

カレンダーの見かた

「スタンプ+スケジュール表示」設定時

●Ⓤを押すと前の月のカレンダーが、Ⓓを押すと次の月のカレンダーが表示されます。Ⓤを押し続けると、表示される月が連続して変わります。
（「**2ヶ月表示**」はひと月ずつ順に、「**4ヶ月表示**」、「**6ヶ月表示**」はふた月ずつ順に送られます。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
●カレンダー表示中にPWRを押し一時的にカレンダー表示を消すと、Ⓤ（キー長押しのガイド）やⒹ（着信履歴の確認）を行うことができます。
このあとカレンダー表示に戻るときは、再度PWRを押します。

補足

●壁紙を「ON」にしているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定しているときは壁紙は、表示されません。
●壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
●Vアプリ待受を設定しているときは、カレンダーが表示されないことがあります。

7 ディスプレイ設定

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを表示します。
●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ 画面表示設定 ▶ マイキャラクタ

1 表示場面を選び、◉を押す。

2 「1キャラクタ1」、「2Disney」、「3オリジナル」のいずれかを選び、◉を押す。

●「1キャラクタ1」または「2Disney」を選んだときは、このあと操作5へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「4OFF」選択➡◉（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：（**変更**）
■ すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

3 データフォルダ（☞P.9-6）から画像を選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
●利用できない画像は表示されません。

パワーON	横120×縦130ドット	着信	横120×縦38ドット
パワーOFF	横120×縦130ドット	アラーム	横120×縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、2倍に拡大されます。
■ 画像の表示サイズの変更：スケジュール/メモ（「**等倍**」⇔「**2倍**」切替）

4 で画像の表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。
■ 画像の変更：クリア➡操作3からやり直す

5 ◉を押す。

マイキャラクタが設定されます。

マイキャラクタの「**3着信**」を「**3オリジナル**」に設定している場合に、アドレス帳のピクチャーコール／メールを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

文字サイズ（フォントト）変更

画面に表示される文字の太さや大きさを変更します。

●お買い上げ時には、太さは「文字３」、大きさは「OFF」（等倍）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定

1 ***太さを設定する***

1「③文字表示設定」を選び、◉を押す。

2「①文字１」〜「④文字４」のいずれかを選び、◉を押す。

大きさを設定する

1「④文字拡大メニュー」を選び、◉を押す。

2「①ON」または「②OFF」を選び、◉を押す。

●文字拡大メニューを「ON」にすると、ファンクションメニューやツールメニューなど、大分類メニューの文字が大きくなります。大分類メニュー内のメニューや機能の画面では、文字が大きくならないことがあります。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

画面パターン設定

メニューやリスト画面の背景パターンを変更したり、電池レベル／電波状態表示のアイコンの形状を変えるなど、画面表示をアレンジできます。

●変更できる内容とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

設定項目	内容	お買い上げ時の設定
電池レベル	画面上部の電池レベル表示を設定します。	アイコン１
電波状態	画面上部の電波状態表示を設定します。	アイコン１
タイトル色	メニュー画面やリスト画面のタイトル行の色を設定します。	タイトル色１
ボタンマーク	メニュー項目の行頭に表示されるアイコンを設定します。	ボタンマーク１
ガイドボタン	画面下部のソフトキーを設定します。	ガイドボタン１
ピクト行背景	画面上部のアイコンが表示される行の背景を設定します。	ピクト行背景１

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面パターン設定

1 設定項目を選び、◉を押す。

2 選択項目を選び、◉を押す。

●他の項目を設定するときは、操作１〜２をくり返します。

Disneyスタイルを「ON」にしているときは、画面パターン設定は行えません。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

画面やボタンの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。
- 1日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
  このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-20）
- お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 照明設定

1 画面の照明を設定する

1 「1パネル照明ON／OFF」を選び、●を押す。

ボタンの照明を設定する

1 「2キー照明ON／OFF」を選び、●を押す。

2 点灯時間を変更する

1 「1ON」を選び、●を押す。

2 点灯時間（01～99秒）を入力し、●を押す。

点灯時間が設定されます。

点灯しないようにする

1 「2OFF」を選び、●を押す。

- 「OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定する

1 「3点灯時間帯」を選び、●を押す。

2 開始時刻と終了時刻（各4ケタ）を入力し、●を押す。

開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明とキー照明が点灯します。

3 点灯時間（01～99秒）を入力し、●を押す。

- 時刻を設定していないときは、点灯時間帯の設定は反映されません。
- パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネル明るさ調整

画面の照明の明るさを調整します。（4段階）

お買い上げ時 明るさ4

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 照明設定 ▶ パネル明るさ調整

上（明るくする）／下（暗くする） ▶ ●

車載時設定

シガーライター充電器で充電するとき、画面やボタンの照明を点灯するようにします。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 照明設定 ▶ 車載時設定

「1ON」選択 ▶ ●

■ 車載時設定の解除：「2OFF」選択 ▶ ●

7 ディスプレイ設定

サブディスプレイ設定

サブディスプレイのON／OFF	サブディスプレイのON（表示する）／OFF（表示しない）を設定します。

お買い上げ時ON

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ サブディスプレイON／OFF

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

照明設定	サブディスプレイ照明の点灯時間や点灯する時間帯を設定します。

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時点灯時間：15秒、点灯時間帯：17:00～6:00

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ 照明設定

点灯時間を設定する

「1ON」選択 ▶ ● ▶ 点灯時間（01～99秒）入力 ▶ ●

■ 点灯しないようにするとき：「2OFF」選択 ▶ ●

点灯時間帯を設定する

「3点灯時間帯」選択 ▶ ● ▶ 開始時刻（4ケタ）入力 ▶ 終了時刻（4ケタ）入力 ▶ ● ▶ 点灯時間（01～99秒）入力 ▶ ●

● 開始時刻と終了時刻までの間、サブディスプレイ照明が点灯します。

液晶濃度調整	サブディスプレイの液晶濃度を、調整します。（9段階）

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時濃度5

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ 濃度調整

上（濃くする）／下（淡くする） ▶ ●

相手表示設定	着信時に相手の電話番号（名前）を表示するかどうかを設定します。

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時ON

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ 相手表示設定

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

その他のディスプレイ関連機能

日本語／英語切替（Language）

画面の表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 日本語

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ Language

「1日本語」／「2English」選択➡◉

ウェイクアップ

電源を入れたときに、画面にメッセージを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ ウェイクアップ

「1ON」選択➡◉➡内容入力➡◉

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

■ ウェイクアップの解除：「2OFF」選択➡◉

ボーダフォンライブ！アニメ

メール送受信時や情報受信時にアニメーションを表示するかどうかを、表示場面ごとに設定します。

お買い上げ時 すべてON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ ボーダフォンライブ！アニメ

「1メール送信」～「8ウェブ起動」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

メール背景アニメ

メール本文表示時に、アニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ メール背景アニメ

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

スクリーンアニメ

V302SHを開いたまま、操作しない状態で一定時間以上経過したとき、アニメーションを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ アニメーション設定 ➡ スクリーンアニメ

内蔵アニメーションを利用する

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「1アニメーション1」／「2アニメーション2」選択➡◉➡◉

ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションを利用する

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「3オリジナル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スクリーンアニメを表示するまでの時間を設定する

「1ON」選択➡◉➡「2起動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スクリーンアニメを解除する

「2OFF」選択➡◉

- スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）だけです。
- スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
- 待受画面やモバイルカメラ起動中などV302SHの動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

スクリーンアニメを「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

Disneyスタイル

インデックスメニュー画面、通話中やメール送受信時などで、Disneyキャラクターを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

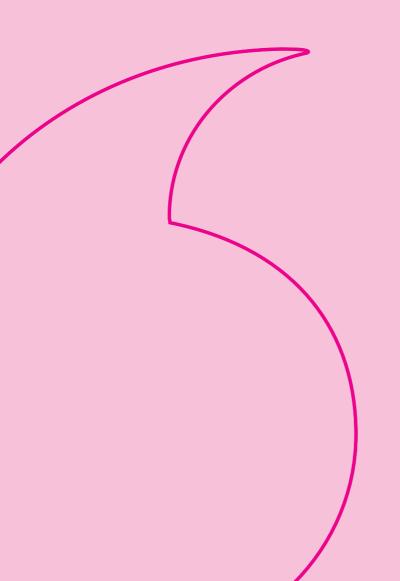
メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ Disneyスタイル

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- 「ON」にすると、画面上部の電波状態や電池レベル表示も、Disneyキャラクター表示になります。

お知らせランプ設定

着信があったときや、アラームが動作したときなどに、スモールライトを点滅させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 すべてランプ表示なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ お知らせランプ設定

着信の種類選択➡◉➡「1ランプ表示あり」／「2ランプ表示なし」選択➡◉

- スモールライトの点滅は着信をお知らせする確認画面が表示されている間続きます。
- オフラインモード設定中、V302SHを閉じたり、パネルセーブが動作したときは、ここでの設定にかかわらず、スモールライトが点滅します。

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 レポート
着信音量	音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF					
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト				
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1					
着信呼出時間	―	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

●「**受信完了通知**」とは、次のようなときの動作です。
- ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
- ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
- ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき

●「**配信確認**」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。

●設定した内容は、電源を切っても保持されます。

●マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

1 ◎で音量を選ぶ。

●「**音量5**」が最大です。「**ステップ**」にすると、約3秒ごとに、「**音量1**」～「**音量5**」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：◎（♪ **再生**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

2 ◉を押す。

通常着信を「**ステップ**」にすると「▣」が、「**サイレント**」にすると「▣」が待受画面に表示されます。

着信パターンを設定する

あらかじめ登録されているパターンやメロディ、作成したオリジナル着信音、ボイスファイルなどから選べます。
●あらかじめ登録されているメロディは、V302SHの画面表示でご確認ください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信パターン

1 *あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する*

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

●V302SHには、あらかじめ「**ミッキーマウスマーチ**」が登録されています。

許諾番号：T-0570387 JASRAC

データフォルダに登録したメロディを利用する

1「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

録音したボイスファイルを利用する

1「4ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

●ボイスファイルは、「**受信完了通知**」には利用できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるファイルは、着信パターンに設定できません。
●メロディやサウンドなどのデータ内容によっては、着信音として利用できないことがあります。

2 メロディやサウンドなどを選ぶ。

■ パターンやメロディの再生：◎（♪ **再生**）
▪ 再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）
▪ マナーモード設定中や着信音量を「**ステップ**」／「**サイレント**」にしているときでも、「**音量１**」で再生されます。

バイブ設定（☞下記）を「**SMAF連動**」にしているときにメロディを再生すると、メロディ内のバイブレータが動作することがあります。

3 ◉を押す。

着信パターンに設定したデータフォルダ内のファイルを消去すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

着信をバイブレータでお知らせする

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ バイブ設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ バイブレータの解除：「**2OFF**」選択➡◉
■ SMAF連動の設定：「**3SMAF連動**」選択➡◉

8 音の設定

「🅔SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

- バイブ設定を「ON」にしている場合、V302SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。
- マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

バイブパターンを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ バイブパターン

1 バイブパターンを選び、◉を押す。

バイブパターン	動作
バイブ1	「0.75秒振動→0.75秒停止」のくり返し
バイブ2	「0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止」のくり返し
バイブ3	「1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ4	「1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ5	「0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止」のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ ランプ設定

1 「🅘モバイルライト」または「🅑スモールライト」を選び、◉を押す。

■ 点滅しない：「🅔OFF」選択➡◉（操作完了）

2 点滅パターンを選ぶ。

■ 点滅パターンの確認：📖（点灯）
- 点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に📖（停止）

点滅パターン	動作
パターン1	「0.75秒点灯→0.75秒消灯」のくり返し
パターン2	「0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯」のくり返し
パターン3	「1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン4	「1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン5	「0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯」のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（スモールライトで設定可能）

「🅖SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

3 ◉を押す。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定

1 着信の種類（「1通常着信」以外）を選び、◉を押す。

2 「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

3 呼出し時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

効果音設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音　エラー音	効果音　オープニング1	効果音　エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒		

●「パワー ON」は電源を入れたとき、「パワー OFF」は電源を切ったときを意味します。
●「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプの点灯方法を意味します。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

効果音のパターンを設定する

●操作音は鳴らないようにすることができます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 効果音設定

1 「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」のいずれかを選び、◉を押す。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 効果音なし：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3 「1サウンド選択」を選び、◉を押す。

4 あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを利用する

1「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

- ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるファイルは、操作音のパターンに設定できません。
- メロディやサウンドなどのデータ内容によっては、操作音として利用できないことがあります。

「ピッ」という音にする（ボタン確認音）

1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。

操作音のパターンが設定されます。（操作完了）

5 メロディやサウンドなどを選ぶ。

■ パターンの確認：（♪再生）
- 再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

6 ◉を押す。

■ 効果音の音量設定：「2サウンド音量」選択➡◉➡（音量選択）➡◉
■ 効果音の時間設定：「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択（ボタン確認音／エラー音選択時）／時間入力（01〜10秒：パワーON／パワーOFF選択時）➡◉

操作音に設定したデータフォルダ内のファイルを消去すると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

8 音の設定

サウンド再生音量／サウンドランプを設定する

サウンド再生音量設定／サウンドランプ設定	サウンド再生時の音量やランプの点灯方法を設定します。

お買い上げ時 P.8-5

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 効果音設定

サウンド再生音量を設定する

「5サウンド再生音量」選択➡◉➡（音量選択）➡◉

サウンドランプを設定する

「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉（操作完了）

「サウンドランプ設定」の点滅パターンは固定です。変更することはできません。（モバイルライト選択時：「パターン１」、スモールライト選択時：「SMAF連動」）

着信用ボイス録音

V302SHで録音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。
●録音できる時間は、最長30秒です。
●録音した音声は、ボイスフォルダのフォルダ０に登録されます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル着信音 ➡ 着信用ボイス録音

1 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 ◉を押す。

録音が始まります。

3 録音を終わるときは、◉を押す。

●録音可能時間が経過したときは、自動的に録音が終了し、登録されます。

録音中に着信があると

■ 録音は中止されます。このとき、途中までの録音内容は消去されます。

録音内容を確認する

■ 操作３のあと、次の操作を行います。

ボイスファイル選択➡◉

■ 再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）

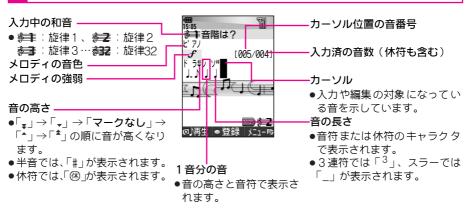
ボイスファイルを着信音に設定する

■ 操作３のあと、次の操作を行います。

ボイスファイル選択➡（メニュー）➡「着信音設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

●「**受信完了通知**」には、利用できません。

オリジナル着信音

オリジナル着信音について

V302SHでメロディを作り、着信音として利用したり、ロングメールに添付して送信できます。

- 1曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×8和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダのメロディフォルダ（☞P.9-3）に登録されます。

- オリジナル着信音はSJM形式で保存されます。オリジナル着信音をシャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外の相手機種に送信するときは、メロディ形式またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。（☞ P.3-7）
- 受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。

ディスプレイ

入力できる音の高さ

約4オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

音符	休符	長さ	音符	休符	長さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	3連 𝅝𝅝𝅝	3連 𝄻𝄻𝄻	全音３連符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）	3連 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯	3連 𝄿𝄿𝄿	16分３連符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）	3連 ♪♪♪	3連 𝄾𝄾𝄾	８分３連符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）	3連 ♩♩♩	3連 𝄽𝄽𝄽	４分３連符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）	3連 𝅗𝅥𝅗𝅥𝅗𝅥	3連 𝄼𝄼𝄼	２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

●お客様が作成したオリジナル音色を、音色ごとに８種類登録できます。

●それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.8-21）

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する

●ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。

2 曲のテンポを指定する

●「**速い**」、「**普通**」、「**やや遅い**」、「**遅い**」のいずれかを選びます。

●テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1速い	♩=150	3やや遅い	♩=107
2普通	♩=125	4遅い	♩=94

3 和音数を指定する

●「**８和音**」、「**16和音**」、「**32和音**」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１ 𝄞1 ）を１音ずつ入力する

●音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（☞P.8-10～P.8-11）

●入力中に [再生キー]（**再生**）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。また[スケジュール/メモ]を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（☞P.8-6）と連動します。

マナーモード設定中でも、[再生キー]（**再生**）や[スケジュール/メモ]を押すとメロディが流れます。（マナー設定変更のサウンド再生音量を「**サイレント**」にしていても、「**音量１**」で流れます。）

●入力中に[メニュー]（**メニュー**）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 𝄞2 、旋律３ 𝄞3 …旋律32 𝄞32 ）を入力する

●[文字]を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。

●入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する

●お買い上げ時には、すべての旋律が「**ピアノ**」に設定されています。
●あらかじめ登録されている音色やオリジナル音色（☞P.8-16）から選びます。
●旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色となります。

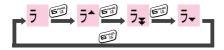
7 メロディの強弱を設定する

●お買い上げ時には、すべての旋律が「**強い**」に設定されています。
●旋律ごとに「**強い**」、「**普通**」、「**弱い**」のいずれかを選びます。
●旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ強弱となります。

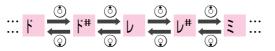
8 入力したメロディを登録する

●すべて入力できれば、登録します。
●着信パターン（☞P.8-3）で、データフォルダに登録したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。
●旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

1 音の高さや休符を指定する

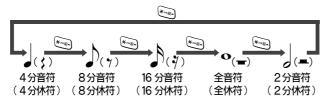
下表のボタンを使用します。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1@あ	2ABCか	3DEFさ	4GHIた	5JKLな	6MNOは	7PQRSま	0わをん

＜音の高さの指定＞
●上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

●音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

＜休符の入力＞
●0わをんを押します。「休」が表示され、４分休符が入力されます。

2 音符や休符の種類を指定する

[*]または[#]をくり返し押します。[#]を押すと、逆の順に切り替わります。

＜付点付きの音符や３連符の指定＞

●音符を選んだあと、[9]を押します。
付点が利用できるのは、２分音符（２分休符）、４分音符（４分休符）、８分音符（８分休符）です。

●３連符は３つ続けて入力してください。

例）ラ ラ ラ
3♪3♪3♪

３つ続いていない３連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、ロングメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う３連符が入力されているメロディも、ロングメールに添付できないことがあります。

＜スラーの指定＞

●音符を選んだあと、[8] を押します。音符の右に「＿」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、１つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、[▶]でカーソルを１つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、[●]を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.9-24）してから作成してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル着信音 ➡ オリジナルメロディ作成

1 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 テンポ（☞P.8-9）を選び、◉を押す。

3 和音数を選び、◉を押す。

4 音の高さや休符を指定する。（☞P.8-10）

5 音符や休符の種類を指定する。（☞P.8-11）

6 １つの音が入力できれば、◎を押す。

カーソルが１つ右に移動し、次の音が入力できます。

7 操作４～６をくり返し、音を順に入力する。

●このあと（**メニュー**）を押すと、操作９「**音色設定**」と操作14「**強弱設定**」をここで行うこともできます。

■ すべての旋律のメロディの再生：（**再生**）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）
■ 表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：スケジュール/メモ
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）
■ 他の旋律のメロディ入力：文字（押すたびに旋律切替）

8 すべての音が入力できれば、◉を押す。

●音色や強弱を設定しないときは、このあと**P.8-13**操作19へ進み、作成したオリジナル着信音を登録してください。

■ 入力済のメロディ修正：「**2修正**」選択➡◉➡**P.8-14**操作３

9「音色設定」を選び、◉を押す。

10 旋律を選び、◉を押す。

11 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル（FM）**」または「**オリジナル（WT）**」を選んでください。

■ 音色の確認：（**確認**）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）

12 ◉を押す。

●他の旋律を設定するときは、操作10～12をくり返します。

■ 作成したメロディ再生：（**再生**）
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）

13 （戻る）を押す。

●強弱を設定しないときは、このあと操作19へ進みます。

14「強弱設定」を選び、◉を押す。

15 旋律を選び、◉を押す。

16「1強い」～「3弱い」のいずれかを選ぶ。

■ メロディの強弱の確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

17 ◉を押す。

●他の旋律を設定するときは、操作15～17をくり返します。

■ 設定したメロディの確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

18 （戻る）を押す。

19「1登録」を選び、◉を押す。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は一時的に記憶（保護）されています。作成を継続するときは、通話終了後に次の操作を行います。

◉➡「1YES」➡◉➡作成画面へ

スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、（再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登録できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

オリジナル着信音を修正する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.9-24）してから修正してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、（メニュー）を押す。
●オリジナル着信音には「🎹」が表示されています。

2 「データ編集」を選び、◉を押す。
■ 音色の修正：☞P.8-12操作９～P.8-13操作13（操作完了）
■ 強弱の修正：☞P.8-13操作14～18（操作完了）

3 タイトルを修正し、◉を押す。

4 テンポを選び、◉を押す。

5 和音数を選び、◉を押す。

6 修正する音に、カーソルを移動する。
■ 他の旋律の修正：文字

和音数を変更すると

■ 和音数を変更するときに、データの一部が失われる旨の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行うと、和音数が変更されます。（下記表参照）
「1YES」選択➡◉
▪変更の中止：「2NO」選択➡◉

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

7 音を変更する

1 で音の高さを、／／／の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。（☞P.8-11）

●～で音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加する

1 追加する音を入力する。

カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。

●入力できる音数（☞P.8-8）を超えると、追加できません。

音を消去する

1 を押す。

カーソル位置の１音が消去されます。

●すべての音を消去するときは、を１秒以上押します。

■ カーソル後／前の連続したメロディの消去：（メニュー）➡「6カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡●➡●

コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

1 （メニュー）を押す。

2「3コピー」または「4カット」を選び、●を押す。

3 コピー／カットするメロディの最初の音を指定し、●を押す。

4 コピー／カットするメロディの最後の音を指定し、●を押す。

カットすると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

5 ペースト先を表示する。

●他のメロディにペーストするときは、コピー／カット元の編集を中止するか登録したあと、ペースト先を表示させてください。

6 （メニュー）を押す。

7「5ペースト」を選び、●を押す。

8 ペーストする位置で、●を押す。

8 修正が終われば、●を押す。

■ 音色や強弱の修正：☞P.8-12操作９～P.8-13操作18

9「1登録」を選び、●を押す。

10「2上書登録」を選び、●を押す。

修正したオリジナル着信音が登録されます。

「1新規登録」を選び●を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登録できます。

8 音の設定

オリジナル着信音を消去する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ データフォルダ

1 **オリジナル着信音を選び、（メニュー）を押す。**

2 **「消去」を選び、◉を押す。**

3 **「1YES」を選び、◉を押す。**

オリジナル音色

オリジナル音色について

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。
- ８和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、８種類まで登録できます。

作成の流れ

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。
- あらかじめ登録されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。
- 実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。
- WT音源の音色も作成できます。

1 和音の種類を選ぶ
- 「８,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ

3 オリジナル音色の名前を入力する
- ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。
- 最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ
- あらかじめ登録されている音色から選びます。

8 音の設定

5 アルゴリズムを選ぶ

- 8,16和音は6種類、32和音は2種類のアルゴリズムから選びます。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する

- 8,16和音は4種類、32和音は2種類のオペレータから選びます。
- 選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
- ◎で設定するパラメータを選び、◎で内容を変更できます。
- 設定中に◎（**再生**）を押すと、音色が流れます。

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

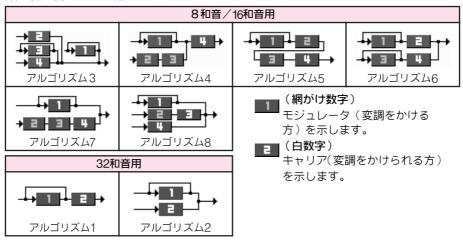
8 音色を登録する

- 設定が完了すれば、登録します。
- 登録したオリジナル音色は、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

WT音源について

■ 楽器などの音色の波形データを記録したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる1つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

- 各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
- 特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。8和音／16和音用は6種類、32和音用は2種類の組み合わせから選びます。

- 選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。

- 和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル （13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン （ON／OFF）	1音符の発音長（1つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」にしてください。
キースケールレート （2段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「2」にすると、より強調されます。
キースケールレベル （4段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレベルをかけないものを含めて、4段階から選択します。
トータルレベル （64段階）	**（1）キャリア** この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値にし、それ以外は最大「64」にすることをおすすめします。 **（2）モジュレータ** この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として「40」～「64」の範囲にすると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 時間を長くすると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅くするようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレベル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレベルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレベルを持続する時間が長くなります。また、「16」にすると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長くしてください。
KEYOFF無視（ON／OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（４段階／OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（４段階／OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレータを選択します。

リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（31段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON／OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階／OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「**基本オクターブ**」、「**サスティーン**」、「**ビブラート倍率**」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル音色

1 「1 8,16和音用」、「2 32和音用」、「3 WT音源」のいずれかを選び、◉を押す。

すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

2 登録先を選び、◉を２回押す。

- 名前を変更しないときは、◉を１回押したあと、操作４へ進みます。

3 名前を入力し、◉を押す。

- 最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 「ベース音色設定」を選び、◉を押す。

5 ⊙でベースとなる音色のジャンルを選び、⊙で音色を選ぶ。

■ 音色の確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

6 ◉を押す。

7 「音色設定」を選び、◉を押す。

- アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作10へ進みます。

8 「アルゴリズム」を選び、◉を押す。

設定できるアルゴリズムが表示されます。

9 利用するアルゴリズムを選び、◉を押す。

- オペレータを変更しないときは、このあと操作14へ進みます。

10 OP1などのオペレータ（☞P.8-17）を選び、◉を押す。

ベース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

11 ⊙でパラメータを選び、⊙で内容を変更する。

■ パラメータの内容：☞P.8-18～P.8-19

12 操作11をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。

■ 変更後の音色の確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

13 ◉または（完了）を押す。

14 「エフェクト周波数」を選び、◉を押す。

15 ビブラート／トレモロの周期を選び、◉を押す。

エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

16 「基本オクターブ」を選び、◉を押す。

17 音色の音程を選び、◉を押す。

18「パンポット」を選び、で値を選ぶ。

19「サスティーン」を選び、で「ON」または「OFF」を選ぶ。

20「ビブラート倍率」を選び、で倍率を選ぶ。

21 （完了）を押す。

22 すべての設定が終われば、（完了）を押す。

●続けて別のオリジナル音色を作成するときは、P.8-20操作２～上記操作22をくり返します。

その他の音関連機能

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを利用した通話時の動作を設定します。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ スピーカー設定

「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択▶◉

■ 通常の着信に戻す：「3OFF」選択▶◉

●「2スピーカー受話」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話はできません。

スピーカーを利用して通話する

■ ダイヤル前や発信後／着信中／通話中に、を長く（１秒以上）押します。

●「1 スピーカーホン」にしているときは「」が、「2 スピーカー受話」にしているときは「」が表示されます。

●「3OFF」にしているときは、通常の通話となります。

●通話中にスピーカーを利用した通話を解除するときは、を長く（１秒以上）押します。

■ 通話を終了すると、スピーカーを利用した通話も解除されます。

●スイッチ付イヤホンマイクなどの利用中は、スピーカーを利用した通話はできません。

●「スピーカーホン」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。

音色オクターブ設定

音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 音色オクターブ設定

でジャンル、で音色選択▶◉▶音程選択▶◉

■ 音色や音程の確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

●オリジナル音色の音程は、「基本オクターブ」（P.8-20操作16～17）で変更してください。

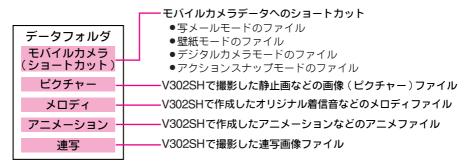
データ管理（データフォルダ）

V302SHのメモリ管理方法

V302SHのメモリには、アドレス帳やメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V302SHでデータを作成または入手すると、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。
- V302SHのファイルBOXには、最大約８Mバイトまで登録できます。

各機能で作成／入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

各機能で作成／入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

ファイルBOXのメモリ使用状況の確認

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「日メモリ使用状況」選択➡◉

データフォルダについて

データフォルダの構成

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

●データフォルダ内の画像やメロディを利用して、バーコードを作成できます。（☞P.12-27）

ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと表示されます。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「❶データフォルダ」選択➡◉

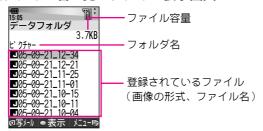
データフォルダ画面

ファイル表示画面

データフォルダ画面でフォルダを選ぶと、ファイル表示画面が表示されます。

●下記はV302SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。

●ファイル表示画面のファイル表示方法は変更できます。（☞P.9-5）

■画像一覧のファイル表示画面

選択されている画像の形式、ファイル名、ファイル容量

登録されているファイル

●画像以外のファイルや、V302SHで表示できない画像はアイコンで表示されます。

■ファイル名一覧のファイル表示画面

ピクチャーフォルダ、アニメーションフォルダ、連写フォルダは、上記の画面の他にフォルダを表示する「**フォルダ（画像一覧）**」、「**フォルダ（ファイル名一覧）**」にすることもできます。（☞P.9-5）

各種アイコンについて

静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式	内容
P※（文字：白）	PNGファイル	PNG形式の静止画像
P※（文字：紫）	透過PNGファイル	透過PNG形式の静止画像
J※	JPEGファイル	JPEG形式の静止画像
	連写画像（分割画像＋4枚、9枚、25枚のJPEGファイル）	連写モードで撮影した画像
E※（文字：白）	E-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
E※（文字：黄）	ボタンジャンプ機能付きE-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
A※	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメ）	アニメーション

※ 青色のアイコンは［転送可］、赤色のアイコンは［転送不可］です。

- 転送不可のファイルは、画像編集や画像合成、メール添付、バーコード作成、赤外線1件送信などには利用できません。
- アドレス帳のフォト設定やユースフルダイアリー、スケジュールなどに登録されているファイルは、各アイコンの左上角に黄色の三角がつきます。（例：J）

サウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式	内容
S※	SMAFファイル	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）
♪※	メロディファイル	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ
	スカイメロディファイル	スカイメロディでダウンロードしたメロディ［転送不可］
	オリジナル着信音ファイル	自作メロディ［転送可］
V	ボイスファイル	お客様が録音した音声［転送可］

※ 青色のアイコンは［転送可］、赤色のアイコンは［転送不可］です。

- 転送不可のファイルは、メール添付、バーコード作成、赤外線1件送信などは利用できません。
- 着信音やアラームなどに設定されているファイルは、各アイコンの左上角に黄色の三角がつきます。（例：♪）

データフォルダの表示方法を設定する

データフォルダの表示方法はフォルダごとに個別に設定できます。

設定項目	内　容
画像一覧表示※1	登録されているすべての画像を一覧で表示します。
ファイル名一覧表示※2	登録されているすべての画像のファイル名を一覧で表示します。
フォルダ（画像一覧）※1	フォルダを表示し、フォルダ内の画像は画像一覧で表示します。
フォルダ（ファイル名一覧）※3	フォルダを表示し、フォルダ内の画像はファイル名一覧で表示します。

※1　メロディフォルダでは利用できません。
※2　メロディフォルダでは「**一覧表示**」と表示されます。
※3　メロディフォルダでは「**フォルダ表示**」と表示されます。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「4表示設定」を選び、◉を押す。**

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

4 **表示方法を選び、◉を押す。**

本書は、表示設定を「**画像一覧表示**」または「**一覧表示**」にしている状態での操作を中心に説明しています。それ以外の設定にしているときは、操作が一部異なることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「■データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.9-3）

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生／表示されます。

●ファイルを再生／表示しているときは、を押すと前のファイル、[#記号]を押すと次のファイルが再生／表示できます。（フォルダによっては、操作できないことがあります。）

ファイル表示画面
（ピクチャーフォルダ）

> 補足
>
> **連写画像を選んだとき**
> 分割画像が表示されます。◎を押すと、連写画像内の静止画を１枚ずつ確認できます。
>
> **横240×縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）を選んだとき**
> 画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズで表示するときは、[メニュー]（メニュー）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

4 ファイル表示画面に戻るときは、[クリア]を押す。

E-アニメータファイルのボタンジャンプ機能

■E-アニメータファイルには、他の画像を表示したり、自動的にウェブに接続する、ボタンジャンプ機能を持っているものがあります。このボタンジャンプ機能を利用するときは、次の操作を行います。

E-アニメータファイル表示中に[メニュー]（メニュー）➡「E-アニメータモード」選択➡◉

●このあと、画面に表示されるボタンを押し、各操作を行います。

補足　赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でデータフォルダ内の画像のやりとりができます。（☞P.10-2）

ファイルをメールに添付する

データフォルダ画面から、各種ファイルをロングメールに添付して送信します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「メール添付」を選び、◉を押す。**

- サイズの大きいJPEG画像選択時：「1 1／4サイズで添付」／「2 同サイズで添付」／「3 画像分割メール添付」選択➡◉
- メロディファイル／オリジナル着信音ファイル選択時：変換形式（☞P.3-8）選択➡◉

3 **宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞P.3-3操作2以降）**

連写画像内の1枚の画像をロングメールに添付する

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1 データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡で画像選択➡（メニュー）➡「表示画像のみ添付」選択➡◉➡P.3-3操作2以降

画像を分割してロングメールに添付する

■ 240×320ドットの静止画を4分割して、ロングメールに添付するときは、次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1 データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉➡「3 画像分割メール添付」選択➡◉➡宛先選択／宛先入力➡「1 YES」選択➡◉（☞P.4-19「連続して送信する」操作3以降）

■ 画像分割メールを送信すると、4通分のメール料金がかかります。

フォルダやファイルの情報を確認する

メニュー ▶ データ確認

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

3「プロパティ」を選び、◉を押す。

フォルダやファイルの情報が表示されます。

- ◎を押すと、情報の隠れている項目を表示できます。
- 各項目の内容は、次のとおりです。

項目	内容
タイトル※1	サウンドのタイトル名
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ
保存サイズ	V302SHで実際に使用しているデータサイズ
横×縦※2	画像の縦横幅をドットで表示
コピー、転送	データフォルダ内でのコピー可／不可
保存	データフォルダへの保存可／不可
外部転送	外部機器への転送可／不可
アドレス帳（フォト）※3	アドレス帳のフォト設定あり／なし
着信音設定※1	サウンドの着信音やアラームなどの設定あり／なし
ユースフルダイアリー設定※3	ユースフルダイアリーの画像設定あり／なし
スケジュールメモ設定※3	スケジュールのピクチャーメモ設定あり／なし

※1 メロディフォルダ内のファイルのときに、表示されます。
※2 JPEG、PNG、連写ファイルなどで表示されます。
※3 設定されている件数も表示されます。

アニメーションの作成／確認

簡単アニメを作成する

最大４枚までの画像と表示するスピードを設定することで、簡単なアニメーションとして楽しめます。

- モバイルカメラで撮影した画像、ボーダフォンライブ！などで入手した画像など、JPEG形式のファイルが利用できます。
- 簡単アニメは、データフォルダのアニメーションフォルダ（画像１枚のときは、ピクチャーフォルダ）に登録されます。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.9-24）してから、作成してください。
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

簡単アニメを新規作成する

▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ 簡単アニメ作成 ➡ 新規作成

1 タイトルを入力し、◉を押す。

- 全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。ファイル名は変更できます。（☞P.9-23）

2 速さを選び、◉を押す。

ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

3 番号を選び、◉を押す。

4 データフォルダから画像を選び、◉を押す。

■ データフォルダの操作：☞P.9-6
■ ４枚連写画像の利用：連写画像選択➡◉➡「1連写４枚をアニメ」選択➡◉
　■「1」を選び、最初の画像として登録するときにだけ利用できます。ただし、240×320ドットの連写画像は利用できません。
■ 連写画像内の１枚の画像の利用：連写画像選択➡◉➡「2連写の１枚を選択」選択➡◉➡◎で画像選択➡操作５へ
■ 画像の変更：✍（変更）
■ 表示順の変更：◎（戻る）➡操作３からやり直す

5 ◉を押す。

画像が指定されます。

■ 簡単アニメの再生：✍（メニュー）➡「1アニメ再生」選択➡◉
　■ 簡単アニメ作成に戻る：上記操作のあと◎（戻る）➡クリア
■ 画像の変更：画像選択➡✍（メニュー）➡「2変更」選択➡◉➡操作４からやり直す
■ 画像の消去：画像選択➡✍（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6 操作３～５をくり返し、画像を指定する。

- 最大４枚まで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できないことがあります。）

7 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

■ 簡単アニメのメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール送信操作（☞ ◎ P.3-3操作２以降）
　■ サイズの大きい簡単アニメ作成時：「1YES」選択➡◉（サイズによっては送信できないこともあります。）

8 「1登録」を選び、◉を押す。

簡単アニメを編集する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.9-24）してから編集してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ アニメーション設定 ▶ 簡単アニメ作成 ▶ 編集

1 簡単アニメを選び、◉を押す。

2 タイトルを修正し、◉を押す。

3 速さを選び、◉を押す。

- 画像の追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- 画像の変更：番号選択➡（メニュー）➡「2変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- 画像の消去：番号選択➡（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 編集が終われば、（完了）を押す。

5 「1登録」を選び、◉を押す。

6 「1新規登録」を選び、◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

- 上書き登録する：「2上書登録」選択➡◉

アニメーションを確認する

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 アニメーションを登録しているフォルダを選び、◉を押す。

2 アニメーションを選び、◉を押す。

選んだアニメーションが再生されます。

- 再生の停止：再生中に（戻る）
- アニメーションファイルの利用：☞下記

画像／アニメーションの利用

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示サイズを切り替える

1 画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルを表示中に（スケジュール/メモ）を押す。

画像の表示サイズ（「**等倍（アイコンあり）**」、「**等倍（アイコンなし）**」、「**拡大（アイコンあり）**」、「**拡大（アイコンなし）**」）が切り替わります。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「**拡大**」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。

●等倍時には「」、拡大時には「」が画面上部に表示されます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

●「壁紙登録」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝）

1 *画像を壁紙に登録する*

1「**2**画面設定」を選び、◉を押す。

2「**1**壁紙登録」を選び、◉を押す。

アニメーションを壁紙に登録する

1「壁紙登録」を選び、◉を押す。

2 ◉を押す。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

●「マイキャラクタ登録」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（📝）

1 *画像をマイキャラクタに登録する*

1「**2**画面設定」を選び、◉を押す。

2「**2**マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

アニメーションをマイキャラクタに登録する

1「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

2 表示場面を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.7-5操作４以降

連写画像を個別の画像として登録する

連写画像（複数の画像＋分割画像）を、個別の画像として登録します。また連写画像（「▣」表示）内の指定した画像だけを、個別の画像として登録できます。

●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ 連写 ➡ 連写画像を選ぶ

1 *連写画像内のすべての画像を登録する*

1 📝（メニュー）を押す。

2「**7**全画像個別登録」を選び、◉を押す。

連写画像内の１枚の画像を登録する

1 ◎で画像を選び、📝（メニュー）を押す。

●分割画像も登録できます。

2「**8**表示画像のみ登録」を選び、◉を押す。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ／アニメーションフォルダ／連写フォルダ／デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示します。

●連続表示のスピード時間を変更することもできます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 連続表示を始める画像を選び、（メニュー）を押す。

2「1連続表示設定」を選び、●を押す。

3「1連続表示」を選び、●を押す。

選択している画像から、連続表示が始まります。

■ 連続表示の停止：●

■連続表示の再開：上記操作のあと●

■ 次の画像へ早送り：連続表示中に（次へ）

連続表示のスピードを設定する

■ お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。次の操作で変更できます。
上記操作２のあと「2スピード設定」選択➡●➡速さ選択➡●

画像の編集

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（） ➡ 画像サイズ編集

1「1拡大縮小」を選び、●を押す。

ディスプレイ下部左に「**移動**」が表示されます。表示されていないときは、（**リサイズ**）を押します。

●画像表示中に（**リサイズ**）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

●（**移動**）を押します。このあとで、拡大／縮小の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。

●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

リサイズモードに戻るとき

●画像を移動したあと、（**リサイズ**）を押します。

2 （拡大）または（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：（Soft）

- 拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登録時に自動的に消去されます。
- 拡大／縮小後に、（**移動**）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

3 を押す。

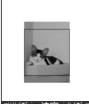
サイズ変更した画像が新しい画像として登録されます。

画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「**画像サイズ編集**」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ファイルを選ぶ
▶ メニュー（） ▶ 画像サイズ編集 ▶ 画像サイズ修正

1 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「**1壁紙用**」を選んだときを除く）

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワーON／OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア／（**サイズ**）

2 *画像の表示範囲を指定する*

1 ◎で表示範囲を指定し、●を押す。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小する

1 ◎（リサイズ）を押す。

画面下部左に「**移動**」が表示されます。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）でサイズを変更し、●を押す。

3 ●を押す。

新しい画像として登録されます。

サイズを自由に変更する

1 「6自由切出」を選び、●を押す。

2 ◎で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、●を押す。

3 ◎で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 指定のやり直し：◎（**戻る**）➡操作２からやり直す

4 ◎（完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：◎／◎（**サイズ**）

■ 表示範囲の指定／画像の拡大縮小：☞上記「**固定サイズに変更する**」操作２

5 ●を２回押す。

新しい画像として登録されます。

画像に文字やマーカーを追加する（マーカースタンプ）

画像に文字や矢印のマーカーを追加して加工することができます。

- マーカースタンプに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。データ内容によっては、利用できない画像があります。
- 「**マーカースタンプ**」が選択できない画像は、利用できません。

1 「1マーカースタンプ」を選び、●を押す。

■ 文字色の設定：「**7文字色設定**」選択➡●➡色選択➡●

■ 文字を縁取らない：「**8縁取り設定**」選択➡●➡「**2OFF**」選択➡●

注意 PNG形式の画像は、「**文字色設定**」および「**縁取り設定**」は利用できません。「**白文字（黒フチ）**」となります。

9 データ管理（データフォルダ）

2 文字を入力するとき

1「1文字」を選び、◉を押す。

2 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

■ 文字入力のやり直し：（**戻る**）→操作1からやり直す

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

マーカーを付けるとき

1 マーカーの種類を選び、◉を押す。

■ マーカーの変更：（**戻る**）

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

3 で文字やマーカーを付ける位置を指定し、◉を押す。

4「1YES」を選び、◉を押す。

■ 文字／マーカーの追加：「**2マーキング**」選択→◉→（**メニュー**）→操作２～４をくり返す

■ 画像の確認：「**3画像確認**」選択→◉

■ 編集の取消：「**4編集キャンセル**」選択→◉→「**1YES**」選択→◉

5「1編集完了」を選び、◉を押す。

6「1YES」を選び、◉を押す。

新しい画像として登録されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式だけです。連写画像も装飾できます。

●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

●「**2画像装飾**」／「**3連写画像装飾**」が選択できない画像は、利用できません。

1「4画像編集」を選び、◉を押す。

■ 連写画像の装飾：「**3連写画像装飾**」選択→◉→操作３へ

補足 連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（P.9-11）してから操作してください。

2「2画像装飾」を選び、◉を押す。

9

データ管理（データフォルダ）

3 装飾の種類を選び、◉を押す。

●次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 ◉を押す。

新しい画像として登録されます。

画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登録できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

●フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式だけです。

●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。

■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

●画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。（☞P.9-17）

●「**フェイスアレンジ**」が選択できない画像は、利用できません。

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：（**戻る**）

2 ◉を押す。

新しい画像として登録されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（☞P.9-16操作１）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 「顔抽出確認」を選び、◉を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 （修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動

で顔の輪郭の右下に「＋」を移動

顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定

左目の位置を指定

口の位置を指定

9 データ管理（データフォルダ）

5 指定が終われば、（完了）を押す。

確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

- 顔パーツの指定をやり直すときは、操作2からやり直します。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（**リセット**）

6 ◉を押す。

7「1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 「**フレーム**」、「**連写フレーム**」、「**90度回転**」、「**保存形式変換**」、「**ムービングフォトフレーム**」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- 編集後は、新しい画像として登録されます。

フレーム

JPEG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ **データ確認** ➡ **データフォルダ** ➡ **フォルダを選ぶ** ➡ **ファイルを選ぶ** ➡ **メニュー（）**

通常の画像にフレームを付ける

「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡（**表示**）

▪ フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）

連写画像にフレームを付ける

「4連写フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡（**表示**）

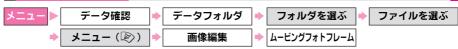
▪ フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと（**戻る**）

連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.9-11）してから操作してください。

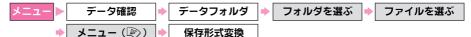
画像回転

画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ **データ確認** ➡ **データフォルダ** ➡ **フォルダを選ぶ** ➡ **ファイルを選ぶ** ➡ **メニュー（）** ➡ **画像編集**

「6 90度回転」選択➡◉➡◉※

※（**回転**）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

ムービングフォトフレーム　JPEG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー▶データ確認➡データフォルダ➡フォルダを選ぶ➡ファイルを選ぶ
➡メニュー（）➡画像編集➡ムービングフォトフレーム

フレーム選択➡◉➡◉

■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡（表示）
　■ ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと（戻る）

●作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登録されます。

ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してください。（☞P.9-14）

保存形式変換　画像の形式をJPEG形式（「J」表示）やPNG形式（「P」表示）に変更します。

メニュー▶データ確認➡データフォルダ➡フォルダを選ぶ➡ファイルを選ぶ
➡メニュー（）➡保存形式変換

保存形式選択➡◉

●保存形式を変換できるのは、120×160ドット以下の画像です。
●変換前と同じ形式は、選択できません。

保存形式を変更すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

分割画像を作成する

最大4枚の画像を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式だけです。連写画像も利用できます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
●指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー▶データ確認➡データフォルダ➡フォルダを選ぶ

1 **左上に配置する画像を選び、◉を押す。**

●連写画像は選べません。左上に連写画像を配置するときは、P.9-20操作10で画像の変更を行い、連写画像に変更します。

2 （メニュー）を押す。

3 「5画像合成」を選び、◉を押す。

4 「1 4分割画像作成 120×160」または「2 4分割画像作成 240×320」を選び、◉を押す。

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

●全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。

6 番号を選び、◉を押す。

V302SHのデータフォルダが表示されます。

7 フォルダを選び、◉を押す。

8 画像を選び、◉を押す。

●選択できない画像は利用できません。

■ 画像の変更： （変更）

■ 指定する番号から選び直す： （戻る）

9 ◉を押す。

分割画像用の画像として指定されます。

10 操作6～9をくり返し、画像を指定する。

■ 分割画像の確認： （メニュー）➡「1分割画像表示」選択➡◉

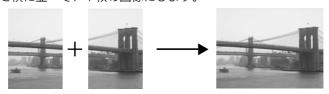
■分割画像作成のメニューに戻る：上記操作のあと （戻る）➡ クリア

■ 画像の変更：画像選択➡ （メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作7からやり直す

■ 画像の消去：画像選択➡ （メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

11 画像の指定が終われば、 （完了）を押す。

■ 分割画像のメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール送信操作（ P.3-3操作2以降）

12 「1登録」を選び、◉を押す。

新しい画像として登録されます。

連写画像内の1枚の画像を利用する

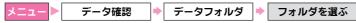
■ 操作6のあと、次の操作を行います。

連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡ で画像選択➡◉➡操作10へ

●ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　　パノラマ合成

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像の合成に適しています。

●パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
●２枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
●色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

1 **１枚目の画像を選び、◉を押す。**

2 **（メニュー）を押す。**
●連写画像をパノラマ合成するときは、操作４へ進みます。

3 **「5画像合成」を選び、◉を押す。**

4 **「パノラマ合成」を選び、◉を押す。**
選んだ画像は左側の画面に表示されます。
●「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

5 **「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。**

6 **「2」を選び、◉を押す。**
データフォルダが表示されます。

7 **もう１枚の画像を選び、◉を押す。**

9 データ管理（データフォルダ）

8 **◉を押す。**

選んだ画像が２枚目の画像として右側の画面に表示されます。

- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

■ 画像の変更：（**変更**）➡操作７へ

9 **画像の指定が終われば、（完了）を押す。**

合成された画像が表示されます。

- を押すと画像が移動し、隠れている部分が表示されます。

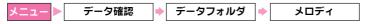
■ 画像の左右入れ替え：（**入替**）

10 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合できます。

- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
- 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

1 **「3画像分割メール結合」を選び、◉を押す。**

2 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

メロディファイルの利用

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

再生音量を設定する

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「1サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。**

3 **で音量を選び、◉を押す。**

着信パターン／効果音に設定する

●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ メロディ

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「2着信音設定」または「3効果音設定」を選び、◉を押す。**

●各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

3 **着信の種類または効果音の種類を選び、◉を押す。**

メロディの編集（データ編集）／音色設定／強弱設定

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡（メニュー）

- データ編集の以降の操作：「5データ編集」選択➡◉➡P.8-14操作３以降
- 音色設定の以降の操作：「6音色設定」選択➡◉➡P.8-12操作10〜P.8-13操作13
- 強弱設定の以降の操作：「7強弱設定」選択➡◉➡P.8-13操作15〜18

●メロディファイルで、「データ編集」を行うと、オリジナル着信音形式で保存されます。

フォルダ／ファイルの編集

●フォルダ名を変更するときは、あらかじめ表示設定（☞P.9-5）でフォルダを表示しておいてください

フォルダ名／ファイル名変更 フォルダ名（フォルダ０を除く）やファイル名を変更します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

フォルダ名の変更

フォルダ選択➡◉➡「フォルダ１」〜「フォルダ９」選択➡（メニュー）➡「2フォルダ名変更」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

ファイル名の変更

フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉

●サウンドのファイル名を変更しても、ファイル内のタイトルは変更されません。
●ファイル名に半角カナや絵文字などを利用したとき、ロングメールにそのファイルを添付して送信すると、半角カナは全角カナに置き換わり、絵文字は削除されます。
●フォルダ名やファイル名に半角の記号を入力しようとしても、入力できないことがあります。

フォルダのシークレット設定

フォルダ表示にしているとき、フォルダ（フォルダ０を除く）内のデータを、操作できないようにします。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

「フォルダ１」～「フォルダ９」選択➡（メニュー）➡「３シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「１ON」／「２OFF」選択➡◉

●「ON」に設定したフォルダを利用するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

注意　モバイルカメラ（ショートカット）フォルダは、シークレット設定できません。

ファイルコピー／移動

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

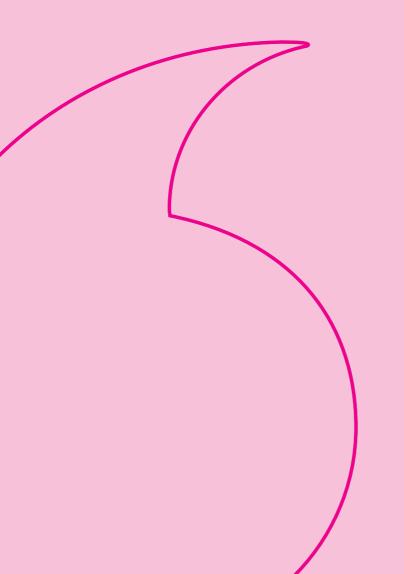
ファイル選択➡（メニュー）➡「コピー」／「移動」選択➡◉➡コピー／移動先のフォルダ選択➡◉

ファイル消去

ファイルを１件ずつ消去したり、フォルダ内のファイルをまとめて消去します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

１件消去

フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡（※）➡「１YES」選択➡◉

（※）着信音、ピクチャーコール／メール、ユースフルダイアリーなどに設定されているファイルを選んだときは、確認画面が表示されます。

フォルダ内のすべてのファイルの消去

フォルダ選択➡（メニュー）➡「３全消去」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「１YES」選択➡◉

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などとの間でデータを送受信できます。

- V302SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
  ただし機能によっては、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信はできません。
- 赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード（☞P.3-6）に設定されます。そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ！、メールやデータの編集中などには利用できません。赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

送受信できるデータ

機能	1件	全件	備考
アドレス帳	○	○	フォトに設定されている画像、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。 また、1件送受信では、グループ指定、シークレット設定も送受信できません。 ※全件送信すると、オーナー情報（電話番号を除く）も送信されます。
データフォルダ	○	×	ピクチャーフォルダ内のJPEGファイル／PNGファイル、アニメーションフォルダ内のE-アニメータファイル（NEVAファイル）だけ送受信できます。ただし、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
デジタルカメラデータ	○	×	210KバイトまでのDCF形式のファイルが送受信できます。

- 40Kバイトを超えるファイルは送受信できません。（デジタルカメラデータを除く）
- 受信側の機種によっては、画像が表示できないことがあります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光があたっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。上記の注意を確認したあと、再接続してください。(「1YES」を選び、◉を押します。)

認証パスワード設定

「**認証パスワード**」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。
この認証パスワードは、はじめて赤外線受信するときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、次の操作で変更できます。

- 一度設定した認証パスワードを変更することもできます。

メニュー ▶ 赤外線通信 ➡ 認証パスワード設定

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 認証パスワード（４ケタ）を入力する。

認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

はじめて赤外線受信する前にこの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくことができます。このときは、次に赤外線受信しても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを１件ずつ送受信する

データを１件ずつ送信する

１件データ送信は、各機能（☞P.10-2）の画面から行います。

アドレス帳リスト画面

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを表示する。

●アドレス帳は、各詳細画面からでも操作できます。

2 ◉（メニュー）または✉（メニュー）を押す。

3「赤外線１件送信」を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面が表示されます。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、各機能のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正し、◉を押す。

●タイトルを変更しないときはそのまま◉を押し、操作５へ進みます。タイトルを修正しても、元のデータ名は変更されません。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。

データを１件ずつ受信する

メニュー ▶ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。

■ 受信中止：（中止）

■ 受信強制終了：PWR

補足

認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●認証パスワード（お好みの４ケタの数字）を入力してください。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV302SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.10-3）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

2「1YES」を選び、◉を押す。

データ登録完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

■ 登録しない：「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

データを全件送受信する

●全件データの送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要です。
■「**暗証番号**」は、V302SHに設定した４ケタの操作用暗証番号（☞P.1-26）です。
■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。（☞P.10-3）

アドレス帳を全件送信する

メニュー ▶ 赤外線通信

1 「1アドレス帳一括送信」を選び、◉を押す。
自動的にオフラインモードになります。
●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 受信側を待機状態にする。

4 認証パスワード（４ケタ）を入力する。

5 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。
送信を開始します。送信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。
●認証パスワードを間違えたときも、赤外線通信の画面に戻ります。

アドレス帳を全件受信する

メニュー ▶ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。
- 受信中止：(中止)
- 受信強制終了：
- 認証パスワードの入力画面表示時：☞P.10-4

2 ***追加登録する***
1「1追加登録」を選び、◉を押す。
データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録する
1「2全消去して登録」を選び、◉を押す。
2「1YES」を選び、◉を押す。
データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

アドレス帳を全件受信するときにすべてのデータを消して登録すると、お客様の電話番号以外のオーナー情報は、消去されます。

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号は、変更できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 暗証番号変更

1 現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：P.1-26
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断利用の防止

V302SHの操作を禁止する（ダイヤル操作禁止）

操作用暗証番号を入力しないと、V302SHを操作できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ ダイヤル操作禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
- PWR長押し（電源のON／OFF）、●長押し（誤動作防止の設定／解除）、0わをん～9WXYZら／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
- 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
- PWR（終話）、（開始／オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0わをん～9WXYZら／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
- やエニーキーアンサーの各ボタン（P.2-6）で電話に出る、●PWR（着信中の着信手動転送）、PWR（応答保留）

注意 ダイヤル操作禁止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-5「**緊急電話発信について**」を参照してください。

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
- 通話中でも同様の操作で解除できます。
- 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する（簡易ロック）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
- このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロック設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-5「緊急電話発信について」を参照してください。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止を解除したあと（☞上記）、次の操作を行います。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「2OFF」を選び、◉を押す。

アドレス帳の使用を禁止する（メモリ使用禁止）

アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ メモリ使用禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。

■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

- メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
  - ■アドレス帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.5-14）も含む］
  - ■アドレス帳やオーナー情報を使ったバーコード作成（☞P.12-27）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する（ダイヤル禁止）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ ダイヤル禁止

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**
■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中にできること

■ 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

ダイヤル禁止設定中の「110 」などの緊急電話発信については、P.2-5「**緊急電話発信について**」を参照してください。

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話を受けられないようにします。

指定着信許可	登録した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登録した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

- 着信拒否した電話は、不在時の着信お知らせ（☞P.2-15）で「**不在着信：○件**」と表示され、着信履歴には「**着信拒否**」として記憶されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
- 非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.11-6）
- 指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

着信許可／拒否の電話番号を登録する

- 電話番号を登録したあと「**指定着信許可**」または「**指定着信拒否**」を「ON」にすると、それぞれの機能が有効になります。
- 着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 ***着信許可の相手先を登録する***

1「5指定着信許可」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

着信拒否の相手先を登録する

1「6指定着信拒否」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

2「③リスト登録」を選び、◉を押す。

登録済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。

■ 相手先の消去：番号選択➡✎（消去）➡「❶YES」選択➡◉

3 登録先番号を選び、◉を押す。

●新規に登録するときは、「-----------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。

■ アドレス帳の検索：☞P.5-13

5 ◉を押す。

直接電話番号を入力した時は電話番号が、アドレス帳から選んだときは名前が表示されます。（アドレス帳に登録している電話番号と同じ番号を入力しても、登録している名前は表示されません。）

●続けて他の相手先を登録するときは、操作3～5をくり返します。

指定した電話番号の着信を許可する

●あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.11-4）

●指定着信拒否を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信許可

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「❶ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信許可の解除：「❷OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する

●あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.11-4）

●指定着信許可を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「❶電話番号指定」を選び、◉を押す。

3「❶ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信拒否の解除：「❷OFF」選択➡◉

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、◉を押す。**

3 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

シークレットデータの確認

シークレットデータとして登録したアドレス帳は、シークレットモードでだけ確認や編集が行えます。

シークレットモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能

1 **「2シークレットモード」を選び、◉を押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

「🔑」が表示され、シークレットモードが設定されます。

電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能

1 **「2シークレットモード」を選び、◉を押す。**

「🔑」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットデータを呼び出す

シークレットモードに設定し、通常のアドレス帳と同様に呼び出します。

- 通常のアドレス帳は「🔑」が点灯し、シークレットデータは「🔑」が点滅します。
- シークレットデータの修正／削除なども、通常のアドレス帳と同様に行えます。

登録内容のリセット／消去

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。
- アドレス帳などの登録内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目は、P.15-2～P.15-5を参照してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 設定リセット

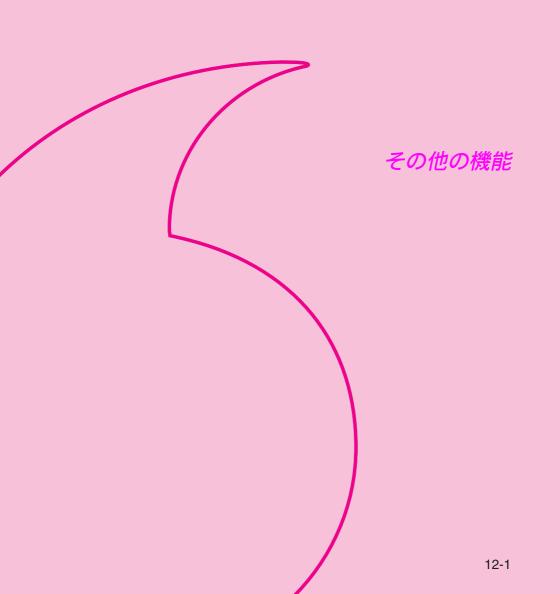
1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1実行」を選び、◉を押す。

■ 設定リセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

アドレス帳などの登録内容を消去する（オールリセット）

操作用暗証番号以外の登録内容（アドレス帳やオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）をすべて消去して、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ オールリセット

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1実行」を選び、◉を押す。

■ オールリセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

注意 一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする（通話品質アラーム）

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 通話品質アラーム

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 通話品質アラームの解除：「2OFF」選択➡◉

「ON」にしていても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

通話中にV302SHからプッシュトーンを送ることができます。V302SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作することができます。

アドレス帳に登録した番号を一括して送る

よく送るポケットベルのメッセージなどを登録しておくと便利です。

●あらかじめアドレス帳にプッシュトーンを登録しておいてください。（☞P.5-4）

●この方法で送るときは、アドレス帳の「☎:」には送りたいプッシュトーンだけを登録してください。電話番号を登録すると正しく送信できません。

1 相手とつながったあと、◎（TEL）を押し、プッシュトーンを登録したアドレス帳を呼び出す。（☞P.5-13）

2 ◉を押す。

3 「PB一括送信」を選び、◉を押す。

プッシュトーンに「P」（ポーズ）を入力すると、「P」までのプッシュトーンを一区切りとして送信します。「P」以降のプッシュトーンを送信するときは、✉（PB送信）を押します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあと、ダイヤルボタンを押してプッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。

●送ることのできるプッシュトーンは「0」～「9」、「＊」、「＃」です。

2 ✉（PB送信）を押す。

サイドキー設定

着信時のサイドボタンの動作を設定する

着信中にⓈを長く（１秒以上）押したときの動作を設定します。
設定できる動作は次のとおりです。

応答保留	かかってきた電話を受け、保留にします。
クイックサイレント	着信音を一時的に「**サイレント**」にします。
着信拒否	かかってきた電話を受けずに、切ります。
簡易留守録	簡易留守録で応答します。
留守電センター転送	留守番電話センターに転送します。

●お買い上げ時には、「**簡易留守録**」に設定されています。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定１➡サイドキー設定

1 「1着信時」を選び、◉を押す。

2 動作を選び、◉を押す。

待受時のサイドボタンの動作を設定する

待受中にⓈを長く（１秒以上）押したときの動作を設定します。
設定できる動作は次のとおりです。

詳細表示	サブディスプレイに着信の種類に応じたアイコンを表示します。
ワンショットメール	あらかじめ登録しておいたスカイメールを送信します。
OFF	何も動作しません。（サブディスプレイは点灯します。）

●お買い上げ時には、「**詳細表示**」に設定されています。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定１➡サイドキー設定

1 「2待受時」を選び、◉を押す。

2 動作を選び、◉を押す。

■ 動作の解除：「3OFF」選択➡◉

簡易留守録

簡易留守録を設定する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを録音します。

- 簡易留守録は電源が切れているときやオフラインモードのとき、「圏外」が表示されているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。(☞P.13-4)
- 簡易留守録で録音できるのは、音声メモ(☞P.12-6)やマイボイスメモ(☞P.12-6)と合わせて20件まで、または約90秒までです。

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

録音可能秒数が表示され、簡易留守録が設定されます。
(設定完了後、「ON」が表示されます。)

- 応答文再生:「3応答文再生」選択▶◉
- 留守録応答/録音中の受話音量の変更:「4音量設定」選択▶◉▶「1受話音量連動」/「2サイレント」選択▶◉

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード設定中は、簡易留守録の設定/解除はできません。マナーモードを解除してください。

■ 録音できる時間が4秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを消去してください。(☞P.12-6)

応答時間を変更する

■ 電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、0~59秒の間で設定します。(お買い上げ時:9秒)

◉▶「電話」選択▶◉▶「7簡易留守」選択▶◉▶「6応答時間」選択▶◉▶設定時間入力(00~59秒)▶◉

▪ 着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答:設定時間「00」入力▶◉

■ 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になるときは、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続すると(車載簡易留守)

■ シガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守録に設定されます。車載簡易留守の設定を解除するときは、次の操作を行います。

◉▶「電話」選択▶◉▶「7簡易留守」選択▶◉▶「5車載簡易留守」選択▶◉▶「2OFF」選択▶◉

簡易留守録を設定すると

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
- 録音中にV302SHを閉じても、録音は止まりません。
- 録音中に電話に出るときはを押します。（録音内容は残りません。）

■ 録音が終わると、「」が表示されます。
■ 録音後、簡易留守録が設定できない状態（☞P.12-4）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「」表示が消えます。（「」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録を設定していないときの操作

■ 着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」のままです。）

◉ ➡ 文字

- サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「4簡易留守録」にしているときは、着信中にSを長く（１秒以上）押すと、応答文が流れたあと録音が始まります。
- 簡易留守録が設定できない状態（☞P.12-4）のときは、不要なメッセージを消去してください。（☞P.12-6）

簡易留守録を解除する

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

簡易留守録の設定が解除され、「」表示が消えます。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「2録音再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ 再生途中の停止：再生中に

再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に停止します。電話に出るときは、を押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中にを押す。	**再生中にを押す。**	**再生中にを２回押す。**
３件目 ｜ ２件目 ｜ １件目 再生 → 再生 →	３件目 ｜ ２件目 ｜ １件目 再生 → 再生 →	３件目 ｜ ２件目 ｜ １件目 再生 → 再生 →

用件を消去する

■ 再生中に、次の操作を行います。

クリア ➡「1YES」選択 ➡ ◉

●次の用件が録音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「」が消えます。

通話内容やお客様の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中のお客様の声（マイボイスメモ）を録音します。

●音声メモでは、お客様の声は録音されません。

●録音できる時間は、簡易留守録（☞P.12-4）と合わせて約90秒までです。
ただし、録音できる時間が3秒以下になったときや、用件やメモが20件録音されると、それ以上録音できなくなります。

1 *音声メモを録音する*

1 通話中に、スケジュール/メモを長く（1秒以上）押す。

マイボイスメモを録音する

1 待受中に、スケジュール/メモを長く（1秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

2 録音が開始される。

●マイボイスメモのときは、送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は、5～10cm位です。

3 録音を終わるときは、◉またはスケジュール/メモを押す。

●クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているとき、音声メモ録音中にV302SHを閉じると、電話が切れ、録音も終わります。
（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

●マイボイスメモを録音中に電話がかかってくると、録音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンで電話に出ることができます。（途中までの録音は保存されています。）

●電源を切っても録音内容は保存されています。

●マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。
（☞P.12-5、上記）

アラーム

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。
毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。
●最大5件まで登録できます。
●アラーム時刻に、メッセージや電話番号を表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定なども変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ リピートアラーム設定

1 番号を選び、◉を押す。
●新規に登録するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

2 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 アラームの時刻を入力し、◉を押す。
●時刻は必ず24時間制で入力してください。
●このあと、アラーム時刻の動作（アラーム音選択、バイブ設定、スヌーズ設定など）を設定することもできます。（☞P.12-9）

アラーム登録の画面

4 「3曜日設定」を選び、◉を押す。

5 ***毎日アラームを鳴らす***

1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「2曜日指定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。
曜日が指定され、「☑」が表示されます。
●すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、（完了）を押す。

6 すべての項目の設定が終われば、（完了）を押す。
アラームが設定されます。
●続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作1～6をくり返します。

7 設定を終わるときは、PWRを押す。
待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。予告アラーム（☞P.12-9）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「🔔」（青）が表示されます。

アラーム時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を止める

■ アラーム音が鳴っているときに、次の操作を行います。

　PWR／S

- エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても停止します。

スヌーズ設定時の動作

■ 設定したスヌーズ間隔で、アラーム音がくり返し鳴ります。

- PWRを押してアラーム音を止めても、スヌーズは解除されません。（スヌーズ待機状態）
- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後PWRを押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。

■ スヌーズを解除するときは、スヌーズ待機状態で次の操作を行います。

　エニーキーアンサーの各ボタン➡「1YES」選択➡●

- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

電話番号表示設定時の動作

■ 電話番号または相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へ電話をかけられます。

　電話番号表示➡発信キー（発信）

- スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

■ 電話番号表示を消すときは、発信キーを押す前にPWRを押します。

メール予約設定時の動作

■ メールアドレスまたは相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へメールを送信できます。

　宛先表示➡メールキー（メニュー）➡「2メール送信」選択➡●➡メールキー（送信）

- スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

- あらかじめ登録していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。
- 通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後アラームが動作します。

サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、Sを押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。このあとSを長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

アラーム時刻の動作を設定する

●下記の各操作（「**アラーム音選択**」～「**メール予約**」）は、P.12-7操作３のアラーム登録の画面で行います。
●操作後は、アラーム登録の画面に戻ります。他の設定を行い、アラーム設定を完了してください。

項目		内容
アラーム音選択		アラーム動作時のアラーム音の種類を設定します。
		「**4サウンド設定**」選択➡◉➡「**1アラーム音選択**」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡（**戻る**） ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節		アラーム音の音量を調節します。
		「**4サウンド設定**」選択➡◉➡「**2アラーム音量調節**」選択➡◉➡（音量調節）➡◉➡（**戻る**） ●「**サイレント**」に設定すると、マナーモード設定中でも、マナー設定変更の設定にかかわらず、「**サイレント**」になります。
鳴動時間		アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
		「**4サウンド設定**」選択➡◉➡「**3鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力（02～99秒）➡◉➡（**戻る**）
スヌーズ設定		アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。
		「**5スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02～20分）➡◉ ●スヌーズ設定を解除する：「**5スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉
メッセージ		アラーム時刻に、メッセージを表示します。
		「**6メッセージ**」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉
バイブ設定		バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
		「**7オプション**」選択➡◉➡「**1バイブ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」／「**2OFF**」選択➡◉➡（**戻る**） ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定		ランプの種類や点灯方法を設定します。
	モバイルライト点灯	「**7オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**1モバイルライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡（**戻る**）
	スモールライト点灯	「**7オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**2スモールライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡（**戻る**）
	ランプ点灯なし	「**7オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**3OFF**」選択➡◉➡（**戻る**）
予告アラーム設定		アラーム時刻前にアラームが鳴るように設定します。
		「**7オプション**」選択➡◉➡「**3予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡予告時間入力（02～99分前）➡◉➡（**戻る**） ●予告アラーム設定を解除する：「**7オプション**」選択➡◉➡「**3予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉➡（**戻る**）

電話番号	アラーム時刻に、電話番号を表示します。 「7オプション」選択➡●➡「4電話番号」選択➡●➡電話番号入力➡●➡ (戻る) ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「**メール予約**」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に (TEL) を押すと、アドレス帳を利用することができます。
メール予約	アラーム時刻に、送信トレイに保存したメールを送信します。 「7オプション」選択➡●➡「5メール予約」選択➡●➡送信メール選択➡●➡ (戻る) ●メール予約の取消：送信メール選択後 (**取消**)➡ (**戻る**) ●「**電話番号**」を設定しているときは、利用できません。

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除

設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 解除する番号を選ぶ

「2解除」選択➡●

- アラームが解除され、「」や「」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを利用するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去

設定したアラームを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 消去する番号を選ぶ

「3消去」選択➡●

アラーム再設定

解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定することもできます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

アラームを再設定する

再設定する番号選択➡●➡「1設定」選択➡●➡ (完了)

アラーム内容を変更する

変更する番号選択➡●➡「1設定」選択➡●➡P.12-7操作2以降

12 その他の機能

自動電源ON／OFF

指定時刻に自動的に電源を入れる（自動電源ON）

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV302SHの電源が入ります。
●自動電源ONを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
●自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ 自動電源ON

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 自動電源ONの時刻を入力し、◉を押す。

●時刻は24時間制で入力します。
●このあと、アラームを設定することもできます。（☞P.12-12）

4 ◎（完了）を押す。

自動電源ON設定の画面

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。「**アラーム設定**」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。
●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

■電源が入っていたとき

「**アラーム設定**」を「ON」にしていたときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。

通話中に自動電源ONの設定時刻になった場合、「**アラーム設定**」を「ON」にしていても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後☎を押すとアラームが動作します。

アラーム音を止めるときは、☎／Ⓢ／エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押します。

アラームを設定する

- 下記の各操作（「**アラーム設定**」〜「**鳴動時間**」）は、P.12-11操作３の自動電源ON設定の画面で行います。
- 操作後は、自動電源ON設定の画面に戻ります。他の設定を行い、自動電源ONの設定を完了してください。
- 「**アラーム設定**」以外の操作は、「**アラーム設定**」を「ON」にしたあとで行います。

アラーム設定		自動電源ON設定時刻にアラームを動作させるかどうかを設定します。
		「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
アラーム音選択		アラーム音の種類を設定します。
		「4アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉ ● アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節		アラーム音の音量を調節します。
		「5アラーム音量調節」選択➡◉➡◎（音量調節）➡◉ ●「**サイレント**」に設定すると、マナーモード設定中でも、マナー設定変更の設定にかかわらず、「**サイレント**」になります。
バイブ設定		バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
		「6バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉ ● バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定		ランプの種類や点灯方法を設定します。
	モバイルライト点灯	「7ランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
	スモールライト点灯	「7ランプ設定」選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
	ランプ点灯なし	「7ランプ設定」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉
鳴動時間		アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
		「8鳴動時間」選択➡◉➡時間入力（02〜99秒）➡◉

指定した時刻に電源を切る（自動電源OFF）

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV302SHの電源を切ります。

- 自動電源OFFを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源OFF

1 「1ON」を選び、◉を押す。

自動電源OFFの解除 :「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 自動電源OFFの時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。
- 通話中は通話終了後、メール作成中やカメラ撮影中などはすぐに電源OFFの確認画面が表示されます。
  - 約1分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）
  - 操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。
- 送信予約メールを設定していても、電源OFFの確認画面は表示されずに電源が切れます。

スケジュール

日時の決まった予定（スケジュール）と、日時の決まっていない用件（アクションアイテム）の2種類の予定が登録できます。
- スケジュールは150件（1日最大20件）、アクションアイテムは50件まで登録できます。

スケジュール／アクションアイテムを登録する

スケジュールの登録

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 スケジュール/メモ（新規スケジュール作成）を押す。
- （カレンダー）を押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

スケジュール画面

2 日時を入力し、◉を押す。
- 西暦4ケタ、月日時分2ケタずつで入力します。
- 日時は必ず入力してください。

3 「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。

4 スタンプを選び、◉を押す。

5 「4予定入力」を選び、◉を押す。

6 スケジュールの内容を入力し、◉を押す。
- 最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。
- このあと、アラームを設定したり（☞P.12-14）、オプション機能を設定する（☞P.12-16）こともできます。

スケジュール設定の画面

7 すべての項目の設定が終われば、（完了）を押す。
- 続けて他のスケジュールを登録するときは、操作1～7をくり返します。
- スケジュールを登録した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日の表示

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「📅」（アラームONのとき）または「📅」（アラームOFFのとき）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アクションアイテムの登録

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 文字（新規アクションアイテム作成）を押す。

2 アクションアイテムの内容を入力して、◉を押す。
- 最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。

3「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。

4 スタンプを選び、◉を押す。
- このあと、オプション機能を設定する（☞P.12-16）こともできます。

5 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。
- 続けて他のアクションアイテムを登録するときは、操作1～5をくり返します。

アクションアイテム設定の画面

アラームを設定する

アラーム設定 スケジュールの日時にアラームを鳴らします。

スケジュール設定の画面（☞P.12-13操作6の画面）で「5アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉
- アラーム設定の画面が表示されます。このあと、アラーム時刻やアラームの動作が設定できます。（☞P.12-15）
- アラーム設定の画面で◎（戻る）を押すと、スケジュール設定の画面に戻ります。
- 他の設定を行い、スケジュールの設定を完了してください。

アラームの動作を設定する

●下記の各操作（「**アラーム音選択**」～「**予告アラーム設定**」）は、スケジュールのアラーム設定の画面から行います。
●操作後は、アラーム設定の画面に戻ります。

項目	内容
アラーム音選択	アラーム音の種類を設定します。
	「**1サウンド設定**」選択➡◉➡「**1アラーム音選択**」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉➡クリア（**戻る**） ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節	アラーム音の音量を調節します。
	「**1サウンド設定**」選択➡◉➡「**2アラーム音量調節**」選択➡◉➡上下キー（音量調節）➡◉➡クリア（**戻る**） ●「**サイレント**」に設定すると、マナーモード設定中でも、マナー設定変更の設定にかかわらず、「**サイレント**」になります。
鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
	「**1サウンド設定**」選択➡◉➡「**3鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力（02～99秒）➡◉➡クリア（**戻る**）
スヌーズ設定	アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。
	「**2スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02～20分）➡◉ ●スヌーズ設定を解除する：「**2スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉
バイブ設定	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	「**3オプション**」選択➡◉➡「**1バイブ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」／「**2OFF**」選択➡◉➡クリア（**戻る**） ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定	ランプの種類や点灯方法を設定します。
モバイルライト点灯	「**3オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**1モバイルライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡クリア（**戻る**）
スモールライト点灯	「**3オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**2スモールライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡クリア（**戻る**）
ランプ点灯なし	「**3オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**3OFF**」選択➡◉➡クリア（**戻る**）
予告アラーム設定	設定時刻前にアラームが鳴るように設定します。
	「**3オプション**」選択➡◉➡「**3予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**2分単位設定**」～「**5月単位設定**」選択➡◉➡予告設定（５分前や１週間前など）➡◉➡クリア（**戻る**） ●予告アラーム設定を解除する：「**3オプション**」選択➡◉➡「**3予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**1OFF**」選択➡◉➡クリア（**戻る**）

アラーム時刻になると

「**アラーム設定**」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

- 「**アラーム設定**」を「OFF」にしているときは、何も動作を行いません。
- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラーム音の停止方法や、電話番号表示／メール予約／スヌーズ設定時の操作については、P.12-8を参照してください。

通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後☎を押すとアラームが動作します。

サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、Ⓢを押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。このあとⓈを長く（１秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

オプション機能を設定する

- 下記の各操作（「**ピクチャーメモ設定**」〜「**待受表示設定**」）は、P.12-13操作６のスケジュール設定の画面、またはP.12-14操作４のアクションアイテム設定の画面から行います。
- 操作後は、スケジュール設定の画面またはアクションアイテム設定の画面に戻ります。他の設定を行い、スケジュール／アクションアイテムの設定を完了してください。

ピクチャーメモ設定（スケジュールだけ）	画像を設定し、開始日時に表示します。 「**6オプション**」選択➡◉➡「**1ピクチャーメモ設定**」選択➡◉➡「**2データフォルダ**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡⊘（**戻る**） ●ピクチャーメモの解除：「**6オプション**」選択➡◉➡「**1ピクチャーメモ設定**」選択➡◉➡「**3設定解除**」選択➡◉➡⊘（**戻る**） ●「**2データフォルダ**」のかわりに「**1モバイルカメラ**」を選ぶと、静止画や動画を撮影して設定できます。
電話番号（スケジュールだけ）	開始日時に、電話番号を表示します。 「**6オプション**」選択➡◉➡「**5電話番号**」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡⊘（**戻る**） ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「**メール予約**」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に◎（TEL）を押すと、アドレス帳を利用することができます。
メール予約（スケジュールだけ）	開始日時に、送信トレイに保存したメールを送信します。 「**6オプション**」選択➡◉➡「**6メール予約**」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡⊘（**戻る**） ●メール予約の取消：送信メール選択後✉（**取消**）➡⊘（**戻る**） ●「**電話番号**」を設定しているときは、利用できません。

12 その他の機能

日付色設定（スケジュールだけ）	登録日のカレンダーに表示される色を設定します。
	「6オプション」選択➡●➡「2日付色設定」選択➡●➡カラー選択➡●➡（戻る） ●日付色を設定していても、「表示切替」が「1週間詳細表示」（☞下記）のときは、表示されません。 ●同じ日に2件以上のスケジュールがあるときは、時間の早いスケジュールの日付色が表示されます。
自動消去保護設定	自動的に消去されないよう、保護するかどうかを設定します。
	「オプション」選択➡●➡「自動消去保護設定」選択➡●➡「1ON」（保護する）／「2OFF」（保護しない）選択➡●➡（戻る） ●「自動消去設定」を「OFF」にしているときは、この設定にかかわらず自動消去されません。
待受表示設定	登録した内容を待受画面に表示するかどうかを設定します。
	「オプション」選択➡●➡「待受表示設定」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●➡（戻る） ●「時計表示設定」を「カレンダー」（☞P.7-3）に設定しているときに有効です。（アクションアイテムは、さらに「スタンプ+スケジュール表示」に設定しているときにだけ有効です。）

スケジュール／アクションアイテムを確認する

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ***スケジュールを確認する***

1 確認する日を選び、●を押す。

2 確認するスケジュールを選び、●を押す。

2005年09月26日(月)
19:30
誕生日プレゼント忘れずに持っていくこと！
戻る　メニュー

アクションアイテムを確認する

1 （切替）を押し、「アクションアイテム」を表示する。

2 アクションアイテムを選び、●を押す。

■ アクションアイテムの1件消去：アクションアイテム選択➡（メニュー）➡「5 1件消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

2 確認を終了するときは、（戻る）を押す。

スケジュールの表示内容を切り替える

■ 表示内容を切り替えるときは、次の操作を行います。
●➡「ツール」選択➡●➡「2スケジュール」選択➡●➡（切替）
●（切替）を押すたびに、「アクションアイテム表示」→「1週間詳細表示」→「1ヶ月スタンプ表示」→「全件表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は次の操作で設定（制限）できます。
●➡「ツール」選択➡●➡「2スケジュール」選択➡●➡（メニュー）➡「4表示切替」選択➡●➡「6切替表示設定」選択➡●➡表示方法選択（※）➡（チェック）➡（表示方法選択➡をくり返す）➡●
※ 表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

12 その他の機能

待受画面にスケジュールを表示する

■ 待受表示設定（☞P.12-17）を「ON」にします。
■ 次の操作を行うと、スケジュールを待受画面に表示するとき、詳細を表示するかどうかを設定できます。
●「時計表示設定」を「カレンダー」の「スタンプ+スケジュール表示」にしておいてください。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「2スケジュール」選択➡◉➡（メニュー）➡「0待受表示内容」選択➡◉➡表示内容選択➡◉

スケジュール／アクションアイテムを編集する

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール

1 ***スケジュールを編集する***
1 編集する日を選び、◉を押す。

アクションアイテムを編集する
1 （切替）を押し、「アクションアイテム」を表示する。

2 編集するスケジュール／アクションアイテムを選び、（メニュー）を押す。

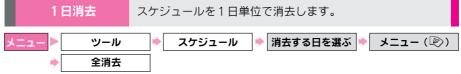
3 「編集」を選び、◉を押す。

4 項目を選び、◉を押す。
●編集方法は、スケジュール／アクションアイテムの登録時と同様です。

5 編集が終われば、（完了）を押す。

6 「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。

スケジュール／アクションアイテムを消去する

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 消去する日を選ぶ ➡ 消去するスケジュールを選ぶ ➡ メニュー（） ➡ 消去

「1YES」選択➡◉
●アクションアイテムの1件消去については、P.12-17を参照してください。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 消去する日を選ぶ ➡ メニュー（） ➡ 全消去

「2 1日スケジュール全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

過去／全件消去 過去のスケジュール、またはすべてのスケジュール／アクションアイテムを消去します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー（✉）▶全消去

「1過去スケジュール全消去」／「3スケジュール全消去」／「4アクションアイテム全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

その他のスケジュール関連機能

自動消去設定 最大登録件数を超えた、スケジュール／アクションアイテム（未保護分）を古い順から消去するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー（✉）▶自動消去設定

「1スケジュール」／「2アクションアイテム」選択➡◉➡「1自動消去ON」／「2自動消去OFF」選択➡◉

シークレット設定 操作用暗証番号を入力しないとスケジュール／アクションアイテムの登録や確認ができないようにします。

メニュー▶ツール▶スケジュール

シークレットを設定する

✉（メニュー）➡「8シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡◉

シークレットを解除する

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡✉（メニュー）➡「8シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡◉

カレンダー曜日色設定 曜日ごとに色を設定できます。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー（✉）▶カレンダー曜日色設定

曜日選択➡◉➡色選択➡◉

表示切替 スケジュール／アクションアイテムの表示方法を設定します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー（✉）▶表示切替

「1スタンプ＋詳細表示」～「5全件表示」選択➡◉

件数確認 スケジュール／アクションアイテムの登録件数を確認します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー（✉）

「✱件数確認」選択➡◉

ユースフルダイアリー

文字と画像を組み合わせた便利な日記を登録できます。
- 1件あたり最大全角250文字（半角500文字）、最大400件まで登録できます。
- ユースフルダイアリーを最大件数まで登録すると、新規に登録することができません。
不要なユースフルダイアリーを消去するときは、P.12-22を参照してください。

ユースフルダイアリーを登録する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー

1 「1今日の日記をつける」を選び、◉を押す。
今日の日記の登録画面が表示されます。
■ 別の日付の日記をつける：「1日付入力」選択➡◉➡登録する日付入力➡◉
- 日記の本文を入力しないときは、このあと操作4へ進みます。

2 「2メッセージ」を選び、◉を押す。

3 日記の本文を入力し、◉を押す。
- 画像を登録しないときは、このあと操作6へ進みます。

■ 定型文の利用：（定型）➡定型文選択➡◉➡◉
■文字が入力されている状態では、定型文を利用することはできません。

4 「3画像設定」を選び、◉を押す。

5 *画像を撮影して登録する*
1「1モバイルカメラ」を選び、◉を押す。
2 モードを選び、◉を押す。
3 撮影を行い、画像を保存する。

データフォルダの画像を登録する
1「2データフォルダ」を選び、◉を押す。
2 画像を選び、◉を押す。
- 画像によっては、選択できないことがあります。

画像設定を解除する
1「3設定解除」を選び、◉を押す。

6 （完了）を押す。
■ 別の日記をつける：（メニュー）➡「1新規日記を登録」選択➡◉➡日付入力➡◉➡操作2～6をくり返す

定型文を編集／消去する

■ 定型文を編集するときは、P.12-20 操作３で （定型）を押したあと、次の操作を行います。

定型文選択➡（メニュー）➡「2編集」選択➡●➡タイトル編集➡●➡定型文編集➡●

■ この操作を行うと、定型文は上書きされます。

■ 定型文を１件ずつ消去するときは、P.12-20 操作３で （定型）を押したあと、次の操作を行います。

定型文選択➡（メニュー）➡「3１件消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

■ 編集した定型文を消去すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ 定型文をすべて消去するときは、P.12-20 操作３で （定型）を押したあと、次の操作を行います。

（メニュー）➡「4全件消去」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

■ 編集した定型文を消去すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

ユースフルダイアリーの登録や確認を禁止する（シークレット設定）

■ シークレット設定を行うときは、P.12-20操作１で次の操作を行います。

「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡●

■ このあとは、操作用暗証番号を入力しないと、ユースフルダイアリーが使用できなくなります。

■ シークレット設定を解除するときは、P.12-20操作１で操作用暗証番号（４ケタ）を入力したあと、次の操作を行います。

「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡●

ユースフルダイアリーを確認する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー

1 「2日記一覧」を選び、●を押す。

日付の新しいものから順に表示されます。

2 確認するユースフルダイアリーを選び、●を押す。

- 登録されている静止画の確認：●（表示）
  - ■ 元の画面に戻る：上記操作のあと （戻る）
- 登録されている動画の確認：●（再生）
  - ■ 元の画面に戻る：上記操作のあと （停止）

ユースフルダイアリーをメール送信する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー ➡ 日記一覧

1 ユースフルダイアリーを選び、（メール）を押す。

●画像なしのユースフルダイアリーを選んだときは、このあと操作３へ進みます。

2「1YES」を選び、◉を押す。

●画像によっては、添付できないことがあります。

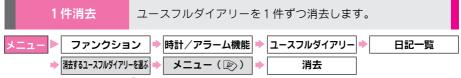
●このあと操作４へ進みます。

■ 画像を添付しない：「2NO」選択➡◉➡操作３へ

■ 送信可能サイズオーバー：「11/4サイズで添付」／「2同サイズで添付」選択➡◉➡操作４へ

3「1ロングメール」または「2スカイメール」を選び、◉を押す。

●「2スカイメール」を選んだ場合、送信できる文字数を超えた文字は削除されます。

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.3-3）

ユースフルダイアリーを編集する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー ➡ 日記一覧 ➡ 編集するユースフルダイアリーを選ぶ ➡ メニュー（）

1「編集」を選び、◉を押す。

2 項目を選び、◉を押す。

●編集方法は、ユースフルダイアリーの登録時と同様です。

3 編集が終われば、（完了）を押す。

12 その他の機能

ユースフルダイアリーを消去する

「1YES」選択➡◉

全件／過去消去 過去またはすべてのユースフルダイアリーを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ユースフルダイアリー ➡ 日記一覧 ➡ メニュー（）

「3全件消去」／「4過去の日記を全消去」選択 ➡ ● ➡ 操作用暗証番号（４ケタ）入力 ➡「1YES」選択 ➡ ●

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

- 計測したタイムは、最新の５件までのラップタイムと合わせて、テキストメモに登録できます。
- 電池残量が少なくなると、ストップウォッチは止まります。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ストップウォッチ

1 ●を押す。

タイムの計測が始まります。

■ ラップタイムの記録：（LAP）

2 止めるときは、もう一度●を押す。

途中でラップタイムを記録すると、最新の５件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

■ テキストメモ登録：（**メニュー**）➡「1**テキストメモ登録**」選択 ➡ ● ➡ 登録する番号選択 ➡ ●

▪ 登録済の番号選択時：上記操作のあと「1YES」選択 ➡ ●

■ 登録済のタイムの確認：（**メニュー**）➡「2**テキストメモ参照**」選択 ➡ ● ➡ 番号選択 ➡ ●

■ 再スタート：●

■ 計測タイムの消去：（**リセット**）

3 ストップウォッチを終わるときは、または クリア を押す。

■ ストップウォッチ動作中／停止中：「1YES」選択 ➡ ●

- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存するときは、計測終了後テキストメモに登録してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- ストップウォッチ動作中にアラーム時刻（☞P.12-8）になっても、アラームは動作しません。このときは、ストップウォッチ終了後にアラームが動作します。
- 計測中にV302SHを閉じても、ストップウォッチの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームでお知らせします。
●最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ キッチンタイマー

1 設定する時間（00分01秒～60分00秒）を入力する。
●入力を間違えたときは、でカーソルを移動し、入力し直します。

2 ◉を押す。
●60分（60：00）より大きな数字を入力したときは、起動時間の入力画面に戻ります。
■ 時間の変更：（**編集**）➡時間入力➡◉

3 ◉を押す。
タイマーのカウントダウンが始まります。

4 止めるときは、もう一度◉を押す。
■ 再スタート：◉
■ 設定時間へ戻る：（**リセット**）

5 キッチンタイマーを終わるときは、またはを押す。
■ キッチンタイマー動作中／停止中：「1 YES」選択➡◉

設定時間になったときの動作

■ メッセージが表示され、アラームとランプが動作します。［アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
●アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
●マナーモード設定中は、バイブレータでお知らせします。
（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナー設定変更の設定に連動）
●アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。
■ 着信中や通話中に設定時間が経過したときは、通話終了後を押すと、アラームが動作します。

●キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。
で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
●操作中にを長く（1秒以上）押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。
●キッチンタイマー動作中にアラーム時刻（☞P.12-8）になっても、アラームは動作しません。このときは、キッチンタイマー終了後にアラームが動作します。
●キッチンタイマー動作中にV302SHを閉じても、キッチンタイ マーの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

バーコード読み取り

V302SHで作成したバーコードや、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。

●バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。

●モバイルカメラでのバーコード読み取りはできません。

●JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）

●QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」を選び、◉を押す。

■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

2 読み取るバーコードファイルを選び、（メニュー）を押す。

3 「6バーコード」を選び、◉を押す。

4 「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。

■ 読み取り結果を利用した各操作：P.12-26

分割されているバーコードを読み取ると

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

●読み取るときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉➡次のバーコードファイル指定➡◉

●読み取りを中止するときは、次の操作を行います。

「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ 分割個数分のバーコードをすべて読み取らないと、表示／保存できません。

■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面上部に表示されます。（例：「1/4」…４分割の１個目）

読み取り結果の表示サイズを切り替える

■ 読み取り結果表示中に、次の操作を行います。

（メニュー）➡「表示サイズ切替」選択➡◉➡表示サイズ選択➡◉

●お買い上げ時には、「文字中／画像等倍」に設定されています。

■ 読み取り結果表示中に（スケジュール/メモ）を押しても、表示サイズを切り替えることができます。

●（スケジュール/メモ）を押すたびに、「文字中／画像２倍」→「文字小／画像等倍」→「文字小／画像２倍」→「文字大／画像等倍」→「文字大／画像２倍」→「文字中／画像等倍」の順に切り替わります。（画像等倍時には「□」、画像２倍時には「□」が表示されます。）

■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メール、ウェブの設定には反映されません。

注意
- サイズを変更したバーコードは読み取りできないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

■読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡「**電話**」選択➡◉➡
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1ロングメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉（以降の操作：P.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1ロングメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉➡読み取り結果確認➡◉ ■読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で（切出）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（以降の操作：P.3-3）
アドレス帳に登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉（以降の操作：P.5-8操作４以降）
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURLを選択➡◉➡「**ウェブアクセス**」選択➡◉➡P.4-8「**URLを利用する**」2
データフォルダに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ 選択➡◉➡「**データフォルダに保存**」選択➡◉➡ファイル名確認➡◉
コピーする	（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ ●選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2「０」から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列も同様です。
※3　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字１文字以上を示します。

注意
先頭に「TEL:」の付いている電話番号（０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがないとき、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれていると

■P.12-25操作４の画面で右のように、アドレス帳（「MEMORY:」のとき）やメール（「MAILTO:」のとき）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をアドレス帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。
- まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

12 その他の機能

バーコード作成

V302SHに登録しているオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像を利用して、バーコードを作成します。

- すでにV302SHに登録されている情報から選んで作成したり、新たにアドレス帳やメールの内容などを入力して作成することもできます。
- 1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは469文字、漢字だけを入力したときは120文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。［一度に最大3416バイト（16分割）まで］
- 作成したバーコードは、データフォルダのピクチャーフォルダ（☞P.9-3）に登録されます。

現在の情報量（バイト）
最大情報量
15:05
バーコード作成
アドレス帳
82/3416(1/16)
:植田ミキオ
:ｳｴﾀﾞ ﾐｷｵ
:03123XXXX3
:<未登録>
:aaa@xxx.yyy
:<未登録>
:<未登録>
取消　選択　作成
現在の分割数
最大分割数

バーコード作成画面（アドレス帳）

1 各情報の画面で、◉（メニュー）または（メニュー）を押す。

- メールのときは、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内の画像のバーコード作成：画像選択➡（メニュー）➡「6バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

■ データフォルダ内のメロディのバーコード作成：メロディ選択➡（メニュー）➡「4バーコード作成」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

- ■E-アニメータファイルも、同様の操作でバーコードが作成できます。
- ■変換形式選択画面表示時：変換形式選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

2「バーコード」または「バーコード作成」を選び、◉を押す。

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

■ バーコード作成中に、新しい情報を入力：項目選択➡◉➡内容入力➡◉

3 （作成）を押す。

4 ◉を押す。

ロングメールに添付して送信する

■ バーコードを登録する（操作4で◉を押す）前に、次の操作を行います。

（メニュー）➡「1メール添付」選択➡◉➡P.3-3操作2以降

作成したバーコードデータを消去する

■ バーコードを登録する（操作4で◉を押す）前に、次の操作を行います。

（メニュー）➡「2データ消去」選択➡◉➡消去するデータ選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

バーコード作成中に着信があると

■ 作成中の内容は一時的に記憶（保護）されています。作成を継続するときは、通話終了後に次の操作を行います。

◉➡「1YES」選択➡◉➡バーコード作成画面へ

省電力設定

電池パックの消費を抑える（バッテリーセーブ）

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。

●「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ バッテリーセーブ

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ バッテリーセーブの解除：「2OFF」選択➡◉

ディスプレイの電力消費を抑える（パネルセーブ）

V302SHは、開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。

このパネルセーブが動作するまでの時間を２分～20分の間（１分単位）で変更したり、動作しないようにすることができます。

●通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しないことがあります。

パネルセーブを設定する

●お買い上げ時には、「ON」（５分）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ON／OFF設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ パネルセーブの解除：「2OFF（微点灯あり）」／「3OFF（微点灯なし）」選択➡◉（操作完了）

2 パネルセーブが動作するまでの時間（02～20分）を入力し、◉を押す。

パネルセーブの動作について

■ 一定時間操作しないでおくと、自動的に画面表示が消えます。

●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）

●パネルセーブ動作中にV302SHを閉じると、効果音設定の「3パワー ON」（☞P.8-5）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV302SHを開くと、パネルセーブは解除されます。

パネルセーブを「OFF」にすると、連続待受時間が短くなります。「2OFF 微点灯あり」にすると、特に短くなります。

パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト(オレンジ色点滅)を表示する

●お買い上げ時には、「**ランプ表示なし**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示/設定1 ▶ 省電力設定 ▶ パネルセーブ ▶ ランプ表示設定

1 「1ランプ表示あり」を選び、◉を押す。

■ ランプ点灯なし:「**2ランプ表示なし**」選択▶◉

オフラインモード設定中は、ここでの設定にかかわらず、スモールライトが点滅します。

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税込みの計算に便利です。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
+(足す)	◎(右)	RM(メモリ呼出)	文字
ー(引く)	◎(左)	M+(メモリ加算)	メール
×(掛ける)	◎(上)	.(小数点)	*・゜総
÷(割る)	◎(下)	+/ー(符号反転)	#記号
=(イコール)	◉	%(パーセント)	i-mode
C・CE(クリア)	クリア	tax(税計算)	発信
CM(クリアメモリ)	スケジュール/メモ		

●お買い上げ時の税率は、「**5%**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示/設定2

1 「9簡易電卓」を選び、◉を押す。

●ダイヤルボタンで数字を入力し、上記のボタンを使って計算を行います。

●待受中に金額を入力し◉を押しても、簡易電卓が表示されます。

■ 税率(%)の変更:税率(1〜99)入力▶発信(1秒以上)

2 簡易電卓を終わるときは、PWRを押す。

計算結果を利用する

■ 簡易電卓で行った最後の計算結果やメモリ計算で記憶した数値は、文字入力画面に貼り付けることができます。

文字入力画面で［メニュー］（メニュー）➡「［スケジュール/メモ］各種情報入力」選択➡◉➡「［4］簡易電卓」選択➡◉➡計算結果選択➡◉➡貼り付ける位置選択➡◉

●計算結果は最新の10件まで記憶しています。

●計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果は消去されます。ただし、メモリに記憶した数値は消去されません。
●メモリ計算では［スケジュール/メモ］を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

明細名を付けた金額を順次入力して、合計金額を計算することができます。出張時の経費の計算などに便利です。

●最大31件まで金額が入力できます。
（合計金額は最大30,999,969円まで、1回の入力は最大999,999円まで）
●通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力

金額を入力し、明細名を付けて登録します。

金額を入力➡［スケジュール/メモ］➡明細名選択➡◉

●自動的に入力した日時で登録されます。
●時刻設定（☞P.1-20）がされていないときは、日時には「--/-- --:--」が登録されます。

確認

入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ マネー積算メモ

「［1］メモ確認」選択➡◉

■ 他の金額を確認：［上下キー］

消去

明細を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ マネー積算メモ ▶ メモ確認

◉➡［クリア］➡「［1］YES」選択➡◉

明細名変更 あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マネー積算メモ ▶ 明細変更

明細選択 ➡ ◉ ➡ 明細名変更 ➡ ◉

- 最大全角３文字（半角６文字）まで入力できます。
- あらかじめ登録されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

スポットライト

V302SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯 スポットライトを点灯します。

待受中にⓈを連続して２回押す

■ 消灯：Ⓢ／PWR／クリア

点灯設定 スポットライトの継続点灯時間を設定します。

お買い上げ時 継続点灯時間：１分

メニュー ▶ ツール ▶ スポットライト

「２継続点灯時間」選択 ➡ ◉ ➡ 時間選択 ➡ ◉

- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
- 次のときは、スポットライトが点灯しません。
  - ■モバイルカメラ起動中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
  - ■メール受信中 ■SMAF動作中 ■発信中 ■ストップウォッチ動作中
  - ■キッチンタイマー動作中 ■着信中 ■メロディデータ再生中
  - ■アクションスナップ再生中

- スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、画面のパネル照明が点灯します。
- 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、画面のパネル照明が点灯します。
  - ■Vアプリ起動中［Vアプリの「**パネル照明**」（☞ P.12-2）を「**常時ON**」にしているとき］
- V302SHを閉じている状態でスポットライトを点灯しているときは、V302SHを開くと自動的にスポットライトは消灯します。
- スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

スイッチ付イヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登録したアドレス帳（☞P.5-5）には、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

- 相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。を押しても、電話を切ることができます。

- V302SHを閉じても、電話は切れません。

- メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.11-6）
- ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止設定中は、電話をかけられません。（☞P.11-2、P.11-3）
- スイッチ付イヤホンマイクのコードを、V302SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、スイッチ付イヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

着信音出力切替（☞P.12-33）の設定に従って、イヤホンからだけ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。を押しても、電話を切ることができます。

- V302SHを閉じても、電話は切れません。

イヤホンからのみ着信音を出す

イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクを差し込んでいるときは、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからだけ鳴るように設定します。

●お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信音出力切替

1 「1イヤホンのみ」を選び、◉を押す。

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「**2イヤホン＋スピーカー**」選択➡◉

イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」にしていても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信	データ／FAX通信カードなどを介して､FAX通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信	データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

FAX通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。

●パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
●ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
●データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書を参照してください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V302SH からの操作は行えません。一般電話から操作してください。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**サービスガイドブック**」を参照してください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.13-3）
留守番電話サービス※	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.13-4）
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、かかってきた別の電話を受けられます。（☞P.13-6）
三者通話サービス※	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。（☞P.13-7）
発信者番号通知サービス※	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示できます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

●転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送先登録

転送電話番号入力➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。
● 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

転送先として登録できない電話番号
●「 1 」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
●「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
●「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送開始

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
●「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書停止

「1YES」選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に📞を押すと、そのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」を参照してください。
- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始

留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 留守番サービス

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択▶◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

- 「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に↩を押すと、そのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）

■ 相手が伝言メッセージを入れると、V302SHに「1416」が表示されます。

留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

■ 着信中に◉PWRの順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）

■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「**5 留守電センター転送**」にしているときは、着信中にSを長く（1秒以上）押すと、留守電センター転送が行えます。

留守番電話サービス停止

留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書停止

「1YES」選択▶◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス設定確認 留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1 YES」選択➡◉

設定状況が表示されます。

伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 留守録再生

「1 YES」選択➡◉

● 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って、操作してください。

■ メッセージの確認を終了する：PWR

「1416」はV302SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V302SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V302SHの着信音が鳴る時間）を５～30秒（５秒単位）の間で設定できます。

●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。

●着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定 転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 呼出時間設定

呼出し時間選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV302SHの簡易留守録（☞P.12-4）と併せてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：各サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間…９秒

上記のように設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除

割込通話サービスを設定／解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込設定

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ◉

ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認

割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込確認

「1YES」選択 ▶ ◉

ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信

通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら

- 保留中の相手との通話：（**切替**）
- 通話する相手の切替：（**切替**）

割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**着信音なし**」で開始しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中にを押すと

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

三者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力➡

それまで通話していた相手は、保留になります。
- アドレス帳、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話 相手を切り替えながら通話します。

通話中に◉➡「4切替通話」選択➡◉

それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。
- ◉4の順に押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

切替通話中に、を押すと

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

通話中転送 切替通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

切替通話中に◉➡「6通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手と通話できます。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）
- を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話 ３人で同時に通話できます。

切替通話中に◉➡「5三者通話」選択➡◉

- 三者通話中に「**切替通話**」に切り替えることはできません。

三者通話中転送　三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人だけの通話になります。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）

●PWRを押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中に、PWRを押すと

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切ると

■ 残された相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ Battery (SHBAD1)
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Rapid Charger (SHCQ01)

Above accessories may also be purchased separately.

For accessory-related information, please contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.14-36).

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on.
Symbols and their meanings are described below:

Symbol	Meaning
⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

Symbol	Meaning
	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery or Charger.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from necklaces, hairpins, etc. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid contacts eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not put metal or flammable objects in handset or Charger. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset and Charger away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset or Charger away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset.
- Do not open housing of handset or Charger; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset or Charger. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset or Charger to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective November 1, 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at road/rail crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by handstrap.
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and Ring Tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During thunderstorms, turn power off; find cover.
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Rapid Charger: 100 VAC
- In-Car Charger: 12/24 VDC

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth.
Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Charger care
Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

If Rapid/In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger out of the reach of children.
Electric shock or injury may occur.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains.
People with implanted pacemakers/defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:
- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠ CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).
Handset may heat up and lead to burns.

Inside vehicles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger

Charger & In-Car Charger
- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Use only the specified fuse.
1 A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger. May cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Rapid/In-Car Charger after use.

Handset maintenance
When cleaning, disconnect Rapid/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles. Overheating/ fire may occur; may reduce performance.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃;outside this range, battery may leak/ overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Center, Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every 6 months.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset data. Please keep separate records of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of eavesdropping
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided.
  May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only specified products to Headphone Connector. Non-specified devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery.
  If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.
Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

■ Manner Mode

Press Manner Key to automatically mute all Ring Tones and activate Vibration mode for incoming calls/mail.

■ Vibration Mode

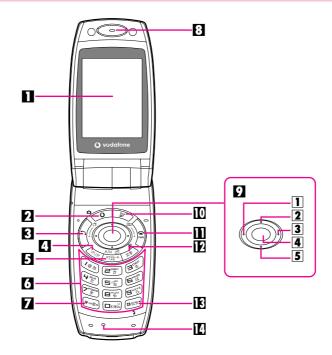
Activate Vibration mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Decrease or mute Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer them.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display

2 Vodafone live! & Mobile Camera Key

Open Web menu or execute left Soft Key functions. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.

3 Start Key

Initiate or answer calls.

4 Clear Key

Delete entries or return to previous window.

5 Schedule/Memo & A/a Key

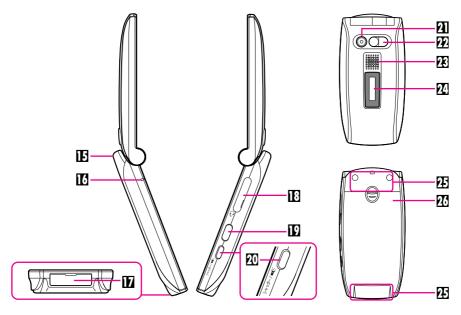
Save/check Schedule or record/play Voice Memos. In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana. Change image display sizes.

6 Keypad

7 ✱ Key

While an image or message appears, press to open previous one. In alphanumeric entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle Symbol/Pictograph Lists.

8 Earpiece

9 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:
1 Redial & Notepad Memory Key
Select dialed numbers or return to the previous window. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.
2 Shortcut Key
In Standby, open Shortcuts menu. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.
3 Phone Book Key
Open entries to make calls, send messages or open selected menu items. Press for 1+ seconds to save new entries.
4 Function & Key Guard Key
Access Functions Menu. Press for 1+ seconds to toggle Key Guard.
5 Call History Key
Open received call records. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.
10 Mail Key
Open Mail menu or execute right Soft Key functions. Press for 1+ seconds to open V-Appli Library (default).
11 Power On/Off & End Key
End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 1+ seconds to turn handset power on (press for 2+ seconds to turn off).
12 Text & Manner Key ()
Toggle between entry modes or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.
13 # Key
When mobile camera is active, press to toggle Mobile Light on/off. While an image or message appears, press to open next one. In text entry windows, toggle Symbol/Pictograph Lists.
14 Microphone

Handset (Side & Back)

15 Strap Eyelet
Attach straps as shown.

16 Small Light
Illuminates red while charging.
Set to flash for incoming calls.

17 External Device Connector
Connect Charger here.

18 Headphone Connector
Connect headphones, etc.

19 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.

20 Side Key
Press to open selected menu items or execute functions. In Standby (handset open), press for 1+ seconds to activate mobile camera.

21 Camera
Capture still and video images.

22 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail. Serves as a strobe or penlight.

23 Speaker

24 Sub Display

25 Internal Antenna Location

26 Battery Cover

Note

About Internal Antenna

- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.
- Voice quality will vary depending on where/how handset is used.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

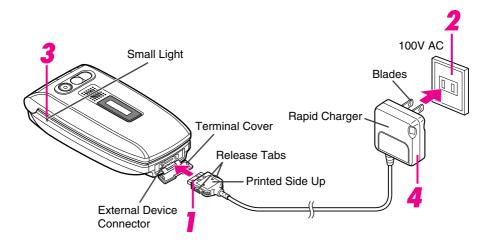
■ Battery Life

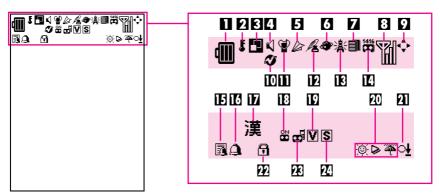
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified Charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging

- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move Charger away from TV/radio if interference occurs.

■ Precautions

- Use a dry cotton swab to clean handset, battery and Charger terminals.
- Avoid:
  - ■ Extreme temperatures
  - ■ Humidity, dust and vibration
  - ■ Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

■ Battery Disposal

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Terminal Cover and insert Charger connector until it clicks

2 Plug in Charger

- Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)
- Charging starts and Small Light illuminates red.

3 Charging is complete when light goes out

- Charging takes approximately 115 minutes* (with handset power off).
  *May vary with temperature.

4 After charging battery, unplug Charger from outlet, then handset

- Squeeze release tabs and pull connector straight out.
- Replace Terminal Cover to protect External Device Connector.

Note Do not pull, bend or twist Charger cord.

Display Indicators

1 Battery Strength, Pen Light
and flash when Pen Light is in use

2 Secret Mode Active
Flashes when a Secret Mode entry is open.

3 Original, Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size

4 Speaker Phone Active, Speaker Active, Line Active,
(gray) Station Manual Update

5 Mail
Unread mail except Long Mail

6 Web
Unread Web Information

7 Delivery Report
New Delivery Report

8 Signal Strength, Infrared Transmission
: Strong : Moderate : Low : Weak OUT: Out-of-Range

9 Scroll

10 Active V-Application, Paused V-Application

11 Manner Mode Active

12 Long Mail
Unread Long Mail

13 (red) Station
Unread Station Information

14 New Voice Mail, Off-Line Mode

15 / Schedule
Schedule Alarm On / Off

16 Alarm Set

17 Entry Mode

Current character entry mode

漢	Kanji (hiragana)
ア	Double-byte katakana
ｱ	Single-byte katakana
Ａ	Double-byte alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte alphanumerics (lower/upper case)
A	Single-byte alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte alphanumerics (lower/upper case)
1	Single-byte numbers
絵	Pictograph code
区	Character code
Ｐ*	Double-byte upper case
P*	Single-byte upper case
ｐ*	Double-byte lower case
p*	Single-byte lower case

*Available in Pager Mode

18 Message Recorder Active

19 V Vibration Active

20 Weather Indicators

Current forecast (A separate subscription is required.)

21 Key Guard Active

22 Keypad Lock Active

23 Message

Message Recorder messages

24 S Silent, Rising Tone

Ringer is S Silent or Rising Tone.

Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, V , S , and are Incoming Call indicators.

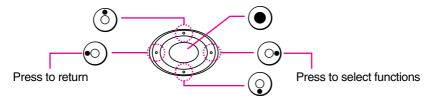
Sub Display Indicators

Sub Display & Display indicators (☞P.14-16 - 14-17) represent the same functions.

1 Battery Strength, Missed Call, Mail, Message, Voice Mail
Web, Station, Alarm, Pen Light
always appears in Standby. , , , or appears with messages for Alarm, incoming calls, information, etc.
and flash when Pen Light is in use.

2 Signal Strength

3 Information, Off-Line Mode
Unconfirmed Mail, Web/Station Information, Missed Calls, Message Recorder or Voice Mail messages.

4 Time
Current time and TIMER indicator flash when Stopwatch or Kitchen Timer is running.

Tip Sub Display Backlight illuminates when handset is closed or Side Key is pressed, except when Backlight Settings for Sub Display is set to ***Off***.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.
In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 1 ***Sounds*** and press .)

Handset Codes

Both Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions.

- ✱ appears when Security Code is entered.
- If incorrect, ***Invalid Code*** appears. Enter correct Security Code.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access Optional Services via landlines, and to subscribe to fee-based information.

- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.14-36).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for misuse or damages.

- Change Security Code as needed.
- Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.14-36) for details.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1. Open handset
2. Press [PWR] for 1+ seconds

Turning Off

1. Open handset
2. Press [PWR] for 2+ seconds

English Display

1. Press ● 3 5
2. Select 2 *English* and press ●

14

Abridged English Manual

Your Phone Number

1 Press ◉ 0
2 Press PWR to exit

Setting Clock

1 Press ◉ 5 9
2 Enter current date and time
3 Press ◉

Initiating a Call

1 Enter a phone number
2 Press ↷

Placing an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees required.) Enter 0 0 4 6 + 0 1 0 + country code + area code + phone number. Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service" for support.

Example: Calling the United Kingdom

1 Enter 0 0 4 6 0 1 0
2 Enter 4 4 (Country Code)
3 Enter the phone number with the area code
4 Press ↷

Note Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1 Press ◉
2 Select a phone number and press ◉
3 Press ↷

Total Charges & Talk Time

1. Press (Total Charges) or (Total Talk Time)
2. Press to exit

Answering a Call

1. When a call arrives, open handset
2. Press
   Alternatively, press any of the following keys: - , , , , , , ,
   ,

Placing Callers on Hold

1. When a call arrives, open handset
2. Press to place caller on hold
3. Press to answer the call

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press	Press , select Ring Tone option and press
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator		
Play	Press	Press and choose **1** *Yes* and press
Delete	During playback, press , choose **1** *Yes* and press	After playback, press *
When Handset Power is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

*The key for this operation may vary by Subscription Area. Please call Vodafone Customer Center, General Information.

- While Voice Mail is inactive, press and to forward an incoming call. (Activates Voice Mail for the one call only. Voice Mail remains canceled.)
- Activating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1. Press ◉ 7 1
2. Select 2 ***Set Fwd Number*** and press ◉
3. Enter a phone number and press ◉

Activating Call Forwarding

1. Press ◉ 7 1
2. Select 1 ***Start Fwd*** and press ◉
3. Select 1 ***Call*** (with Ring Tone) or 2 ***No Call*** (without Ring Tone) and press ◉

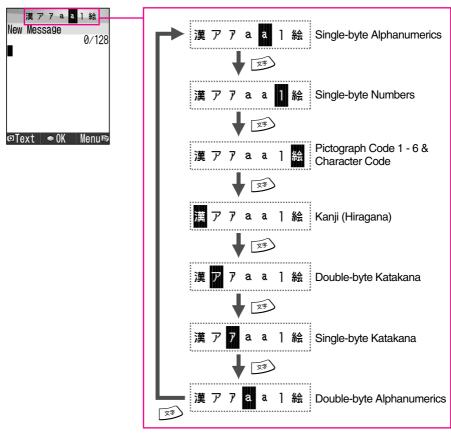
Activating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Dialing from Call History

1. Press ◎
2. Select a phone number and press ◉
3. Press ↻

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

1. In Standby, press 文字 for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ①Mutes Keypad Sound as well as Power On/Off and Error tones.
   ②Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On).
   Adjust settings as required.

Canceling Manner Mode
In Standby, press 文字 for 1+ seconds.

Entering Characters

Entry Modes

Press 文字 to toggle between entry modes.

Key Assignments

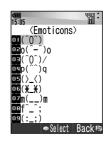
Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
	Upper & Lower Case	Lower Case		
1 @ あ	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2 ABC か	ABCabc2	abc2	2	2
3 DEF さ	DEFdef3	def3	3	3
4 GHI た	GHIghi4	ghi4	4	4
5 JKL な	JKLjkl5	jkl5	5	5
6 MNO は	MNOmno6	mno6	6	6
7 PQRS ま	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8 TUV や	TUVtuv8	tuv8	8	8
9 WXYZ ら	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0 わをん	,.0↵ (Line Break)[1]	,.0↵ (Line Break)[1]	0	0
* ゛゜ 絵	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* - P (Pause)[3]	
# 記号	Log, Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down ↵ (Line Break)[1]			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Entry Mode			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper/lower and lower/upper case)			
クリア (Short Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
Send	Recover up to 64 deleted characters[4]			
Center	OK			
Menu				Toggle Pictograph Code 1-6 and Character Code
Mail				Open list for Pictograph Code 1-6[5]

[1] Insert line breaks in mail message text, Text Memo, etc. Press Down at the end of text.
[2] Extensions are listed for easy entry.
[3] - and P (Pause) are for phone number entry.
[4] Press Send once for each character to recover immediately after deleting.
[Not available after deleting text with クリア (Long Press).]
[5] List is not available for Character Code.

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press ⊙ to move cursor to the right, then enter the next character.
Editing Characters
Use ⊕ to move cursor to a character. Press [クリア] to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press [#記号] to open Symbol List
2. Press [⊙] or [#記号] to toggle the list as follows: Pictograph Code List (6 - 1) → Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved)
3. Use ⊕ to select one and press ⊙
4. Press [✉] **Back** to exit list

- Single-byte Symbols do not appear in Log List.
- In double-byte entry mode, three Symbol Lists appear. Press [⊙] or [#記号] to toggle between them.

Emoticons

1. In a text entry window, press [✉] **Menu**
2. Select ⊟*Emoticons* and press ⊙
3. Select an emoticon and press ⊙

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Enter up to 16 single-byte characters
Reading :		Katakana, alphanumerics or Symbols appear as you enter names (up to 10 single-byte characters including ゛ and ゜)
Phone Number :		Enter up to three phone numbers (24 digits each)
E-mail :		Enter up to three mail addresses (60 single-byte characters each)
Group :		Sort entries into 10 Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries
Photo :		Select an image to appear when you open a Phone Book entry. Activate Picture Call/Mail to see the image set here for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender
	Mail Folder	Messages are sorted into folders

■ Save up to 500 entries (000 to 499) in Phone Book.

Back-up Important Information

Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect files. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1. Press 文字
2. Enter a name
3. Press ◉
   Characters entered for names (reading for kanji) appear after ▭ : .
   Confirm the reading.

Correcting Reading
Select ▭ : and press ◉. Correct spelling and press ◉.

4. Select ☎ : and press ◉
5. Enter a phone number and press ◉
6. Select an icon and press ◉
7. Select ✉ : and press ◉
8. Enter a mail address and press ◉
9. Select an icon and press ◉
10. Press ✍ Save
11. Enter Memory Number (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Editing Phone Book

1. Open a Phone Book entry (☞P.14-28 "Dialing from Phone Book")
2. Press ◉ Menu
3. Select *Edit* and press ◉
4. Select an item and press ◉
5. Edit contents and press ◉
   For a phone number/mail address, then, select an icon and press ◉.
6. Press ✍ Save when finished
7. Press ◉
8. Choose 1 *Yes* and press ◉

Saving from Call History

1 Select a phone number (☞Steps 1 - 2 in "Dialing from Call History" on P.14-22)

2 Press ◉ Menu, select *Add to Phone Book* and press ◉

3 *New Entry*

1. Select 1 *New Entry* and press ◉
2. Follow Steps 2 - 11 on P.14-27

Add to Existing Entry

1. Select 2 *New Item* and press ◉
2. Open a Phone Book entry (☞Steps 2 - 3 in "Entry Number Search" below) and press ◉
   Select an icon and press ◉, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book" on P.14-27.

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1 Press ◎ TEL
The search method used last appears.

2 Press ✉ Menu, select *Memory No. Search* and press ◉

3 Enter Memory Number (000 - 499)

4 Select a name and press ◉

Selecting from Multiple Numbers/Addresses
Use ◎ to select other numbers/addresses.

5 Press ☎

Search by Reading

1 Press ◎ TEL
The search method used last appears.

2 Press ✉ Menu, select *Search by Reading* and press ◉

3 Enter reading and press ◉
Use up to 10 single-byte characters.

4 Select a name and press ◉

Selecting from Multiple Numbers/Addresses
Use ◎ to select other numbers/addresses.

5 Press ☎

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from four different shooting modes. Use ***Sha-mail Mode***, ***Wallpaper Mode*** and ***Camera Mode*** for still images and ***Action Snap Mode*** for video.

Mode	Image Size	File Format
Sha-mail	W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	JPEG (High Color)/ PNG (Normal 256/Soft 256)
Wallpaper	W 240 × H 320 dots	JPEG
Camera	W 640 × H 480 dots	JPEG
Action Snap	W 120 × H 88 dots	MPEG

Camera Shake

If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Lens Cover

Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off lens cover.

Camera

- Mobile camera is a precision instrument. However, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Capturing Still Images

1. In Standby, open handset and press ◉
2. Select ***Camera*** and press ◉
3. Select 1 ***Sha-mail Mode***, 2 ***Wallpaper Mode*** or 3 ***Camera Mode*** and press ◉
4. Frame image on Display
5. Press ◉ Shoot or Side Key
6. Press ◉ Save to save image
7. Press PWR to exit

14

Abridged English Manual

Data Folder

Data Folder Contents

Files created or obtained via Web or Sky/Long Mail are organized in separate folders according to file format. Files are sorted as follows:

Opening Data Folder

1. In Standby, open handset and press ◉
2. Select ***My Files*** and press ◉
3. Select ***Data Folder*** and press ◉
4. Select a folder and press ◉
5. Select a file and press ◉
6. Press (PWR) to exit

Long Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Long Mail

1. In Standby, open handset and press ◉
2. Select ***My Files*** and press ◉
3. Select ***Data Folder*** and press ◉
4. Select ***Images*** and press ◉
5. Select a file and press (Sha-mail)
6. Enter recipient, complete other fields and press (send) to send Long Mail

Function List

[1] Also available during calls.
[2] Currently not available in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu and Okinawa areas.
[3] Currently not available in Tohoku, Niigata, Chugoku and Shikoku areas.

Functions Menu	Description
0. My Number[1]	Open handset phone number
1. Sounds	Call Functions, Volume, Sound Effects, etc.
2. Privacy	Manage handset security with Keypad Lock, Auto Key Lock, etc.
3. Settings 1	Check Guide or Memory; activate Off-Line Mode, Battery Saving or Signal Alert; access Language, Light, Sub Display, or Group Settings
4. Settings 2	Open Spending Memo; activate In-Car Recorder, User Dictionary or Calculator; adjust Answer Time, Animation, Manner Settings
5. Clock	Alarm, Clock Display, etc.
6. Charges	Call Charge, Total Talk Time, etc.
7. Services	Activate Optional Services such as Voice Mail and Call Forwarding
8. Vodafone live!	Access Mail, Web, Station and V-Applications

■ 1. Sounds

Function	Description
0. Call Functions	Set Ring Tones
1. Volume[1]	Adjust volume
3. Sound Effects	Set Sound Effects
5. Ringer Out	Disable handset speaker or use with headphones
6. Speaker[1]	Set Speaker Phone or Speaker
7. Original Tones	Save Original Ring Tones/Original Voice
8. Instrument Effects	Save Instrument Effects
9. Tone Octave	Set Tone Octave

■ 2. Privacy

Function	Description
0. Keypad Lock	Disable Keypad (handset does not respond when keys are pressed)
1. Auto Key Lock	Disable Keypad automatically when power is activated
2. Secret Mode[1]	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
3. Phone Book Lock	Disable Phone Book
4. Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
5. Accept Call	Accept calls from designated numbers
6. Reject Call	Reject calls from designated numbers
7. Reset All	Delete all saved information, restore defaults
8. Change Code	Change Security Code
9. Reset Defaults	Reset settings to default values

■ 3. Settings 1

Function	Description
0. Guide[1]	Key ops for functions other than Function Shortcuts
1. Memory	Check memory status
2. Off-Line Mode	Suspend handset transmissions
3. Battery Saving	Set Power/Panel Saving
4. Light Settings	Adjust Backlight, Keypad Light, In-Car Backlight and Brightness
5. 言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English menus
6. Sub Display	Set or adjust Sub Display-related settings
7. Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
8. Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
9. SideKey Settings [sic]	Set functions for Side Key (Long Press)

■ 4. Settings 2

Function	Description
0. Display Settings	Set or adjust Display-related settings
1. Display Patterns	Customize indicators, menu design, etc.
2. Spending Memo[1]	Open total expenditures and item list
3. User Dictionary	Save dictionaries or save/edit entries
4. Message Recorder	Set Message Recorder Answer Time
5. Disney Style	Activate or cancel Disney themed graphics
6. Manner Settings	Change Manner Mode settings
7. Incoming Light	Set Small Light to flash for unconfirmed information
8. Animation	Set/create animation
9. Calculator	Open Calculator

■ 5. Clock

Function	Description
0. Alarm	Set Alarm
1. Auto Power On	Auto Power On
2. Auto Power Off	Auto Power Off
3. Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
4. Useful Diary	Create personal diary entries
5. Stopwatch	Use Stopwatch
6. Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
9. Clock Settings[1]	Set Date & Time

■ 6. Charges

Function	Description
0. Total Charges	Show Total Charges
1. Call Charge	Show Last Call Charge
2. Total Talk Time	Show Total Talk Time
3. Call Time	Show Last Call Talk Time
4. Instant Display	Show Charge/Call Time after a call

7. Services

Function	Description
0. Ring Time[3]	Set Call Forwarding/Voice Mail Answer Time
1. Call Forwarding	Set a forwarding number/initiate Call Forwarding
2. Voice Mail	Initiate Voice Mail
3. Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
4. Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail status
5. Call Waiting[2, 3]	Set/cancel Call Waiting
6. Confirm Service[2, 3]	Check Call Waiting Setting
7. Play Voice Mail	Listen to caller messages
9. Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book

8. Vodafone live!

Function	Description
1. Mail	Open Mail menu
2. Web	Open Web menu
3. Station	Open Station menu
4. V-Appli	Open V-Appli menu

Specifications

V302SH

Weight	Approximately 90 g (with battery)
Continuous Call Time	Approximately 140 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours (when closed)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 46 × 24 × 92 mm (when closed)
Maximum Output	0.8 W

- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signals. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal is weak. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Call Time and Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Call Time and Standby Time may decrease when a V-Application is active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Call Time and Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad Backlights.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	100 VAC, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	5.6 VDC/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	750 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 36 × 4.5× 51 mm (without protruding parts)

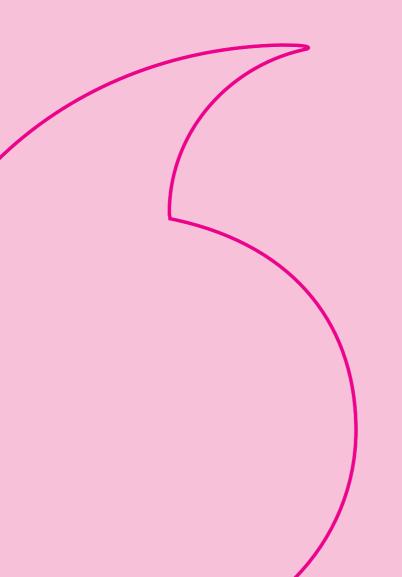
Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。

※1　通話中も実行できます。

※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用になれません。

※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用になれません。

※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用になれません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号[※1]	V302SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	画面の照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザー辞書登録などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.Vodafone live!	ボーダフォンライブ！メニューを表示します。

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	「**着信設定**」内の表、ワンコールサイレント：OFF、クローズ終話設定：ON	P.8-2、P.2-10、P.2-3
1.受話音量調節[※1]	音量5	P.2-11
3.効果音設定	「**各種効果音設定**」内の表	P.8-5
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.12-33
6.スピーカー設定[※1]	OFF	P.8-21
7.オリジナル着信音	ー	P.8-8
8.オリジナル音色	ー	P.8-16
9.音色オクターブ設定	ー	P.8-21

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.11-2
1.簡易ロック	OFF	P.11-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.11-6
3.メモリ使用禁止	OFF	P.11-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.11-4
5.指定着信許可	OFF	P.11-5
6.指定着信拒否	すべてOFF	P.11-5
7.オールリセット	ー	P.11-7
8.暗証番号変更	ー	P.11-2
9.設定リセット	ー	P.11-7

■3.表示／設定１のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	ー	P.1-25
1.メモリ確認	ー	P.5-8
2.オフラインモード	OFF	P.3-6
3.省電力設定	バッテリーセーブ：ON、パネルセーブON／OFF設定：ON（５分）、パネルセーブランプ表示設定：ランプ表示なし	P.12-28
4.照明設定	パネル照明ON／OFF：ON（15秒）、キー照明ON／OFF：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ４	P.7-7
5.Language	日本語	P.7-9
6.サブディスプレイ設定	サブディスプレイON／OFF：ON、照明設定：ON（15秒）、濃度調整：濃度５、相手表示設定：ON	P.7-8
7.グループ設定	ー	P.5-16
8.通話品質アラーム	OFF	P.12-2
9.サイドキー設定	着信時：簡易留守録、待受時：詳細表示	P.12-3

■4.表示／設定2のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.画面表示設定	壁紙設定：OFF、マイキャラクタ：すべてOFF、文字表示設定：文字3、文字拡大メニュー：OFF、マーク表示設定：ON、ウェイクアップ：OFF	P.7-2、P.7-5、P.7-6、P.7-2、P.7-9
1.画面パターン設定	電池レベル：アイコン1、電波状態：アイコン1、タイトル色：タイトル色1、ボタンマーク：ボタンマーク1、ガイドボタン：ガイドボタン1、ピクト行背景：ピクト行背景1	P.7-6
2.マネー積算メモ※1	ー	P.12-30
3.ユーザー辞書	ー	P.4-15
4.簡易留守	簡易留守設定、録音再生、応答文再生、音量設定、車載簡易留守、応答時間	P.12-4
5.Disneyスタイル	OFF	P.7-10
6.マナー設定変更	簡易留守録：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON	P.3-4
7.お知らせランプ設定	すべてランプ表示なし	P.7-10
8.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON、メール背景アニメ：ON	P.7-10、P.7-9
9.簡易電卓	ー	P.12-29

■5.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.リピートアラーム設定	ー	P.12-7
1.自動電源ON	OFF	P.12-11
2.自動電源OFF	OFF	P.12-12
3.時計表示設定	時計大	P.7-3
4.ユースフルダイアリー	ー	P.12-20
5.ストップウォッチ	ー	P.12-23
6.キッチンタイマー	ー	P.12-24
9.時刻設定※1	ー	P.1-20

■6.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.累積通話料金	0円	P.2-20
1.通話料金	0円	P.2-20
2.累積通話時間	0時間0分	P.2-19
3.通話時間	0分0秒	P.2-19
4.即時表示	OFF	P.2-19、P.2-20

■7.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.呼出時間設定※3	20秒	P.13-5
1.転送サービス	ー	P.13-3
2.留守番サービス	あり	P.13-4
3.秘書停止（転送／留守番サービス停止）	ー	P.13-3、P.13-4
4.秘書確認（転送／留守番サービス確認）	ー	P.13-3、P.13-5
5.割込設定※2※3	ー	P.13-6
6.割込確認※2※3	ー	P.13-6
7.留守録再生	ー	P.13-5
8.三者サービス※4	ー	P.13-7
9.プリセット登録	国際発信登録：0046010	P.2-5

■8.ボーダフォンライブ！のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
1.メール	ー	別冊
2.ウェブ	ー	別冊
3.ステーション	ー	別冊
4.Vアプリ	ー	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能名称	お買い上げ時	参照先
マナーモード	解除	P.3-3
簡易留守録	解除	P.12-4
アドレス帳検索モード	メモリNo検索	P.5-12
スポットライト	継続点灯時間：１分	P.12-31
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示	P.12-17
バーコード読み取り表示サイズ切替	文字中／画像等倍	P.12-25

●カメラの各種設定も、すべてお買い上げの状態に戻ります。

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●(PWR)を長く（１秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV302SHに装着されていますか？	●(PWR)を長く（１秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「 」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-19） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-2）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-19） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-2） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.11-4）
アドレス帳を使って電話がかけられない	●アドレス帳をシークレットデータにしていませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.11-6） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.11-3）
発信しても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0から始まる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「 」表示）	●市外局番など0から始まる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-6）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時の画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV302SHに確実に差し込まれていますか？	●もう一度、確実に差し込んでください。
	●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？	●もう一度、確実に差し込んでください。
	●電池パックがV302SHに装着されていますか？	●正しく装着してください。
	●V302SH、電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V302SHの外部機器端子の接続端子が汚れていませんか？	●端子部を綿棒などで清掃してください。
	●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。	●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。
	●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器が発熱することがあります。 長時間通話すると、V302SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池の消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-11～P.1-12）

故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.15-20を参照してください。

15

付録

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが 1 本以上表示される場所へ移動してください。

■「 」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-6）
設定を解除しないと、電話の発信／着信、ボーダフォンライブ！の利用／受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-12、P.1-13）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「 」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-19）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「 」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.11-2）
ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些

15 付録

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					

付録

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
440		漫	蔓							
——み——										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
——む——										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
——め——										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
——も——										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
——や——										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
——ゆ——										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
——よ——										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
——ら——										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
——り——										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
——る～れ——										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
——ろ——										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
——わ——										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V302SH

質量	約90 g（電池パック装着時）
連続通話時間	約140分
連続待受時間	約450時間（折りたたみ時）
充電時間 （V302SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器　：約115分 シガーライター充電器：約115分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約46×24×92 mm （折りたたみ時）
最大出力	0.8 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V302SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
  （☞P.1-11）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC100 V、50/60 Hz共用
消費電力	8 VA
出力電圧／出力電流	DC5.6 V／500 mA
充電温度範囲	＋5℃～＋35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約48×17×46 mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5 m

■電池パック

電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	750 mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約36×4.5×51 mm（突起部 除く）

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■保証書

V302SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」（☞P.15-6）に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.15-20）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.15-20）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV302SHに登録したデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付 ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）

大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）

広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）

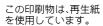
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）

福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

V302SH　取扱説明書
基本操作編

2005年８月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V302SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA150AFZZ
05H 140.0 YM AI316①